障害者歯科医療の推進に向けた調査
報告書

令和２年３月

東京都福祉保健局

目　　次

１　調査の概要 …… 3

２　調査報告書

（１）利用者調査 …… 4

（２）事業所調査 …… 30

３　調査用紙

（１）利用者調査 …… 51

（２）事業所調査 …… 55

1　調査の概要

（1）調査の目的

平成 30 年３月に策定した「東京都歯科保健推進計画　いい歯東京」では、地域で支える障害者歯科医療の推進を４つの柱の１つとして掲げている。

東京都における障害者歯科医療を推進するため、その課題等を明らかにする目的から、東京都福祉保健局及び東京都立心身障害者口腔保健センターは、本調査を実施した。

（2）調査対象

以下の障害福祉サービス事業所等及びその利用者（一部、家族会にも調査を依頼）

児童発達支援事業所、福祉型児童発達支援センター、医療型児童発達支援センター、居宅訪問型児童発達支援事業所、福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設、施設入所支援、生活介護、自立訓練（機能訓練）、自立訓練（生活訓練）、宿泊型自立訓練、就労継続支援Ａ型、就労継続支援Ｂ型、就労移行支援、地域活動支援センター、グループホーム（グループホームは、入所施設併設等の事業所のみ）

※併設を除く 2,114 か所へ調査を実施

（3）調査方法

ア　郵送による配布・回収

イ　回答者（事業所等及び利用者）による自記式

都庁から障害福祉サービス事業所等へ、２種類の調査票（利用者調査票及び事業所調査票）を送付。

障害福祉サービス事業所等から利用者へ、利用者調査票を配布し、利用者・家族・事業所職員等が回答。回答後、障害福祉サービス事業所等が回収し、利用者調査票と事業所調査票を併せて都庁へ返送。

（4）調査期間

平成 31 年１月から同年２月末まで

※同年３月までに回収された調査票を有効票として、集計を行った。

（5）調査内容

調査用紙（５１頁から５５頁）のとおり（利用者調査と、事業所調査の２種類）

（6）回収総数

利用者調査票 21,819 名、事業所調査票 972 か所（回収率 46.0％）

（7）解析

調査結果の解析について、東京歯科大学社会歯科学講座　平田創一郎教授へ依頼した。

（8）ホームページへの掲載

本調査報告書は、ホームページ（東京都の歯科保健対策　＞　資料・報告書等）へ掲載している。

歯と口に関するアンケート調査(利用者回答用)報告書

東京歯科大学社会歯科学講座
平田 創一郎

本調査は、東京都歯科保健推進計画に基づき、障害者歯科の取組が進むよう、地域の歯科診療所での受診に関する課題等を抽出するために、障害者支援施設等（以下「障害者施設」という。）や、その利用者等に対して実施した。

対象となる障害者には、東京都内の障害者施設等を通じてアンケート調査を依頼し、回答総数は21,819件であった。

アンケート用紙を末尾に別添する。

●回答者の概要

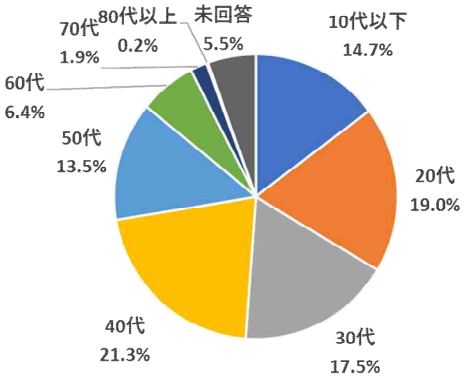
○年齢分布

表１に回答者の年齢分布を示す。10代から50代まで概ね均等に回答を得られた。10代以下は14.7%、20～40代は57.8%、50代以上は22.1%であった。70代で415件（1.9%）、80代以上で44件（0.2%）の回答があり、高齢の障害者への対応も考慮しなければならないだろう。（図1）

（表1）回答者の年齢分布

	総　数(n=21,819)	
10代以下	3,200	(14.7%)
20代	4,138	(19.0%)
30代	3,825	(17.5%)
40代	4,641	(21.3%)
20～40代	12,604	(57.8%)
50代	2,953	(13.5%)
60代	1,405	(6.4%)
70代	415	(1.9%)
80代以上	44	(0.2%)
50代以上	4,817	(22.1%)
未回答	1,198	(5.5%)

（図1）年齢分布



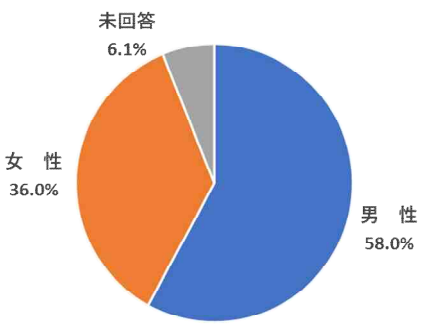
○性別

表2に回答者の性別と年齢区分を示す。男性が58.0%と女性36.0%の1.6倍を占めた。（図2）年齢区分別では、10代以下で男性の比率が他の年齢区分より高かった。（図2-1）

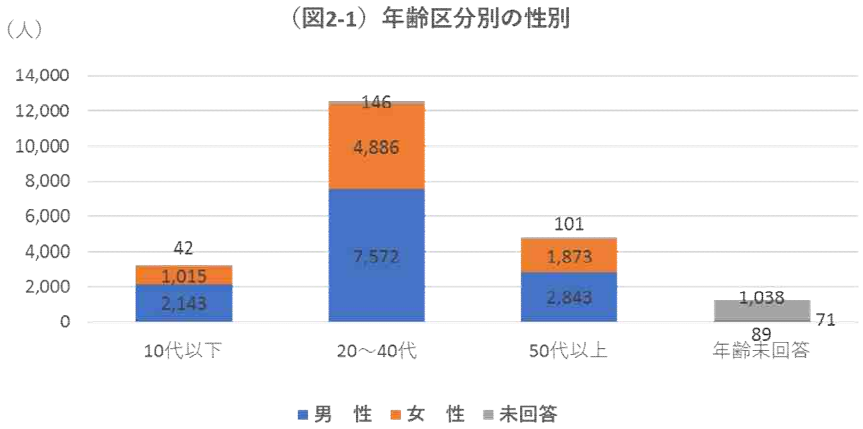
（表2）回答者の性別・年齢区分

	総　数		性　別					
			男　性		女　性		未回答	
総　数	21,819	(100.0%)	12,647	(58.0%)	7,845	(36.0%)	1,327	(6.1%)
10代以下	3,200	(100.0%)	2,143	(67.0%)	1,015	(31.7%)	42	(1.3%)
20～40代	12,604	(100.0%)	7,572	(60.1%)	4,886	(38.8%)	146	(1.2%)
50代以上	4,817	(100.0%)	2,843	(59.0%)	1,873	(38.9%)	101	(2.1%)
年齢未回答	1,198	(100.0%)	89	(7.4%)	71	(5.9%)	1,038	(86.6%)

（図2）性　別



（図2-1）年齢区分別の性別



○障害の種別（重複あり）

表3に障害の種別を示す。知的障害者が58.2%と最も多く、身体障害者は22.9%、精神障害者は19.5%、発達障害は9.1%、難病等は0.9%であった。（図3）

年齢区分別にみると、10代以下は精神障害者が少なく、発達障害と難病等が多かった。また、50代以上では発達障害が少なく、精神障害者と身体障害者が多かった。（図3-1）

男女別では、発達障害で男性が多かった。（図3-2～3-6）

（表3）障害の種別（重複あり）

	総　数(n=21,819)		年齢区分						性　別			
			10代以下		20～40代		50代以上		男　性		女　性	
身体障害者	4,987	(22.9%)	703	(14.1%)	2,770	(55.5%)	1,461	(29.3%)	2,743	(55.0%)	2,155	(43.2%)
知的障害者	12,707	(58.2%)	1,532	(12.1%)	8,841	(69.6%)	2,177	(17.1%)	7,527	(59.2%)	4,959	(39.0%)
精神障害者	4,262	(19.5%)	48	(1.1%)	2,567	(60.2%)	1,619	(38.0%)	2,545	(59.7%)	1,643	(38.5%)
発達障害	1,995	(9.1%)	1,176	(58.9%)	711	(35.6%)	92	(4.6%)	1,437	(72.0%)	534	(26.8%)
難病等	204	(0.9%)	77	(37.7%)	102	(50.0%)	22	(10.8%)	107	(52.5%)	95	(46.6%)
未回答	2,002	(9.2%)	446	(22.3%)	373	(18.6%)	187	(9.3%)	654	(32.7%)	347	(17.3%)

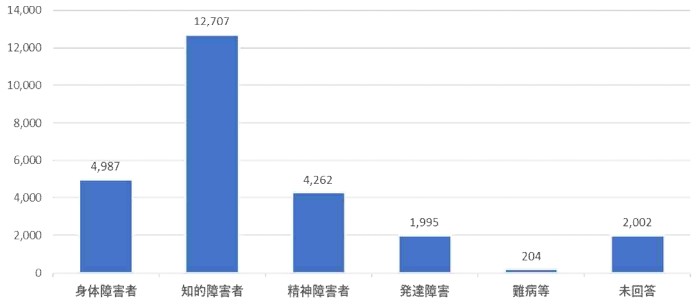
○障害の等級（参考）

身体障害者(n=4,987)		
1　級	2,335	(46.8%)
2　級	1,115	(22.4%)
3　級	463	(9.3%)
4　級	268	(5.4%)
5　級	166	(3.3%)
6　級	124	(2.5%)
7　級	2	(0.0%)
未回答	514	(10.3%)

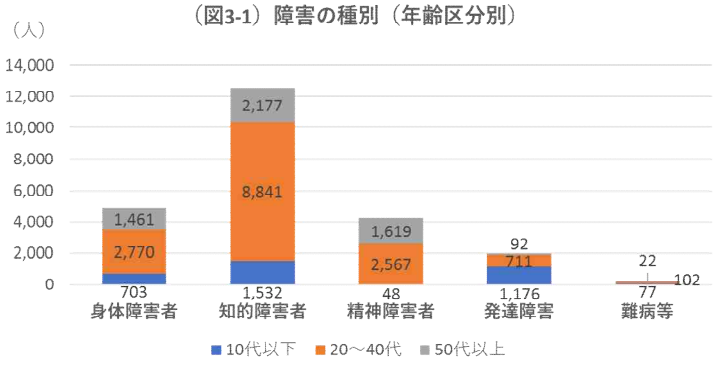
知的障害者(n=12,707)		
1　度	550	(4.3%)
2　度	4,579	(36.0%)
3　度	3,204	(25.2%)
4　度	2,536	(20.0%)
未回答	1,838	(14.5%)

精神障害者(n=4,262)		
1　級	104	(2.4%)
2　級	1,901	(44.6%)
3　級	854	(20.0%)
未回答	1,403	(32.9%)

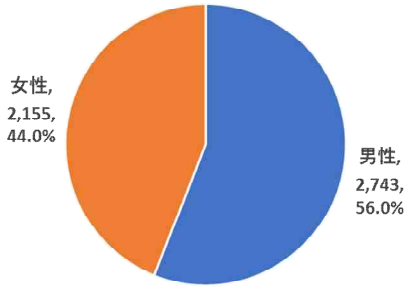
（図3）障害の種別（重複あり）



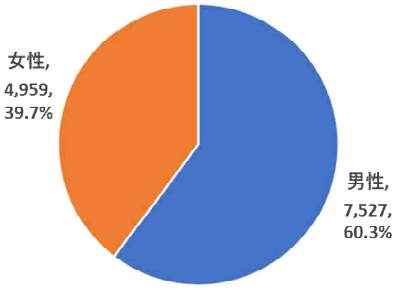
（図3-1）障害の種別（年齢区分別）



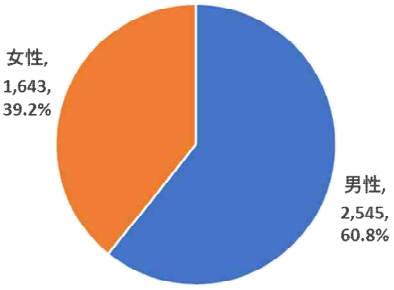
（図3-2）身体障害者（性別）



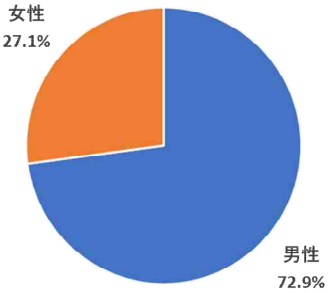
（図3-3）知的障害者（性別）



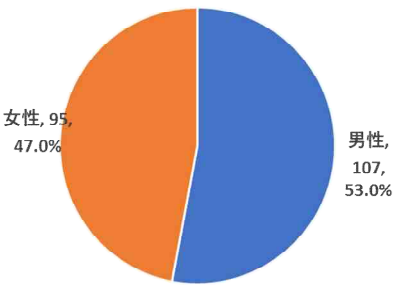
（図3-4）精神障害者（性別）



（図3-5）発達障害（性別）



（図3-6）難病等（性別）



○所属されている事業所種別（重複あり）

表4-1に所属されている事業所種別を示す。

福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設、施設入所支援の3施設を入所施設、それ以外を通所施設として集計を行った。なお、入所施設と通所施設との重複があったため、通所施設の集計にはこの重複を含まず集計を行った。入所施設が8.1%、通所施設のみが83.9%、いずれも利用していないが0.5%であった。

表4-2に障害の種別の所属されている事業所種別を示す。障害の種別でみると、入所施設の所属は身体障害者で多く、精神障害者で少なかった。（図4-1）

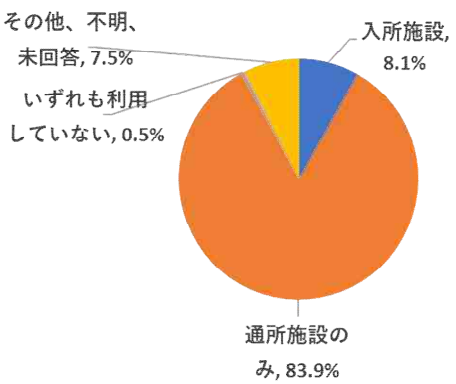
（表4-1）所属されている事業所種別（重複あり）

	総　数(n=21,819)		性　別				年齢区分					
			男　性		女　性		10代以下		20～40代		50代以上	
福祉型障害児入所施設	134	(0.6%)	80	(59.7%)	54	(40.3%)	104	(77.6%)	18	(13.4%)	10	(7.5%)
医療型障害児入所施設	48	(0.2%)	23	(47.9%)	25	(52.1%)	18	(37.5%)	18	(37.5%)	12	(25.0%)
施設入所支援	1,599	(7.3%)	977	(61.1%)	591	(37.0%)	21	(1.3%)	792	(49.5%)	775	(48.5%)
入所施設計	1,776	(8.1%)	1,078	(60.7%)	667	(37.6%)	142	(8.0%)	824	(46.4%)	797	(44.9%)
児童発達支援事業所	2,026	(9.3%)	1,325	(65.4%)	630	(31.1%)	1,920	(94.8%)	49	(2.4%)	7	(0.3%)
福祉型児童発達支援センター	239	(1.1%)	163	(68.2%)	65	(27.2%)	216	(90.4%)	16	(6.7%)	3	(1.3%)
医療型児童発達支援センター	102	(0.5%)	47	(46.1%)	53	(52.0%)	97	(95.1%)	3	(2.9%)	0	(0.0%)
居宅訪問型児童発達支援事業所	15	(0.1%)	5	(33.3%)	10	(66.7%)	14	(93.3%)	1	(6.7%)	0	(0.0%)
生活介護	5,915	(27.1%)	3,457	(58.4%)	2,320	(39.2%)	164	(2.8%)	4,460	(75.4%)	1,190	(20.1%)
自立訓練（機能訓練）	159	(0.7%)	102	(64.2%)	54	(34.0%)	6	(3.8%)	70	(44.0%)	80	(50.3%)
自立訓練（生活訓練）	413	(1.9%)	258	(62.5%)	144	(34.9%)	7	(1.7%)	273	(66.1%)	131	(31.7%)
宿泊型自立訓練	192	(0.9%)	143	(74.5%)	47	(24.5%)	36	(18.8%)	136	(70.8%)	20	(10.4%)
就労継続支援A型	603	(2.8%)	403	(66.8%)	191	(31.7%)	8	(1.3%)	425	(70.5%)	163	(27.0%)
就労継続支援B型	7,776	(35.6%)	4,603	(59.2%)	2,971	(38.2%)	151	(1.9%)	5,196	(66.8%)	2,280	(29.3%)
就労移行支援	1,126	(5.2%)	732	(65.0%)	377	(33.5%)	69	(6.1%)	912	(81.0%)	136	(12.1%)
地域活動支援センター	848	(3.9%)	461	(54.4%)	372	(43.9%)	8	(0.9%)	467	(55.1%)	367	(43.3%)
グループホーム	1,671	(7.7%)	989	(59.2%)	653	(39.1%)	6	(0.4%)	1,062	(63.6%)	593	(35.5%)
その他通所	350	(1.6%)	210	(60.0%)	136	(38.9%)	320	(91.4%)	21	(6.0%)	3	(0.9%)
通所施設のみ計	18,304	(83.9%)	11,036	(60.3%)	6,813	(37.2%)	2,961	(16.2%)	11,101	(60.6%)	3,771	(20.6%)
いずれも利用していない	100	(0.5%)	54	(54.0%)	45	(45.0%)	14	(14.0%)	54	(54.0%)	31	(31.0%)
その他、不明、未回答	1,639	(7.5%)	479	(29.2%)	320	(19.5%)	183	(11.2%)	401	(24.5%)	196	(12.0%)

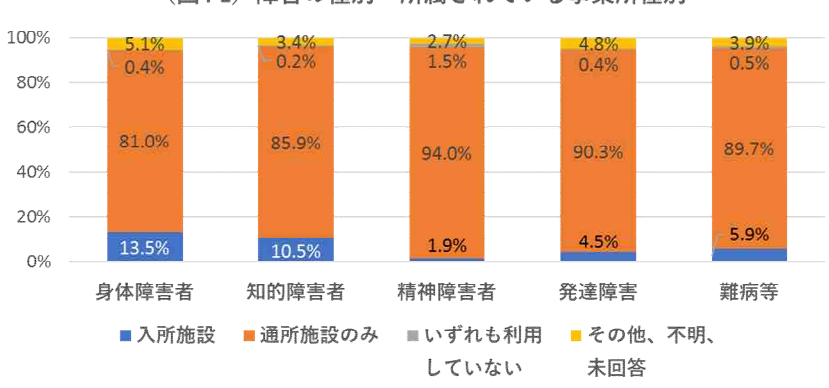
（表4-2）所属されている事業所種別（重複あり）

	障害の種別									
	身体障害者(n=4,987)		知的障害者(n=12,707)		精神障害者(n=4,262)		発達障害(n=1,995)		難病等(n=204)	
福祉型障害児入所施設	21	(0.4%)	118	(0.9%)	6	(0.1%)	22	(1.1%)	3	(1.5%)
医療型障害児入所施設	42	(0.8%)	30	(0.2%)	3	(0.1%)	4	(0.2%)	1	(0.5%)
施設入所支援	613	(12.3%)	1,189	(9.4%)	72	(1.7%)	64	(3.2%)	10	(4.9%)
入所施設計	672	(13.5%)	1,333	(10.5%)	80	(1.9%)	89	(4.5%)	12	(5.9%)
児童発達支援事業所	400	(8.0%)	706	(5.6%)	19	(0.4%)	902	(45.2%)	59	(28.9%)
福祉型児童発達支援センター	49	(1.0%)	124	(1.0%)	5	(0.1%)	73	(3.7%)	7	(3.4%)
医療型児童発達支援センター	88	(1.8%)	54	(0.4%)	1	(0.0%)	11	(0.6%)	11	(5.4%)
居宅訪問型児童発達支援事業所	13	(0.3%)	8	(0.1%)	0	(0.0%)	3	(0.2%)	2	(1.0%)
生活介護	2,349	(47.1%)	4,969	(39.1%)	210	(4.9%)	200	(10.0%)	51	(25.0%)
自立訓練（機能訓練）	127	(2.5%)	27	(0.2%)	24	(0.6%)	3	(0.2%)	8	(3.9%)
自立訓練（生活訓練）	94	(1.9%)	95	(0.7%)	243	(5.7%)	22	(1.1%)	5	(2.5%)
宿泊型自立訓練	10	(0.2%)	148	(1.2%)	47	(1.1%)	6	(0.3%)	2	(1.0%)
就労継続支援A型	108	(2.2%)	224	(1.8%)	264	(6.2%)	31	(1.6%)	3	(1.5%)
就労継続支援B型	955	(19.1%)	4,743	(37.3%)	2,457	(57.6%)	235	(11.8%)	36	(17.6%)
就労移行支援	107	(2.1%)	332	(2.6%)	515	(12.1%)	233	(11.7%)	15	(7.4%)
地域活動支援センター	228	(4.6%)	185	(1.5%)	458	(10.7%)	46	(2.3%)	12	(5.9%)
グループホーム	311	(6.2%)	1,398	(11.0%)	268	(6.3%)	65	(3.3%)	9	(4.4%)
その他通所	97	(1.9%)	190	(1.5%)	7	(0.2%)	144	(7.2%)	8	(3.9%)
通所施設のみ計	4,040	(81.0%)	10,919	(85.9%)	4,006	(94.0%)	1,802	(90.3%)	183	(89.7%)
いずれも利用していない	20	(0.4%)	20	(0.2%)	62	(1.5%)	8	(0.4%)	1	(0.5%)
その他、不明、未回答	255	(5.1%)	435	(3.4%)	114	(2.7%)	96	(4.8%)	8	(3.9%)

（図4）所属されている事業所種別



（図4-1）障害の種別　所属されている事業所種別



○現在、一般就労しているか

表5に一般就労の状況を示す。働いている者は3.2%、働いていない者は85.1%であった。（図5）性別での差は認められなかった。年齢区分では、年齢が上がると働いている率も高くなったが、20～40代では働いていないも増加した。

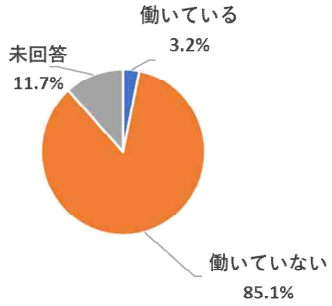
所属事業所の種別では、事業所を利用していない者で働いている率が高かった。（図5-1）

一般就労の状況は、自立の一つの指標と考えられるため、以下の設問で検討していく。

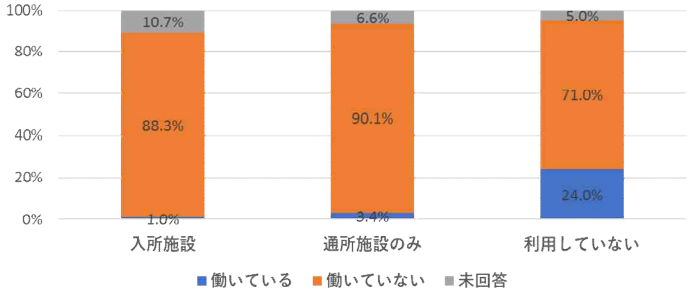
(表5)現在、一般就労しているか

			働いている		働いていない		未回答	
総　数		(n=21,819)	699	(3.2%)	18,574	(85.1%)	2,546	(11.7%)
性　別	男　性	(n=12,647)	441	(3.5%)	11,218	(88.7%)	988	(7.8%)
	女　性	(n=7,845)	248	(3.2%)	6,957	(88.7%)	640	(8.2%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	71	(2.2%)	2,839	(88.7%)	290	(9.1%)
	20～40代	(n=12,604)	402	(3.2%)	11,262	(89.4%)	940	(7.5%)
	50代以上	(n=4,817)	221	(4.6%)	4,210	(87.4%)	386	(8.0%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	102	(2.0%)	4,518	(90.6%)	367	(7.4%)
	知的障害者	(n=12,707)	383	(3.0%)	11,338	(89.2%)	986	(7.8%)
	精神障害者	(n=4,262)	207	(4.9%)	3,784	(88.8%)	271	(6.4%)
	発達障害	(n=1,995)	60	(3.0%)	1,782	(89.3%)	153	(7.7%)
	難病等	(n=204)	9	(4.4%)	181	(88.7%)	14	(6.9%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	17	(1.0%)	1,569	(88.3%)	190	(10.7%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	614	(3.4%)	16,490	(90.1%)	1,200	(6.6%)
	利用していない	(n=100)	24	(24.0%)	71	(71.0%)	5	(5.0%)

（図5）一般就労状況



（図5-1）一般就労状況（所属事業所の種別）



1（1）　1人で回答しているか

表6に1人で回答しているかを示す。1人で回答しているのは31.7%、施設職員や家族等に手伝ってもらって回答しているのは61.5%であった。（図6）

男女別では傾向に差を認めなかった。（図6-1）

年齢区分別では、年代が上がるにつれ1人で回答している割合が高くなった。（図6-2）障害の種別では、精神障害者で1人で回答している割合が高く、知的障害者が最も施設職員や家族等に手伝ってもらって回答している割合が高かった。（図6-3）

所属事業所の種別では、1人で回答している割合は利用していないで55.0%、以下、通所施設のみ、入所施設の順に少なくなった。（図6-4）

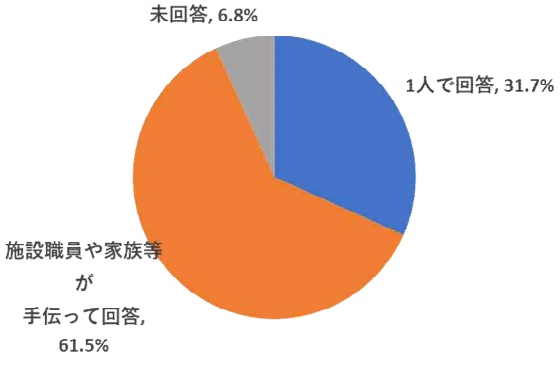
一般就労の有無では、働いている者の1人で回答している割合が57.1%と半数を超え、働いていない者よりも高い割合を占めた。（図6-5）

所属事業所の状況、一般就労の有無と1人で回答しているかを比較すると、概ね自立の度合いで一致しているものと考えられる。

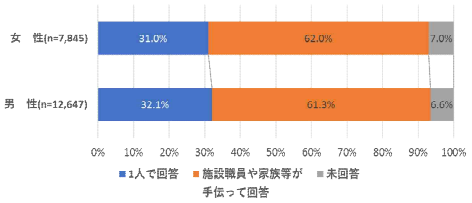
（表6）　1人で回答しているか

			1人で回答		施設職員や家族等が手伝って回答		未回答	
総　数		(n=21,819)	6,914	(31.7%)	13,421	(61.5%)	1,484	(6.8%)
性　別	男　性	(n=12,647)	4,056	(32.1%)	7,756	(61.3%)	835	(6.6%)
	女　性	(n=7,845)	2,431	(31.0%)	4,861	(62.0%)	553	(7.0%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	752	(23.5%)	2,301	(71.9%)	147	(4.6%)
	20～40代	(n=12,604)	3,826	(30.4%)	7,919	(62.8%)	859	(6.8%)
	50代以上	(n=4,817)	1,946	(40.4%)	2,477	(51.4%)	394	(8.2%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	1,234	(24.7%)	3,406	(68.3%)	347	(7.0%)
	知的障害者	(n=12,707)	1,830	(14.4%)	9,983	(78.6%)	894	(7.0%)
	精神障害者	(n=4,262)	3,249	(76.2%)	751	(17.6%)	262	(6.1%)
	発達障害	(n=1,995)	676	(33.9%)	1,209	(60.6%)	110	(5.5%)
	難病等	(n=204)	63	(30.9%)	131	(64.2%)	10	(4.9%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	177	(10.0%)	1,536	(86.5%)	63	(3.5%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	6,165	(33.7%)	10,857	(59.3%)	1,282	(7.0%)
	利用していない	(n=100)	55	(55.0%)	42	(42.0%)	3	(3.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	399	(57.1%)	234	(33.5%)	66	(9.4%)
	働いていない	(n=18,574)	5,742	(30.9%)	11,606	(62.5%)	1,226	(6.6%)

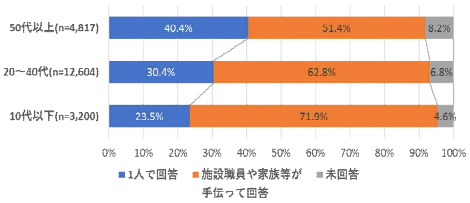
（図6）1人で回答しているか



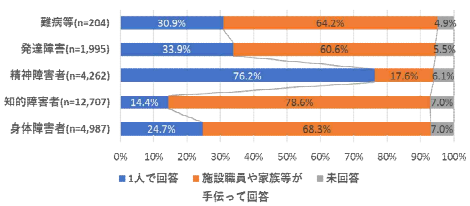
（図6-1）1人で回答しているか（男女別）



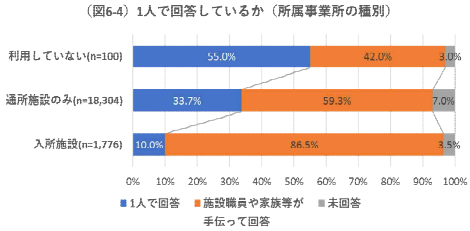
（図6-2）1人で回答しているか（年齢区分別）



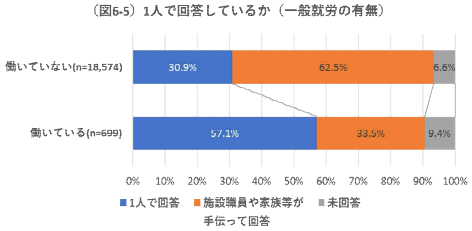
（図6-3）1人で回答しているか（障害の種別）



（図6-4）1人で回答しているか（所属事業所の種別）



（図6-5）1人で回答しているか（一般就労の有無）



1（2）　歯や口に関して困っていること

表7に歯や口に関して困っていることを示す。特にないが42.5%で最も多かった。歯並び、口臭、噛み合わせと続き、その次に歯周病（歯肉のはれ、歯肉からの出血）がそれぞれ10%弱にみられた。歯が痛いは4.2%であった。（図7）

男女別では、特にないを除くすべての項目で女性の方が男性より多かった。（図7-1）

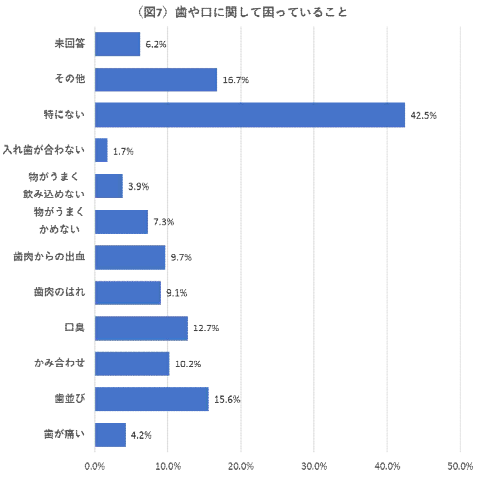
年齢区分別では、10代以下で歯並びが多く、口臭、歯肉のはれ、歯肉からの出血は20～40代に多かった。（図7-2）

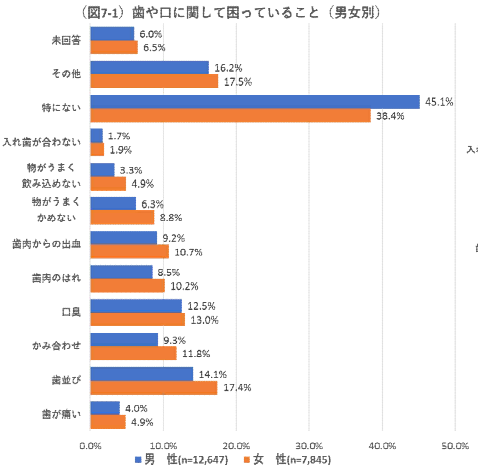
障害の種別では、難病等で歯並び、物がうまくかめない、うまく飲み込めないが多く、精神障害者で口臭が多かった。（図7-3）

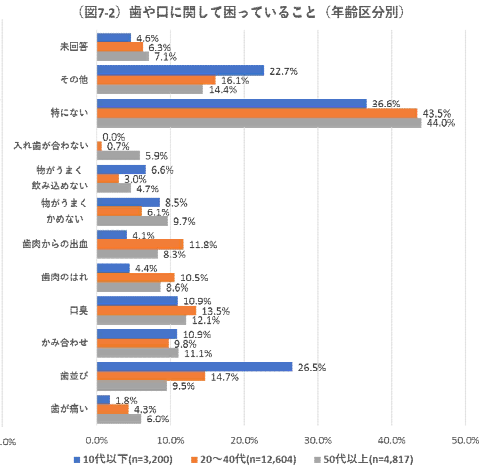
（表7）歯や口に関して困っていること（重複回答）

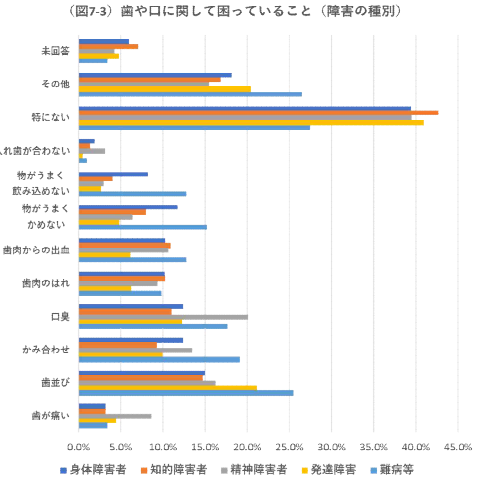
			歯が痛い		歯並び		かみ合わせ		口臭		歯肉のはれ		歯肉からの出血	
総　数		(n=21,819)	925	(4.2%)	3,403	(15.6%)	2,235	(10.2%)	2,779	(12.7%)	1,980	(9.1%)	2,112	(9.7%)
性　別	男　性	(n=12,647)	511	(4.0%)	1,778	(14.1%)	1,173	(9.3%)	1,585	(12.5%)	1,076	(8.5%)	1,159	(9.2%)
	女　性	(n=7,845)	381	(4.9%)	1,368	(17.4%)	924	(11.8%)	1,019	(13.0%)	799	(10.2%)	843	(10.7%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	57	(1.8%)	849	(26.5%)	348	(10.9%)	350	(10.9%)	142	(4.4%)	130	(4.1%)
	20～40代	(n=12,604)	548	(4.3%)	1,852	(14.7%)	1,230	(9.8%)	1,696	(13.5%)	1325	(10.5%)	1483	(11.8%)
	50代以上	(n=4,817)	290	(6.0%)	459	(9.5%)	533	(11.1%)	583	(12.1%)	416	(8.6%)	398	(8.3%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	160	(3.2%)	747	(15.0%)	617	(12.4%)	617	(12.4%)	508	(10.2%)	512	(10.3%)
	知的障害者	(n=12,707)	408	(3.2%)	1,869	(14.7%)	1,183	(9.3%)	1,401	(11.0%)	1,307	(10.3%)	1,386	(10.9%)
	精神障害者	(n=4,262)	369	(8.7%)	692	(16.2%)	574	(13.5%)	856	(20.1%)	399	(9.4%)	454	(10.7%)
	発達障害	(n=1,995)	89	(4.5%)	422	(21.2%)	198	(9.9%)	245	(12.3%)	125	(6.3%)	122	(6.1%)
	難病等	(n=204)	7	(3.4%)	52	(25.5%)	39	(19.1%)	36	(17.6%)	20	(9.8%)	26	(12.7%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	102	(5.7%)	169	(9.5%)	137	(7.7%)	183	(10.3%)	201	(11.3%)	237	(13.3%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	764	(4.2%)	2,907	(15.9%)	1,934	(10.6%)	2,369	(12.9%)	1,632	(8.9%)	1,739	(9.5%)
	利用していない	(n=100)	8	(8.0%)	18	(18.0%)	13	(13.0%)	24	(24.0%)	11	(11.0%)	9	(9.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	43	(6.2%)	117	(16.7%)	92	(13.2%)	109	(15.6%)	50	(7.2%)	60	(8.6%)
	働いていない	(n=18,574)	787	(4.2%)	2,860	(15.4%)	1,911	(10.3%)	2,352	(12.7%)	1,737	(9.4%)	1,833	(9.9%)

			物がうまくかめない		物がうまく飲み込めない		入れ歯が合わない		特にない		その他		未回答	
総　数		(n=21,819)	1,592	(7.3%)	842	(3.9%)	376	(1.7%)	9,263	(42.5%)	3,654	(16.7%)	1,360	(6.2%)
性　別	男　性	(n=12,647)	794	(6.3%)	419	(3.3%)	211	(1.7%)	5,707	(45.1%)	2,052	(16.2%)	759	(6.0%)
	女　性	(n=7,845)	691	(8.8%)	386	(4.9%)	147	(1.9%)	3,012	(38.4%)	1,375	(17.5%)	512	(6.5%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	273	(8.5%)	212	(6.6%)	1	(0.0%)	1,171	(36.6%)	725	(22.7%)	148	(4.6%)
	20～40代	(n=12,604)	768	(6.1%)	377	(3.0%)	85	(0.7%)	5477	(43.5%)	2029	(16.1%)	789	(6.3%)
	50代以上	(n=4,817)	465	(9.7%)	224	(4.7%)	282	(5.9%)	2120	(44.0%)	694	(14.4%)	340	(7.1%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	584	(11.7%)	409	(8.2%)	94	(1.9%)	1,964	(39.4%)	906	(18.2%)	298	(6.0%)
	知的障害者	(n=12,707)	1,014	(8.0%)	513	(4.0%)	175	(1.4%)	5,417	(42.6%)	2,139	(16.8%)	898	(7.1%)
	精神障害者	(n=4,262)	273	(6.4%)	126	(3.0%)	133	(3.1%)	1683	(39.5%)	660	(15.5%)	180	(4.2%)
	発達障害	(n=1,995)	96	(4.8%)	53	(2.7%)	10	(0.5%)	816	(40.9%)	407	(20.4%)	95	(4.8%)
	難病等	(n=204)	31	(15.2%)	26	(12.7%)	2	(1.0%)	56	(27.5%)	54	(26.5%)	7	(3.4%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	169	(9.5%)	112	(6.3%)	43	(2.4%)	790	(44.5%)	236	(13.3%)	130	(7.3%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	1,299	(7.1%)	680	(3.7%)	313	(1.7%)	7,740	(42.3%)	3,135	(17.1%)	1,107	(6.0%)
	利用していない	(n=100)	10	(10.0%)	3	(3.0%)	3	(3.0%)	33	(33.0%)	16	(16.0%)	2	(2.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	32	(4.6%)	11	(1.6%)	15	(2.1%)	305	(43.6%)	99	(14.2%)	43	(6.2%)
	働いていない	(n=18,574)	1,382	(7.4%)	752	(4.0%)	330	(1.8%)	7,852	(42.3%)	3,155	(17.0%)	1,118	(6.0%)









2　歯科診療所への通院状況

表8に歯科診療所などへの通院状況を示す。歯科診療所などへ通っているのは67.7%（訪問歯科診療を受けているとの重複を除くと62.5%）、訪問歯科診療を受けているのは10.6%（歯科診療所などへ通っているとの重複を除くと5.4%）、通っていないのは26.8%であった。（図8）

男女別では、男性の方が女性より通院が少なかった。（図8-1）

年齢区分別は、年代が上がると通院が減少し、訪問歯科診療と通っていないが増加した。（図8-2）

障害の種別では，精神障害者で通院が少なかった。（図8-3）

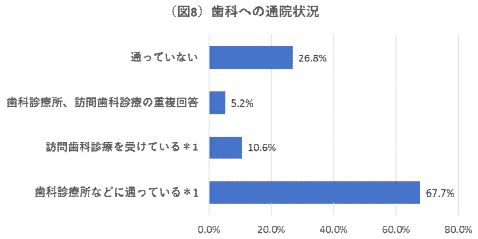
所属事業所の種別では、入所施設で訪問診療が多かった。（図8-4）

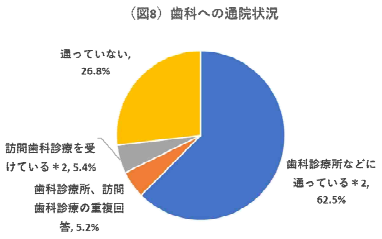
一般就労の有無では、働いている者で通っていないが多かった。（図8-5）一般就労している場合、時間的理由により通院が難しいことも要因の一つと考えられる。

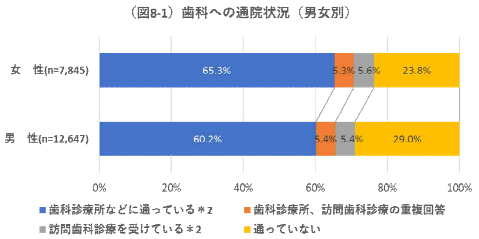
（表8）歯科診療所などへの通院状況

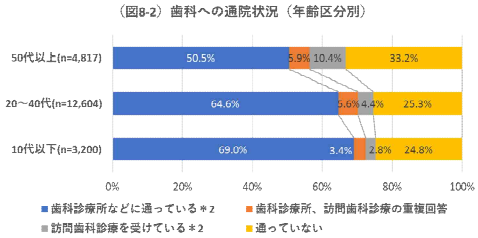
			歯科診療所などに通っている＊1		訪問歯科診療を受けている＊1		重複回答		通っていない	
総　数		(n=21,819)	14,782	(67.7%)	2,322	(10.6%)	1,143	(5.2%)	5,858	(26.8%)
性　別	男　性	(n=12,647)	8,298	(65.6%)	1,366	(10.8%)	687	(5.4%)	3,670	(29.0%)
	女　性	(n=7,845)	5,536	(70.6%)	859	(10.9%)	416	(5.3%)	1,866	(23.8%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	2,317	(72.4%)	199	(6.2%)	109	(3.4%)	793	(24.8%)
	20～40代	(n=12,604)	8,858	(70.3%)	1,264	(10.0%)	710	(5.6%)	3,192	(25.3%)
	50代以上	(n=4,817)	2,716	(56.4%)	784	(16.3%)	284	(5.9%)	1,601	(33.2%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	3,429	(68.8%)	809	(16.2%)	277	(5.6%)	1,026	(20.6%)
	知的障害者	(n=12,707)	9,207	(72.5%)	1,483	(11.7%)	697	(5.5%)	2,714	(21.4%)
	精神障害者	(n=4,262)	2,409	(56.5%)	294	(6.9%)	230	(5.4%)	1,789	(42.0%)
	発達障害	(n=1,995)	1,334	(66.9%)	179	(9.0%)	91	(4.6%)	573	(28.7%)
	難病等	(n=204)	139	(68.1%)	20	(9.8%)	6	(2.9%)	51	(25.0%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	736	(41.4%)	858	(48.3%)	105	(5.9%)	287	(16.2%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	12,792	(69.9%)	1,306	(7.1%)	954	(5.2%)	5,160	(28.2%)
	利用していない	(n=100)	68	(68.0%)	6	(6.0%)	4	(4.0%)	30	(30.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	467	(66.8%)	79	(11.3%)	74	(10.6%)	227	(32.5%)
	働いていない	(n=18,574)	12,548	(67.6%)	1,994	(10.7%)	959	(5.2%)	4,991	(26.9%)

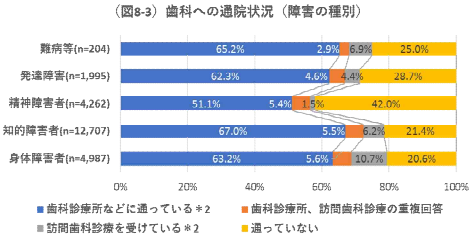
＊1：重複回答1,143件を含む

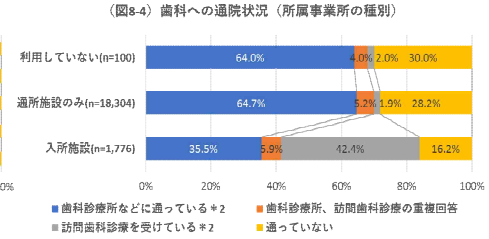


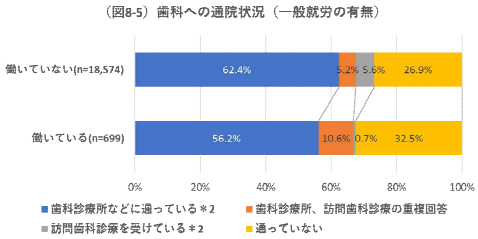












●歯科診療所等に通っている場合

（ア）通っている回数

表9に通っている回数を示す。年に1回以上が61.5%、月に1回以上も24.3%であった。

（表9）通っている回数

	総　数(n=14,782)	
数年に1回	1,439	(9.7%)
年に1回以上	9,088	(61.5%)
月に1回以上	3,596	(24.3%)

（イ）通っている理由

表9-1に通っている理由を示す。歯の清掃が55.8%で最も多く、次いで定期的に52.9%、歯石を取ってもらう41.4%であった。（図9）治療よりも予防処置の方が多い結果であった。

男女別では傾向に差を認めなかった。（図9-1）

年齢区分別では、10代以下で定期的にと歯みがき指導が多く、20～40代で歯石を取ってもらうとむし歯の治療が多かった。歯の清掃は50代以上で減少した。（図9-2）

障害の種別では、精神障害者で定期的に、歯の清掃、歯みがき指導といった予防処置が少なく、むし歯の治療が多かった。（図9-3）

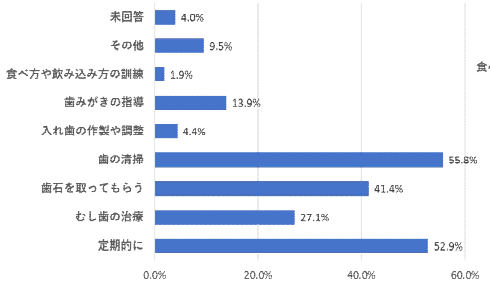
所属事業所の種別では、定期的に、歯石を取ってもらう、歯の清掃で、入所施設、通所施設のみ、利用していないの順に多く、むし歯の治療はその逆であった。（図9-4）

一般就労の有無では、働いていない者は定期的に、歯石を取ってもらう、歯の清掃が多く、むし歯の治療は働いている者で多かった。（図9-5）

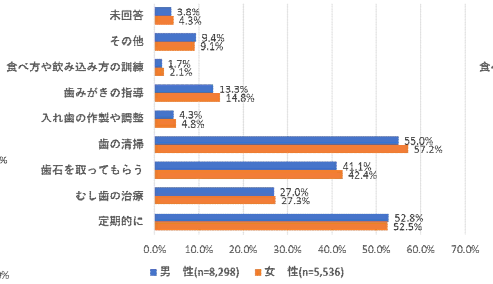
（表9－1）通っている理由

			定期的に		むし歯の治療		歯石		歯の清掃		入れ歯の作製や調整		歯みがきの指導		食べ方や飲み込み方の訓練		その他	
総　数		(n=14,782)	7,815	(52.9%)	4,004	(27.1%)	6,113	(41.4%)	8,241	(55.8%)	654	(4.4%)	2052	(13.9%)	284	(1.9%)	1403	(9.5%)
性　別	男　性	(n=8,298)	4,381	(52.8%)	2,237	(27.0%)	3,411	(41.1%)	4,565	(55.0%)	356	(4.3%)	1,101	(13.3%)	144	(1.7%)	781	(9.4%)
	女　性	(n=5,536)	2,906	(52.5%)	1,509	(27.3%)	2,349	(42.4%)	3,166	(57.2%)	268	(4.8%)	818	(14.8%)	119	(2.1%)	505	(9.1%)
年齢区分	10代以下	(n=2,317)	1,532	(66.1%)	381	(16.4%)	540	(23.3%)	1,108	(47.8%)	5	(0.2%)	413	(17.8%)	166	(7.2%)	483	(20.8%)
	20～40代	(n=8,794)	3,608	(41.0%)	1,873	(21.3%)	3,133	(35.6%)	4,027	(45.8%)	302	(3.4%)	923	(10.5%)	65	(0.7%)	446	(5.1%)
	50代以上	(n=2,849)	860	(30.2%)	551	(19.3%)	812	(28.5%)	1,010	(35.5%)	133	(4.7%)	222	(7.8%)	16	(0.6%)	122	(4.3%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,429)	2,051	(59.8%)	746	(21.8%)	1,562	(45.6%)	2,047	(59.7%)	146	(4.3%)	443	(12.9%)	140	(4.1%)	273	(8.0%)
	知的障害者	(n=9,207)	5,457	(59.3%)	2,380	(25.8%)	4,130	(44.9%)	5,683	(61.7%)	368	(4.0%)	1,458	(15.8%)	164	(1.8%)	708	(7.7%)
	精神障害者	(n=2,409)	731	(30.3%)	894	(37.1%)	987	(41.0%)	1,056	(43.8%)	191	(7.9%)	205	(8.5%)	13	(0.5%)	225	(9.3%)
	発達障害	(n=1,334)	739	(55.4%)	343	(25.7%)	355	(26.6%)	618	(46.3%)	9	(0.7%)	193	(14.5%)	29	(2.2%)	268	(20.1%)
	難病等	(n=139)	73	(52.5%)	33	(23.7%)	50	(36.0%)	80	(57.6%)	4	(2.9%)	23	(16.5%)	10	(7.2%)	21	(15.1%)
所属事業所	入所施設	(n=736)	443	(60.2%)	157	(21.3%)	359	(48.8%)	424	(57.6%)	57	(7.7%)	68	(9.2%)	9	(1.2%)	37	(5.0%)
	通所施設のみ	(n=12,792)	6,693	(52.3%)	3,532	(27.6%)	5,287	(41.3%)	7,190	(56.2%)	569	(4.4%)	1,823	(14.3%)	245	(1.9%)	1,227	(9.6%)
	利用していない	(n=68)	26	(38.2%)	31	(45.6%)	21	(30.9%)	29	(42.6%)	3	(4.4%)	7	(10.3%)	0	(0.0%)	5	(7.4%)
一般就労しているか	働いている	(n=467)	163	(34.9%)	144	(30.8%)	136	(29.1%)	210	(45.0%)	29	(6.2%)	57	(12.2%)	6	(1.3%)	49	(10.5%)
	働いていない	(n=12,545)	6,701	(53.4%)	3,395	(27.1%)	5,313	(42.4%)	7,093	(56.5%)	568	(4.5%)	1,756	(14.0%)	242	(1.9%)	1,162	(9.3%)

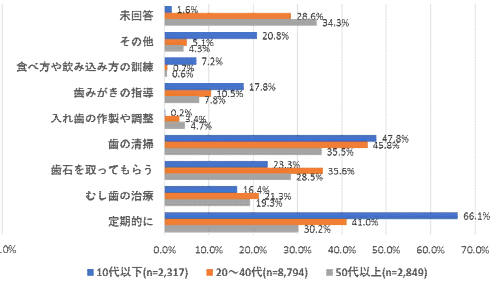
（図9）歯科診療所等への通院理由



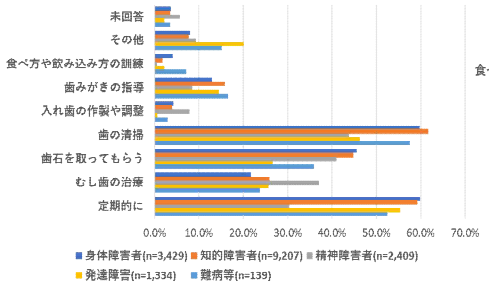
（図9-1）歯科診療所等への通院理由（男女別）



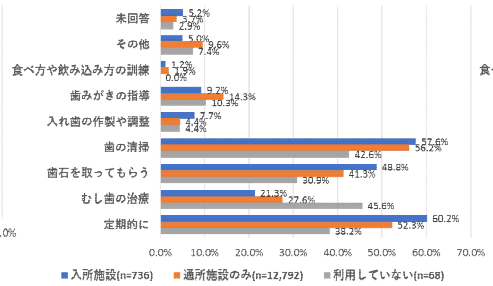
（図9-2）歯科診療所等への通院理由（年齢区分別）



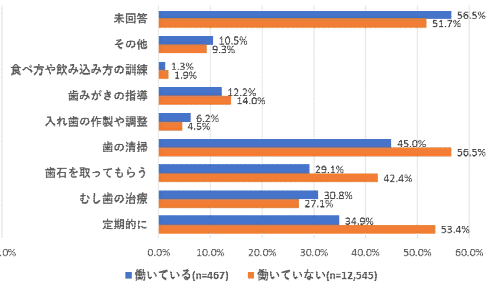
（図9-3）歯科診療所等への通院理由（障害の種別）



（図9-4）歯科診療所等への通院理由（所属事業所の種別）



（図9-5）歯科診療所等への通院理由（一般就労の有無）



（ウ）どの歯科医療機関に通っているか

表9-2にどの歯科医療機関に通っているかを示す。歯科診療所などが60.1%で最も多く、このうち家の近くが49.6%であった。それ以外の歯科医療機関では、区や市の口腔保健センターが11.8%で最も多かった。（図10）男女別では傾向に差を認めなかった。（図10-1）

年齢区分別では、10代で家の近くの歯科診療所が多く、20代以上では施設の近くの歯科診療所の割合が高くなった。それ以外の歯科医療機関は50代以上では40代以下よりも少なかった。（図10-2）年代が上がるにつれ、通院に問題が生じることがうかがわれた。

障害の種別では、精神障害者と発達障害で家の近くの歯科診療所が多く、身体障害者、知的障害者、難病等ではそれ以外の歯科医療機関が多かった。（図10-3）身体障害者、知的障害者、難病等は地域の一次医療機関での受入に課題があることがうかがわれた。

所属事業所の種別では、家の近くの歯科診療所が利用していない、通所施設のみ、入院施設の順に多く、それ以外の歯科医療機関はその逆であった。入所施設では施設の近く、施設内の歯科診療所との回答も多かった。（図10-4）

一般就労の有無では、働いている者で家または施設の近くの歯科診療所が多く、働いていない者でそれ以外の歯科医療機関が多かった。（図10-5）一般就労していない障害者について地域の一次医療機関での受入に課題があることがうかがわれた。

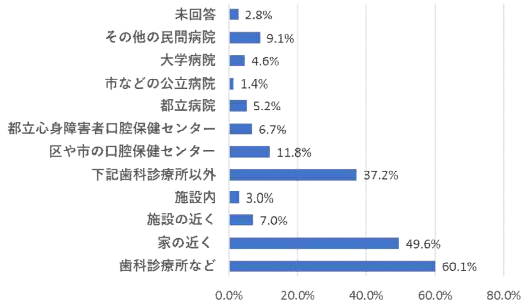
（表9－2）どの歯科医療機関に通っているか

			歯科診療所		家の近く		施設の近く		施設内	
総　数		(n=14,782)	8,877	(60.1%)	7,331	(49.6%)	1,040	(7.0%)	437	(3.0%)
性　別	男　性	(n=8,298)	4,997	(60.2%)	4,083	(49.2%)	604	(7.3%)	241	(2.9%)
	女　性	(n=5,536)	3,303	(59.7%)	2,766	(50.0%)	386	(7.0%)	169	(3.1%)
年齢区分	10代以下	(n=2,317)	1,512	(65.3%)	1,263	(54.5%)	70	(3.0%)	137	(5.9%)
	20～40代	(n=8,794)	3,609	(41.0%)	2938	(33.4%)	471	(5.4%)	169	(1.9%)
	50代以上	(n=2,849)	1,172	(41.1%)	979	(34.4%)	177	(6.2%)	47	(1.6%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,429)	1,584	(46.2%)	1,206	(35.2%)	186	(5.4%)	237	(6.9%)
	知的障害者	(n=9,207)	4,874	(52.9%)	3,740	(40.6%)	729	(7.9%)	301	(3.3%)
	精神障害者	(n=2,409)	1,919	(79.7%)	1,749	(72.6%)	215	(8.9%)	19	(0.8%)
	発達障害	(n=1,334)	982	(73.6%)	884	(66.3%)	37	(2.8%)	31	(2.3%)
	難病等	(n=139)	73	(52.5%)	58	(41.7%)	3	(2.2%)	8	(5.8%)
所属事業所	入所施設	(n=736)	364	(49.5%)	77	(10.5%)	196	(26.6%)	149	(20.2%)
	通所施設のみ	(n=12,792)	7,740	(60.5%)	6,621	(51.8%)	779	(6.1%)	226	(1.8%)
	利用していない	(n=68)	52	(76.5%)	49	(72.1%)	2	(2.9%)	1	(1.5%)
一般就労しているか	働いている	(n=467)	351	(75.2%)	279	(59.7%)	68	(14.6%)	5	(1.1%)
	働いていない	(n=12,545)	7,427	(59.2%)	6,145	(49.0%)	872	(7.0%)	368	(2.9%)

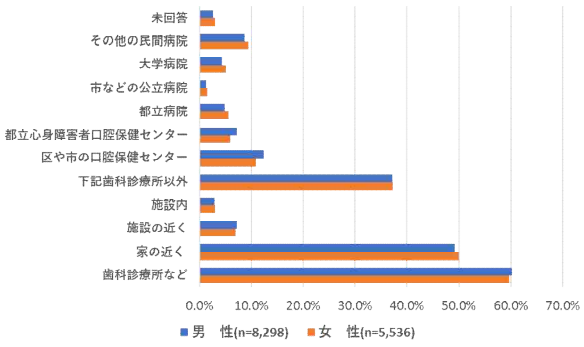
			それ以外の歯科医療機関		区や市の口腔保健センター		都立口腔保健センター		都立病院	
総　数		(n=14,782)	5,495	(37.2%)	1,748	(11.8%)	993	(6.7%)	766	(5.2%)
性　別	男　性	(n=8,298)	3,083	(37.2%)	1,030	(12.4%)	602	(7.3%)	405	(4.9%)
	女　性	(n=5,536)	2,063	(37.3%)	602	(10.9%)	329	(5.9%)	312	(5.6%)
年齢区分	10代以下	(n=2,317)	769	(33.2%)	225	(9.7%)	100	(4.3%)	119	(5.1%)
	20～40代	(n=8,794)	2810	(32.0%)	942	(10.7%)	573	(6.5%)	427	(4.9%)
	50代以上	(n=2,849)	595	(20.9%)	194	(6.8%)	106	(3.7%)	55	(1.9%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,429)	1,737	(50.7%)	486	(14.2%)	244	(7.1%)	387	(11.3%)
	知的障害者	(n=9,207)	4,088	(44.4%)	1,437	(15.6%)	858	(9.3%)	591	(6.4%)
	精神障害者	(n=2,409)	423	(17.6%)	25	(1.0%)	17	(0.7%)	27	(1.1%)
	発達障害	(n=1,334)	322	(24.1%)	86	(6.4%)	38	(2.8%)	52	(3.9%)
	難病等	(n=139)	63	(45.3%)	9	(6.5%)	3	(2.2%)	22	(15.8%)
所属事業所	入所施設	(n=736)	333	(45.2%)	143	(19.4%)	62	(8.4%)	29	(3.9%)
	通所施設のみ	(n=12,792)	4,726	(36.9%)	1,465	(11.5%)	856	(6.7%)	677	(5.3%)
	利用していない	(n=68)	13	(19.1%)	0	(0.0%)	3	(4.4%)	1	(1.5%)
一般就労しているか	働いている	(n=467)	90	(19.3%)	21	(4.5%)	10	(2.1%)	8	(1.7%)
	働いていない	(n=12,545)	4,796	(38.2%)	1,524	(12.1%)	869	(6.9%)	685	(5.5%)

			市などの公立病院		大学病院		その他の民間病院		未回答	
総　数		(n=14,782)	206	(1.4%)	677	(4.6%)	1,342	(9.1%)	410	(2.8%)
性　別	男　性	(n=8,298)	107	(1.3%)	356	(4.3%)	723	(8.7%)	218	(2.6%)
	女　性	(n=5,536)	85	(1.5%)	279	(5.0%)	524	(9.5%)	170	(3.1%)
年齢区分	10代以下	(n=2,317)	37	(1.6%)	198	(8.5%)	178	(7.7%)	36	(1.6%)
	20～40代	(n=8,794)	94	(1.1%)	264	(3.0%)	622	(7.1%)	2438	(27.7%)
	50代以上	(n=2,849)	19	(0.7%)	49	(1.7%)	158	(5.5%)	949	(33.3%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,429)	86	(2.5%)	211	(6.2%)	367	(10.7%)	108	(3.1%)
	知的障害者	(n=9,207)	147	(1.6%)	455	(4.9%)	882	(9.6%)	245	(2.7%)
	精神障害者	(n=2,409)	15	(0.6%)	56	(2.3%)	208	(8.6%)	67	(2.8%)
	発達障害	(n=1,334)	13	(1.0%)	83	(6.2%)	89	(6.7%)	30	(2.2%)
	難病等	(n=139)	2	(1.4%)	19	(13.7%)	14	(10.1%)	3	(2.2%)
所属事業所	入所施設	(n=736)	10	(1.4%)	15	(2.0%)	36	(4.9%)	39	(5.3%)
	通所施設のみ	(n=12,792)	183	(1.4%)	606	(4.7%)	1,184	(9.3%)	326	(2.5%)
	利用していない	(n=68)	0	(0.0%)	3	(4.4%)	4	(5.9%)	3	(4.4%)
一般就労しているか	働いている	(n=467)	6	(1.3%)	12	(2.6%)	34	(7.3%)	258	(55.2%)
	働いていない	(n=12,545)	176	(1.4%)	590	(4.7%)	1,146	(9.1%)	6,348	(50.6%)

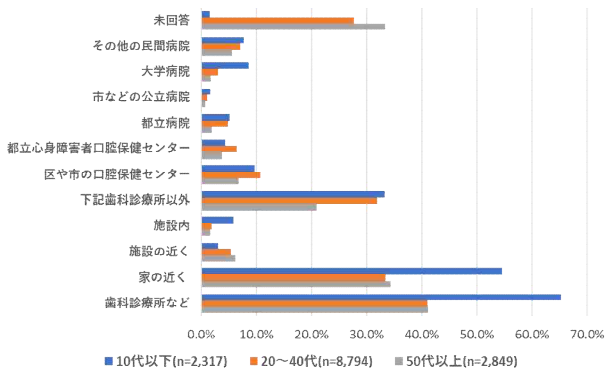
（図10）通っている歯科医療機関



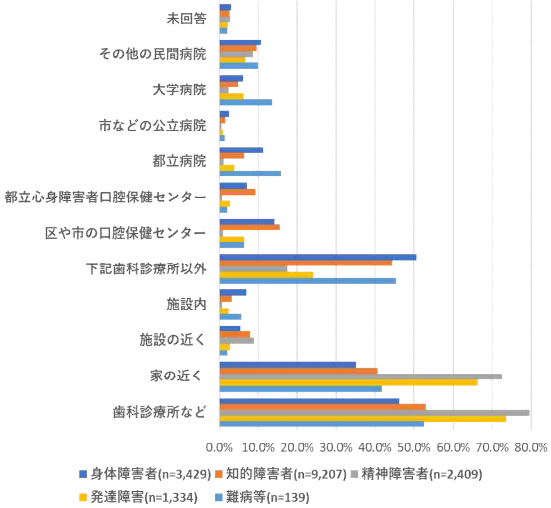
（図10-1）通っている歯科医療機関（男女別）



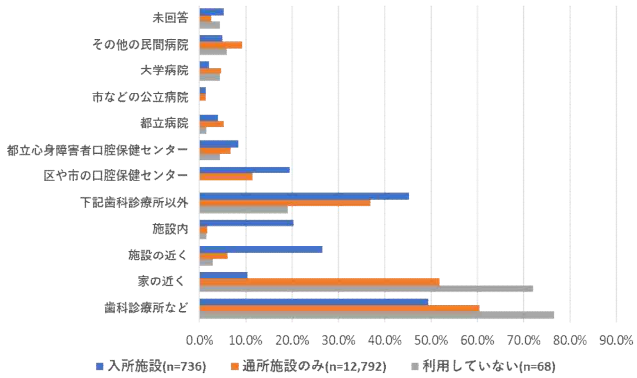
（図10-2）通っている歯科医療機関（年齢区分別）



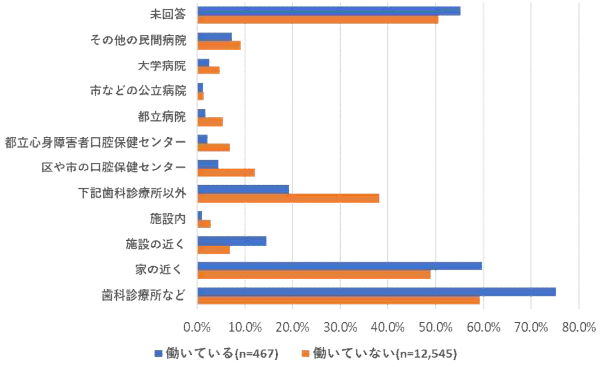
（図10-3）通っている歯科医療機関（障害の種別）



（図10-4）通っている歯科医療機関（所属事業所の種別）



（図10-5）通っている歯科医療機関（一般就労の有無）



（エ）その歯科医療機関に通っている理由

表9-3にその医療機関に通っている理由を示す。スタッフが優しく丁寧が63.5%と最も多かった。歯科医療機関については32.4%とスタッフについて65.2%の半数程度であった。バリアフリーは10.1%であった。（図11）バリアフリーは特定の障害等に求められる要件であることが想像される。

男女別では傾向に差を認めなかった。（図11-1）

年齢区分別では、多くの項目で50代以上より40代以下が高かったのに対し、家や施設から近いで50代以上が多かった。（図11-2）ここでも年代が上がると、通院に問題が生じることがうかがわれた。

障害の種別では、身体障害者と難病等で歯科医療機関について、特にバリアフリーを理由として挙げていた。スタッフについて、優しく丁寧は障害の種別にかかわらず最も多い理由として挙げられていた。（図11-3）

所属事業所の種別では、スタッフについて、優しく丁寧は障害の種別にかかわらず最も多い理由として挙げられていたのは変わらないものの、入所施設ではその割合が少なかった。入所施設のみが多かったのは、バリアフリーと施設職員からの紹介であった。（図11-4）

一般就労の有無では、働いていない者の方がスタッフについて、歯科医療機関についての割合が高く、働いている者の方が家族が通っている、施設職員からの紹介、家や施設から近いの割合が高かった。（図11-5）

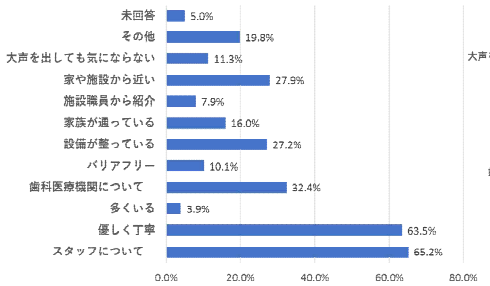
通院先別にみると、歯科診療所などではスタッフについて、歯科医療機関についての割合が低く、家や施設から近い、家族が通っているが多かった。それ以外の歯科医療機関では、設備が整っているが多かった。（図11-6）

（表9－3）その歯科医療機関に通っている理由

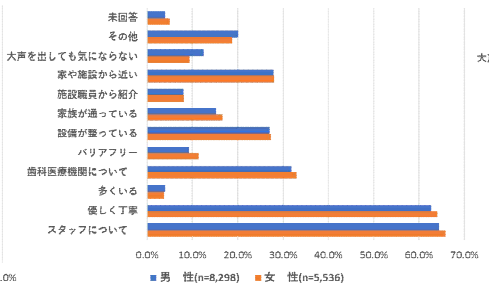
			スタッフについて		優しく丁寧		多くいる		歯科医療機関について		バリアフリー		設備が整っている	
総　数		(n=14,782)	9,639	(65.2%)	9,384	(63.5%)	576	(3.9%)	4,791	(32.4%)	1,496	(10.1%)	4,018	(27.2%)
性　別	男　性	(n=8,298)	5,342	(64.4%)	5,204	(62.7%)	326	(3.9%)	2,647	(31.9%)	767	(9.2%)	2,239	(27.0%)
	女　性	(n=5,536)	3,644	(65.8%)	3,547	(64.1%)	207	(3.7%)	1,825	(33.0%)	628	(11.3%)	1,510	(27.3%)
年齢区分	10代以下	(n=2,317)	1,480	(63.9%)	1,455	(62.8%)	74	(3.2%)	740	(31.9%)	225	(9.7%)	627	(27.1%)
	20～40代	(n=8,794)	6,018	(68.4%)	5,862	(66.7%)	388	(4.4%)	3,029	(34.4%)	970	(11.0%)	2,544	(28.9%)
	50代以上	(n=2,849)	1,528	(53.6%)	1,469	(51.6%)	81	(2.8%)	714	(25.1%)	203	(7.1%)	590	(20.7%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,429)	2,220	(64.7%)	2,164	(63.1%)	150	(4.4%)	1,586	(46.3%)	980	(28.6%)	1,071	(31.2%)
	知的障害者	(n=9,207)	6,217	(67.5%)	6,067	(65.9%)	402	(4.4%)	3,085	(33.5%)	995	(10.8%)	2,603	(28.3%)
	精神障害者	(n=2,409)	1,448	(60.1%)	1,387	(57.6%)	85	(3.5%)	673	(27.9%)	55	(2.3%)	631	(26.2%)
	発達障害	(n=1,334)	866	(64.9%)	848	(63.6%)	33	(2.5%)	366	(27.4%)	56	(4.2%)	336	(25.2%)
	難病等	(n=139)	83	(59.7%)	81	(58.3%)	7	(5.0%)	60	(43.2%)	28	(20.1%)	46	(33.1%)
所属事業所	入所施設	(n=736)	321	(43.6%)	309	(42.0%)	34	(4.6%)	220	(29.9%)	104	(14.1%)	200	(27.2%)
	通所施設のみ	(n=12,792)	8,489	(66.4%)	8,262	(64.6%)	500	(3.9%)	4,175	(32.6%)	1,262	(9.9%)	3,491	(27.3%)
	利用していない	(n=68)	40	(58.8%)	40	(58.8%)	0	(0.0%)	15	(22.1%)	3	(4.4%)	12	(17.6%)
一般就労しているか	働いている	(n=467)	268	(57.4%)	256	(54.8%)	11	(2.4%)	103	(22.1%)	20	(4.3%)	86	(18.4%)
	働いていない	(n=12,545)	8,216	(65.5%)	7,999	(63.8%)	498	(4.0%)	4,143	(33.0%)	1,311	(10.5%)	3,469	(27.7%)
どこに通っているか	歯科診療所	(n=8,877)	5,617	(63.3%)	5,468	(61.6%)	234	(2.6%)	2,147	(24.2%)	462	(5.2%)	1,839	(20.7%)
	歯科診療所以外	(n=5,495)	3,901	(71.0%)	3,801	(69.2%)	334	(6.1%)	2,591	(47.2%)	1,013	(18.4%)	2,134	(38.8%)

			家族が通っている		施設職員から紹介		家や施設から近い		大声を出しても気にならない		その他		未回答	
総　数		(n=14,782)	2,359	(16.0%)	1,172	(7.9%)	4,125	(27.9%)	1,675	(11.3%)	2,924	(19.8%)	737	(5.0%)
性　別	男　性	(n=8,298)	1,262	(15.2%)	668	(8.1%)	2,315	(27.9%)	1,038	(12.5%)	1,669	(20.1%)	414	(4.0%)
	女　性	(n=5,536)	920	(16.6%)	448	(8.1%)	1,549	(28.0%)	520	(9.4%)	1,041	(18.8%)	277	(5.0%)
年齢区分	10代以下	(n=2,317)	449	(19.4%)	254	(11.0%)	667	(28.8%)	370	(16.0%)	592	(25.6%)	52	(2.2%)
	20～40代	(n=8,794)	1,466	(16.7%)	591	(6.7%)	2,328	(26.5%)	1,119	(12.7%)	1,784	(20.3%)	397	(4.5%)
	50代以上	(n=2,849)	273	(9.6%)	276	(9.7%)	885	(31.1%)	68	(2.4%)	338	(11.9%)	250	(8.8%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,429)	349	(10.2%)	298	(8.7%)	741	(21.6%)	420	(12.2%)	794	(23.2%)	196	(5.7%)
	知的障害者	(n=9,207)	1,508	(16.4%)	834	(9.1%)	2,233	(24.3%)	1,368	(14.9%)	1,958	(21.3%)	429	(4.7%)
	精神障害者	(n=2,409)	314	(13.0%)	143	(5.9%)	925	(38.4%)	31	(1.3%)	329	(13.7%)	140	(5.8%)
	発達障害	(n=1,334)	274	(20.5%)	86	(6.4%)	464	(34.8%)	171	(12.8%)	302	(22.6%)	29	(2.2%)
	難病等	(n=139)	24	(17.3%)	15	(10.8%)	35	(25.2%)	16	(11.5%)	37	(26.6%)	3	(2.2%)
所属事業所	入所施設	(n=736)	22	(3.0%)	147	(20.0%)	207	(28.1%)	79	(10.7%)	120	(16.3%)	91	(12.4%)
	通所施設のみ	(n=12,792)	2,125	(16.6%)	936	(7.3%)	3,591	(28.1%)	1,433	(11.2%)	2,565	(20.1%)	553	(4.3%)
	利用していない	(n=68)	14	(20.6%)	4	(5.9%)	22	(32.4%)	4	(5.9%)	8	(11.8%)	5	(7.4%)
一般就労しているか	働いている	(n=467)	79	(16.9%)	47	(10.1%)	146	(31.3%)	12	(2.6%)	65	(13.9%)	269	(57.6%)
	働いていない	(n=12,545)	1,971	(15.7%)	1,006	(8.0%)	3,503	(27.9%)	1,440	(11.5%)	2,494	(19.9%)	6,613	(52.7%)
どこに通っているか	歯科診療所	(n=8,877)	2,044	(23.0%)	649	(7.3%)	3,470	(39.1%)	416	(4.7%)	1,369	(15.4%)	333	(3.8%)
	それ以外の歯科医療機関	(n=5,495)	302	(5.5%)	506	(9.2%)	637	(11.6%)	1,234	(22.5%)	1,515	(27.6%)	170	(3.1%)

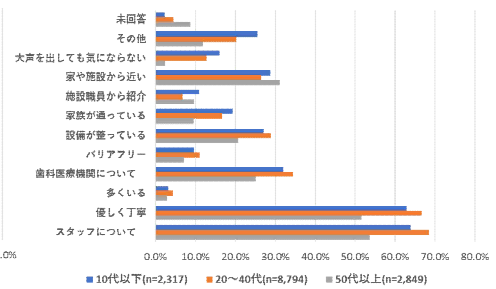
（図11）その歯科医療機関に通っている理由



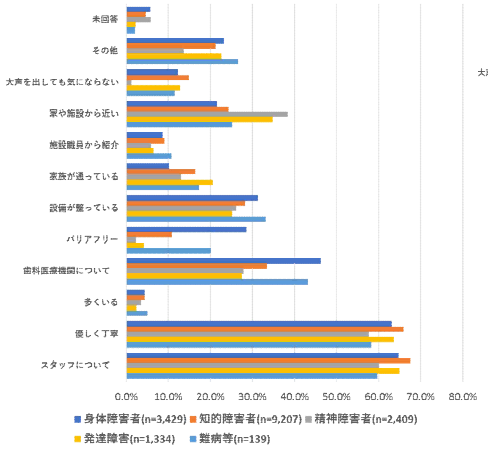
（図11-1）その歯科医療機関に通っている理由（男女別）



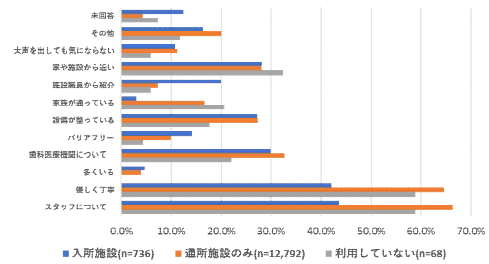
（図11-2）その歯科医療機関に通っている理由（年齢区分別）



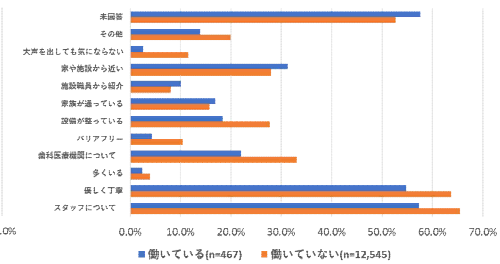
（図11-3）その歯科医療機関に通っている理由（障害の種別）



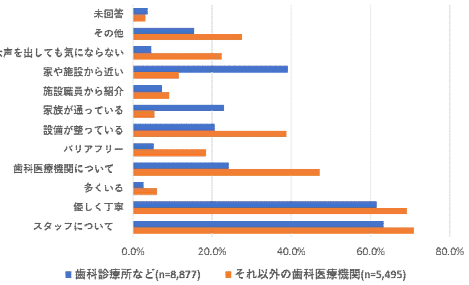
（図11-4）その歯科医療機関に通っている理由（所属事業所の種別）



（図11-5）その歯科医療機関に通っている理由（一般就労の有無）



（図11-6）その歯科医療機関に通っている理由（通院先別）



（オ）付き添いの人はいるか

表9-4に付き添いの人がいるかを示す。1人で通っているのは29.0%で、家族が付き添っているのが最も多く61.6%であった。（図12）

男女別では傾向に差を認めなかったものの、男性の方が家族の付き添いが多く、女性の方が1人で通っているが多かった。（図12-1）

年齢区分別では、年代が若いほど家族の付き添いが多く、年代が上がるにつれ1人で通っていると施設職員の付き添いが増加した。（図12-2）

障害の種別では、精神障害者で付き添いが少なく、1人で通っているが多かった。（図12-3）

所属事業所の種別では、入所施設で施設職員の付き添いが多く、通所施設では家族の付き添いが多く、利用していない者は1人で通っているが多かった。（図12-4）

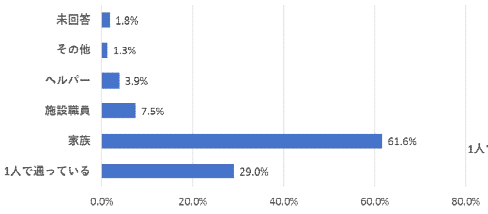
一般就労の有無では、働いている者は1人で通っているが多く、働いていない者は家族をはじめ、付き添いが多かった。（図12-5）

通院先別では、歯科診療所、それ以外の歯科医療機関ともに家族の付き添いが最も多く、次いで1人で通っているであった。ただし、それ以外の歯科医療機関では家族の付き添いの割合が高かった。（図12-6）

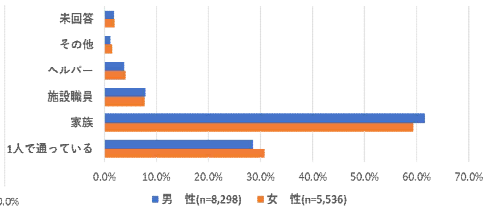
（表9－4）付き添いの人はいるか

			1人で通っている		家族		施設職員		ヘルパー		その他		未回答	
総　数		(n=14,782)	4,289	(29.0%)	9,102	(61.6%)	1,106	(7.5%)	575	(3.9%)	193	(1.3%)	273	(1.8%)
性　別	男　性	(n=8,298)	2,369	(28.5%)	5,113	(61.6%)	656	(7.9%)	315	(3.8%)	100	(1.2%)	153	(1.8%)
	女　性	(n=5,536)	1,706	(30.8%)	3,288	(59.4%)	428	(7.7%)	229	(4.1%)	84	(1.5%)	109	(2.0%)
年齢区分	10代以下	(n=2,317)	74	(3.2%)	2,132	(92.0%)	102	(4.4%)	22	(0.9%)	9	(0.4%)	24	(1.0%)
	20～40代	(n=8,794)	2,480	(28.2%)	5,685	(64.6%)	573	(6.5%)	394	(4.5%)	100	(1.1%)	149	(1.7%)
	50代以上	(n=2,849)	1,549	(54.4%)	614	(21.6%)	408	(14.3%)	127	(4.5%)	73	(2.6%)	92	(3.2%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,429)	644	(18.8%)	2,344	(68.4%)	253	(7.4%)	270	(7.9%)	66	(1.9%)	85	(2.5%)
	知的障害者	(n=9,207)	1,431	(15.5%)	6,691	(72.7%)	975	(10.6%)	422	(4.6%)	138	(1.5%)	139	(1.5%)
	精神障害者	(n=2,409)	2,040	(84.7%)	258	(10.7%)	66	(2.7%)	21	(0.9%)	19	(0.8%)	57	(2.4%)
	発達障害	(n=1,334)	267	(20.0%)	1,021	(76.5%)	43	(3.2%)	16	(1.2%)	3	(0.2%)	12	(0.9%)
	難病等	(n=139)	32	(23.0%)	98	(70.5%)	4	(2.9%)	5	(3.6%)	0	(0.0%)	2	(1.4%)
所属事業所	入所施設	(n=736)	24	(3.3%)	184	(25.0%)	505	(68.6%)	13	(1.8%)	16	(2.2%)	35	(4.8%)
	通所施設のみ	(n=12,792)	3,950	(30.9%)	8,065	(63.0%)	544	(4.3%)	525	(4.1%)	167	(1.3%)	205	(1.6%)
	利用していない	(n=68)	42	(61.8%)	22	(32.4%)	1	(1.5%)	1	(1.5%)	0	(0.0%)	2	(2.9%)
一般就労しているか	働いている	(n=467)	290	(62.1%)	145	(31.0%)	25	(5.4%)	3	(0.6%)	10	(2.1%)	243	(52.0%)
	働いていない	(n=12,545)	3,548	(28.3%)	7,751	(61.8%)	987	(7.9%)	511	(4.1%)	168	(1.3%)	6,263	(49.9%)
どこに通っているか	歯科診療所	(n=8,877)	3,519	(39.6%)	4,652	(52.4%)	655	(7.4%)	213	(2.4%)	124	(1.4%)	109	(1.2%)
	それ以外の歯科医療機関	(n=5,495)	672	(12.2%)	4,277	(77.8%)	422	(7.7%)	354	(6.4%)	58	(1.1%)	55	(1.0%)

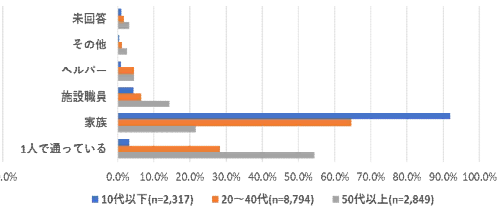
（図12）付き添い



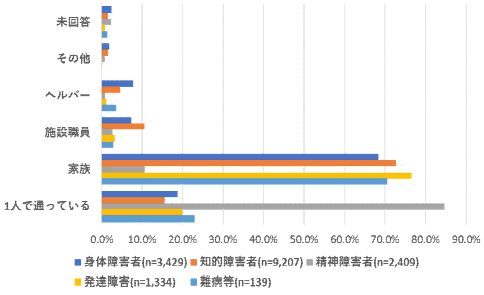
（図12-1）付き添い（男女別）



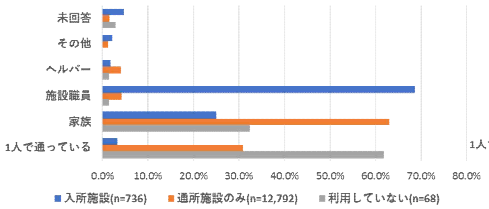
（図12-2）付き添い（年齢区分別）



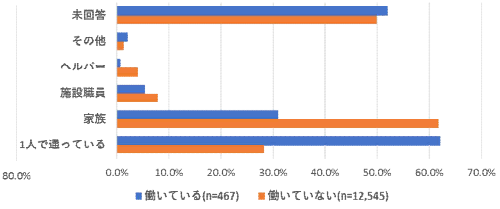
（図12-3）付き添い（障害の種別）



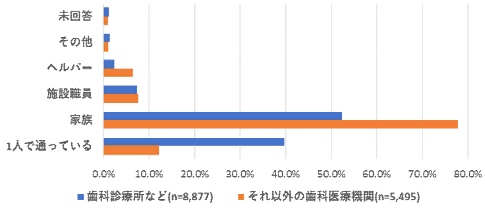
（図12-4）付き添い（所属事業所の種別）



（図12-5）付き添い（一般就労の有無）



（図12-6）付き添い（通院先別）



（カ）通う手段

表9-5に通う手段を示す。歩きが40.5%で最も多く、次いで車が31.2%であった。電車15.2%、バス12.1%、タクシー6.9%と公共交通機関の利用は多くなかった。（図13）

男女別では、男性で自転車の割合が女性より高かったものの、傾向に大きな違いを認めなかった。（図13-1）

年齢区分別では、年代が上がるにつれ歩きの割合が高くなった。また、40代以下で車が多く、10代以下では自転車が多く、20～40代では電車、タクシーが多く、20代以上でバスが多い傾向であった。（図13-2）日常生活圏の広さとそれに伴う日常に使う交通機関の違いが現れたものと考えられる。

障害の種別では、精神障害者で歩きが多く、車が少なかった。自転車は発達障害と精神障害者で多かった。タクシーは身体障害者と知的障害者で多かった。（図13-3）

所属事業所の種別では、歩きは利用していない、通所施設のみ、入所施設の順に多く、車はその逆であった。入所施設では自転車、電車が少なかった。（図13-4）

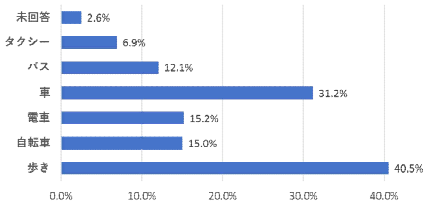
一般就労の有無では、働いている者は歩き、自転車が多く、働いていない者は車が多かった。（図13-5）

通院先別では、歯科診療所などは歩きや自転車が、それ以外の歯科医療機関では車、電車、バス、タクシーが多かった。（図13-6）通う手段の選択は、家や施設から医療機関までの距離に依存するため、当然の結果と言えよう。

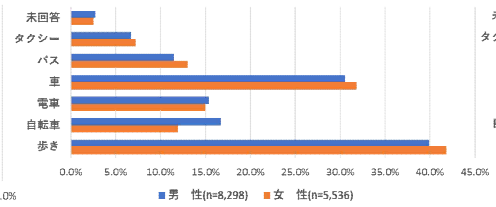
（表9－5）通う手段

			歩き		自転車		電車		車		バス		タクシー		未回答	
総　数		(n=14,782)	5,990	(40.5%)	2,219	(15.0%)	2,244	(15.2%)	4,606	(31.2%)	1,784	(12.1%)	1,021	(6.9%)	377	(2.6%)
性　別	男　性	(n=8,298)	3,309	(39.9%)	1,386	(16.7%)	1,276	(15.4%)	2,535	(30.5%)	953	(11.5%)	555	(6.7%)	225	(2.7%)
	女　性	(n=5,536)	2,316	(41.8%)	660	(11.9%)	828	(15.0%)	1,760	(31.8%)	720	(13.0%)	400	(7.2%)	140	(2.5%)
年齢区分	10代以下	(n=2,317)	669	(28.9%)	782	(33.8%)	301	(13.0%)	871	(37.6%)	158	(6.8%)	80	(3.5%)	34	(1.5%)
	20～40代	(n=8,794)	3,528	(40.1%)	941	(10.7%)	1,504	(17.1%)	3,011	(34.2%)	1,126	(12.8%)	711	(8.1%)	216	(2.5%)
	50代以上	(n=2,849)	1,444	(50.7%)	337	(11.8%)	314	(11.0%)	431	(15.1%)	398	(14.0%)	166	(5.8%)	114	(4.0%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,429)	1,039	(30.3%)	202	(5.9%)	425	(12.4%)	1,591	(46.4%)	347	(10.1%)	408	(11.9%)	138	(4.0%)
	知的障害者	(n=9,207)	3,360	(36.5%)	775	(8.4%)	1,554	(16.9%)	3,545	(38.5%)	1,232	(13.4%)	832	(9.0%)	224	(2.4%)
	精神障害者	(n=2,409)	1,426	(59.2%)	633	(26.3%)	301	(12.5%)	150	(6.2%)	266	(11.0%)	25	(1.0%)	54	(2.2%)
	発達障害	(n=1,334)	494	(37.0%)	497	(37.3%)	179	(13.4%)	352	(26.4%)	90	(6.7%)	40	(3.0%)	27	(2.0%)
	難病等	(n=139)	49	(35.3%)	19	(13.7%)	29	(20.9%)	61	(43.9%)	17	(12.2%)	7	(5.0%)	4	(2.9%)
所属事業所	入所施設	(n=736)	226	(30.7%)	4	(0.5%)	41	(5.6%)	366	(49.7%)	52	(7.1%)	49	(6.7%)	91	(12.4%)
	通所施設のみ	(n=12,792)	5,253	(41.1%)	2,014	(15.7%)	2,023	(15.8%)	3,850	(30.1%)	1,604	(12.5%)	894	(7.0%)	247	(1.9%)
	利用していない	(n=68)	46	(67.6%)	10	(14.7%)	10	(14.7%)	7	(10.3%)	3	(4.4%)	0	(0.0%)	2	(2.9%)
一般就労しているか	働いている	(n=467)	257	(55.0%)	92	(19.7%)	70	(15.0%)	63	(13.5%)	60	(12.8%)	8	(1.7%)	244	(52.2%)
	働いていない	(n=12,545)	5,057	(40.3%)	1,814	(14.5%)	1,919	(15.3%)	3,975	(31.7%)	1,530	(12.2%)	899	(7.2%)	6,345	(50.6%)
どこに通っているか	歯科診療所	(n=8,877)	4,900	(55.2%)	1,852	(20.9%)	741	(8.3%)	1,805	(20.3%)	854	(9.6%)	245	(2.8%)	177	(2.0%)
	それ以外の歯科医療機関	(n=5,495)	992	(18.1%)	335	(6.1%)	1,463	(26.6%)	2,711	(49.3%)	873	(15.9%)	745	(13.6%)	85	(1.5%)

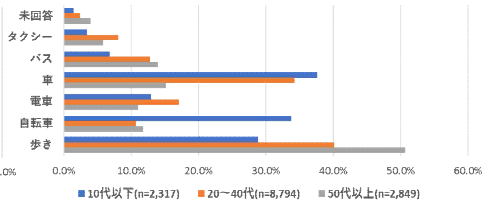
（図13）通う手段



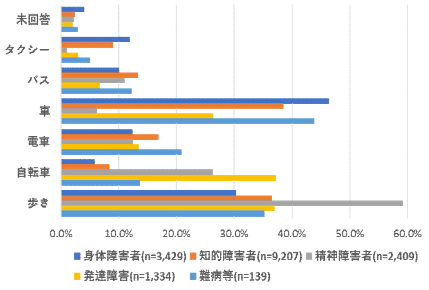
（図13-1）通う手段（男女別）



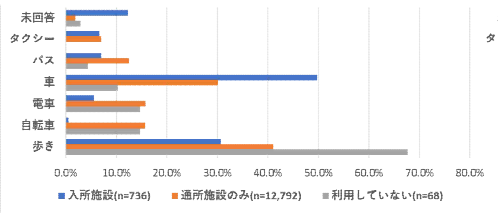
（図13-2）通う手段（年齢区分別）



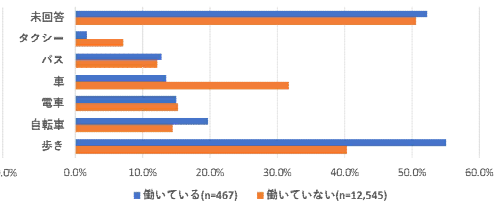
（図13-3）通う手段（障害の種別）



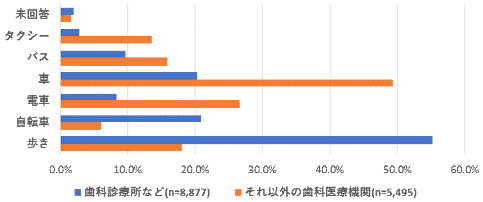
（図13-4）通う手段（所属事業所の種別）



（図13-5）通う手段（一般就労の有無）



（図13-6）通う手段（通院先別）



●施設か自宅に歯科医師が来てくれる場合

（キ）訪問歯科診療に来てくれる歯科医師をどのように知ったか

表10に訪問歯科診療に来てくれる歯科医師をどのように知ったかを示す。施設に来ているためが48.2%、次いで自分や家族が探した29.6%であった。（図14）半数近くは自ら主体的に訪問歯科医師を選んでいないことが明らかとなった。

男女別では、傾向に大きな違いを認めなかったものの、男性で女性より施設から紹介が多く、施設に来ているが少なかった。（図14-1）

年齢区分別では、年代が上がるにつれ施設に来ているが多くなった。50代以上では自分や家族が探したが少なかった。（図14-2）

障害の種別では、精神障害者で施設に来ているが少なく、自分や家族が探したが多かった。発達障害では施設からの紹介が少なく、自分や家族が探したが多かった。（図14-3）

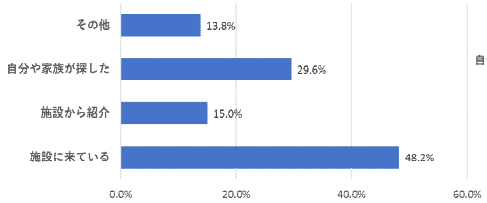
所属事業所の種別では、入所施設で施設に来ているが89.7%を占め、自分や家族が探したは2.0%であった。（図14-4）

一般就労の有無では、働いていない者は施設に来ているが多く、働いている者は自分や家族が探した、施設から紹介が多かった。（図14-5）

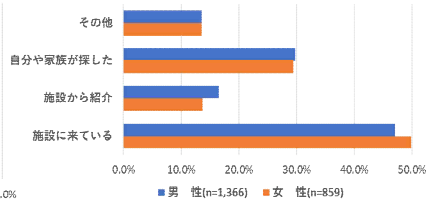
（表10）訪問歯科診療に来てくれる歯科医師をどのように知ったか（重複回答）

			施設に来ている		施設から紹介		自分や家族が探した		その他	
総　数		(n=2,322)	1,120	(48.2%)	349	(15.0%)	687	(29.6%)	321	(13.8%)
性　別	男　性	(n=1,366)	642	(47.0%)	225	(16.5%)	407	(29.8%)	185	(13.5%)
	女　性	(n=859)	428	(49.8%)	118	(13.7%)	253	(29.5%)	116	(13.5%)
年齢区分	10代以下	(n=199)	65	(32.7%)	31	(15.6%)	68	(34.2%)	39	(19.6%)
	20～40代	(n=1,303)	547	(42.0%)	170	(13.0%)	440	(33.8%)	182	(14.0%)
	50代以上	(n=684)	476	(69.6%)	139	(20.3%)	156	(22.8%)	84	(12.3%)
障害の種別	身体障害者	(n=809)	480	(59.3%)	93	(11.5%)	148	(18.3%)	129	(15.9%)
	知的障害者	(n=1,483)	784	(52.9%)	231	(15.6%)	400	(27.0%)	193	(13.0%)
	精神障害者	(n=294)	66	(22.4%)	38	(12.9%)	156	(53.1%)	51	(17.3%)
	発達障害	(n=179)	85	(47.5%)	8	(4.5%)	69	(38.5%)	34	(19.0%)
	難病等	(n=20)	9	(45.0%)	4	(20.0%)	4	(20.0%)	4	(20.0%)
所属事業所	入所施設	(n=858)	770	(89.7%)	132	(15.4%)	17	(2.0%)	35	(4.1%)
	通所施設のみ	(n=1,306)	280	(17.5%)	200	(12.5%)	621	(38.8%)	256	(16.0%)
	利用していない	(n=6)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	3	(60.0%)	2	(40.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=79)	13	(16.5%)	22	(27.8%)	34	(43.0%)	12	(15.2%)
	働いていない	(n=1994)	974	(48.8%)	301	(15.1%)	581	(29.1%)	282	(14.1%)

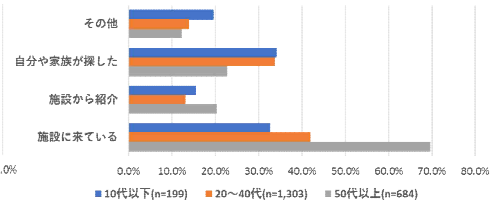
（図14）訪問歯科診療をどのように知ったか



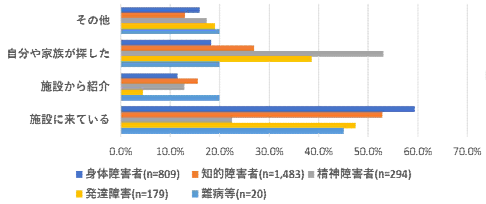
（図14-1）訪問歯科診療をどのように知ったか（男女別）



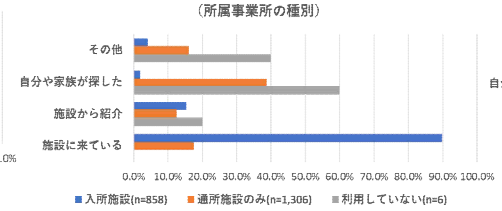
（図14-2）訪問歯科診療をどのように知ったか（年齢区分別）



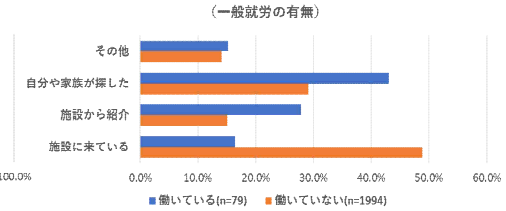
（図14-3）訪問歯科診療をどのように知ったか（障害の種別）



（図14-4）訪問歯科診療をどのように知ったか（所属事業所の種別）



（図14-5）訪問歯科診療をどのように知ったか（一般就労の有無）



●通っていない場合

（ク）通っていない理由

表11に通っていない理由を示す。最も多かったのは必要ないからで45.2%であった。（図15）

男女別では、傾向に大きな違いを認めなかったものの、男性で女性より必要ないから、めんどうだからが多く、1人で行けないからが少なかった。（図15-1）

年齢区分別では、年代が上がるにつれ必要ないからが増え、めんどうだからは20～40代が多かった。年代が低いほど、その他の理由が多かった。（図15-2）

10代以下でその他に挙げられていた主な理由は以下の通りであった。

・暴れてしまいそう　・過去に暴れて行きづらくなった　・嫌がる、怖い　・口を開けることができない
・行くのが大変（時間、予約、通院等）　・治療が終了した　・幼いためまだ行っていない
・むし歯がないため　・歯科健診を受けているため　・これから受診予定
・どこに行って良いか分からない（転居によるものを含む）

過去に暴れたのではなく、暴れてしまいそうだからという理由は、通院前の阻害要因として一考を要すると考える。また、転居によりかかりつけ歯科医が変わらざるを得なくなったケースもあり、診診連携・病診連携の強化が重要であろう。この他に少数ではあるが、雑な扱いを受けた、あまり受け入れたくないような言葉をかけられた、定期的に通っていたが混んでいるため断られたといった意見もみられた。多分にコミュニケーションのエラーによるものと思われるが、歯科診療の選択肢が絞られる障害者に対しては、必要十分以上の配慮を要する。

20代以上ではこれらに加え、金銭的な問題を理由にあげた者が散見された。

障害の種別では、精神障害者で必要ないから、めんどうだからが多く、1人で行けないからが少なかった。難病等では必要ないからが少なく、身体障害者、知的障害者ではめんどうだからが少なかった。（図15-3）

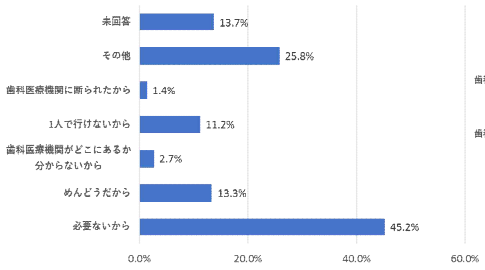
所属事業所の種別では、入所施設で必要ないからが多く、めんどうだから、歯科医療機関がどこにあるかわかないからが少なかった。（図15-4）

一般就労の有無では、働いている者は働いていない者に比べ、必要ないから、めんどうだからが多く、1人で行けないからが少なかった。（図15-5）

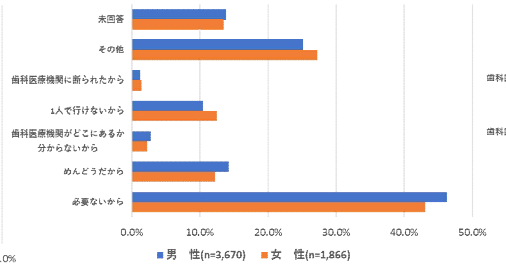
（表11）通っていない理由

			必要ないから		めんどうだから		歯科医療機関が		1人で行けないから		歯科医療機関に		その他		未回答	
総　数		(n=5,858)	2,647	(45.2%)	781	(13.3%)	158	(2.7%)	657	(11.2%)	84	(1.4%)	1,513	(25.8%)	802	(13.7%)
性　別	男　性	(n=3,670)	1697	(46.2%)	521	(14.2%)	100	(2.7%)	383	(10.4%)	44	(1.2%)	922	(25.1%)	508	(13.8%)
	女　性	(n=1,866)	804	(43.1%)	228	(12.2%)	41	(2.2%)	233	(12.5%)	26	(1.4%)	508	(27.2%)	251	(13.5%)
年齢区分	10代以下	(n=793)	323	(40.7%)	55	(6.9%)	29	(3.7%)	94	(11.9%)	11	(1.4%)	285	(35.9%)	107	(13.5%)
	20～40代	(n=3,192)	1,425	(44.6%)	481	(15.1%)	91	(2.9%)	385	(12.1%)	45	(1.4%)	833	(26.1%)	409	(12.8%)
	50代以上	(n=1,601)	785	(49.0%)	220	(13.7%)	23	(1.4%)	143	(8.9%)	16	(1.0%)	321	(20.0%)	245	(15.3%)
障害の種別	身体障害者	(n=1,026)	447	(43.6%)	96	(9.4%)	26	(2.5%)	144	(14.0%)	16	(1.6%)	245	(23.9%)	179	(17.4%)
	知的障害者	(n=2,714)	1,100	(40.5%)	208	(7.7%)	80	(2.9%)	486	(17.9%)	53	(2.0%)	770	(28.4%)	422	(15.5%)
	精神障害者	(n=1,789)	909	(50.8%)	430	(24.0%)	39	(2.2%)	48	(2.7%)	12	(0.7%)	393	(22.0%)	188	(10.5%)
	発達障害	(n=573)	241	(42.1%)	75	(13.1%)	17	(3.0%)	55	(9.6%)	6	(1.0%)	188	(32.8%)	66	(11.5%)
	難病等	(n=51)	15	(29.4%)	8	(15.7%)	2	(3.9%)	9	(17.6%)	1	(2.0%)	12	(23.5%)	12	(23.5%)
所属事業所	入所施設	(n=287)	142	(49.5%)	6	(2.1%)	1	(0.3%)	31	(10.8%)	1	(0.3%)	57	(19.9%)	71	(24.7%)
	通所施設のみ	(n=5,160)	2,320	(45.0%)	735	(14.2%)	142	(2.8%)	586	(11.4%)	73	(1.4%)	1,360	(26.4%)	651	(12.6%)
	利用していない	(n=30)	13	(43.3%)	4	(13.3%)	0	(0.0%)	3	(10.0%)	0	(0.0%)	6	(20.0%)	7	(23.3%)
一般就労してい	働いている	(n=227)	127	(55.9%)	35	(15.4%)	4	(1.8%)	11	(4.8%)	0	(0.0%)	44	(19.4%)	29	(12.8%)
	働いていない	(n=4991)	2,222	(44.5%)	666	(13.3%)	137	(2.7%)	576	(11.5%)	70	(1.4%)	1,322	(26.5%)	673	(13.5%)

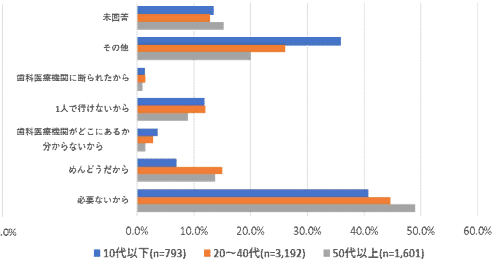
（図15）通っていない理由



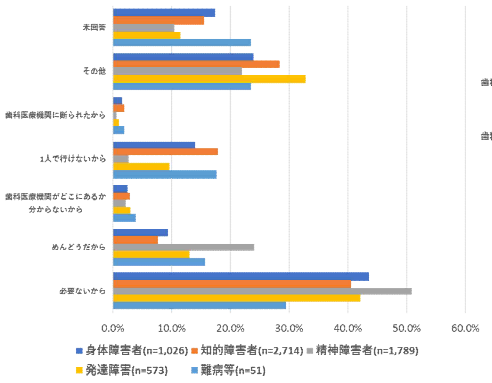
（図15-1）通っていない理由（男女別）



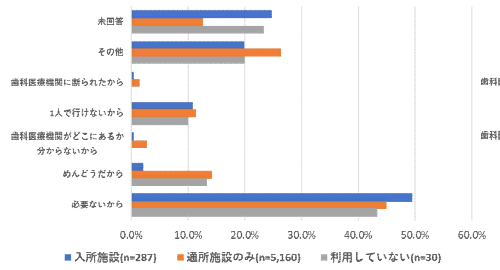
（図15-2）通っていない理由（年齢区分別）



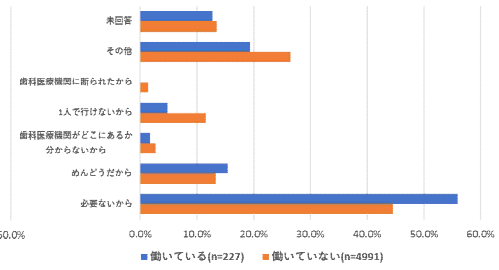
（図15-3）通っていない理由（障害の種別）



（図15-4）通っていない理由（所属事業所の種別）



（図15-5）通っていない理由（一般就労の有無）



3　歯科健診の受診状況

表12に歯科健診の受診状況を示す。歯科健診を受診しているのは60.9%、受診していないのは26.3%であった。（図16）

男女別では歯科健診の受診状況に傾向の差を認めなかった。（図16-1）

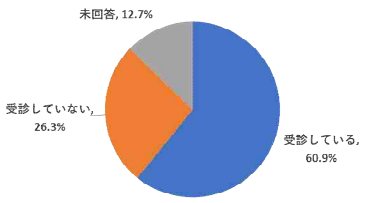
年齢区分別では、年代が若いほど歯科健診の受診率が高かった。（図16-2）

障害の種別では、精神障害者で歯科健診の受診率が低かった。（図16-3）

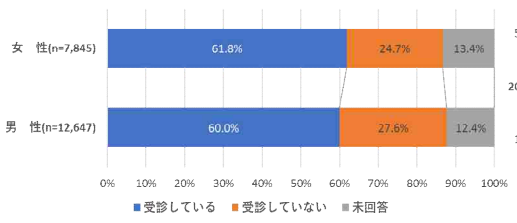
所属事業所の種別では、入院施設で受診率が高く、通所施設のみ、利用していないの順で低くなった。（図16-4）

一般就労の有無では、働いている者の方が働いていない者よりも健診の受診率が低かった。（図16-5）歯科診療所への通院と同じく、一般就労している場合、時間的理由により健診受診が難しいことが要因の一つと考えられる。

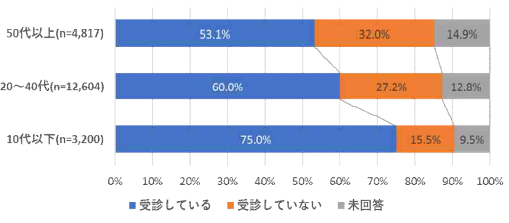
（図16）歯科健診の受診状況



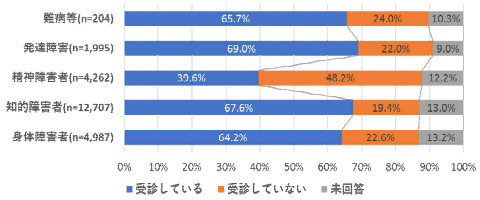
（図16-1）歯科健診の受診状況（男女別）



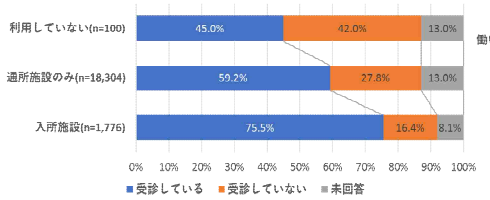
（図16-2）歯科健診の受診状況（年齢区分別）



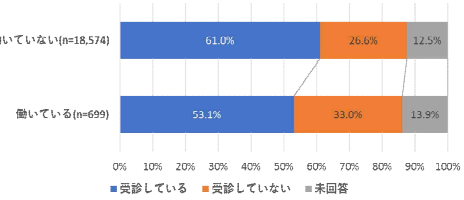
（図16-3）歯科健診の受診状況（障害の種別）



（図16-4）歯科健診の受診状況（所属事業所の種別）



（図16-5）歯科健診の受診状況（一般就労の有無）



（表12）歯科健診の受診状況

			受診している		受診していない		未回答	
総　数		(n=21,819)	13,290	(60.9%)	5,749	(26.3%)	2,780	(12.7%)
性　別	男　性	(n=12,647)	7,587	(60.0%)	3,494	(27.6%)	1,566	(12.4%)
	女　性	(n=7,845)	4,852	(61.8%)	1,941	(24.7%)	1,052	(13.4%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	2,401	(75.0%)	496	(15.5%)	303	(9.5%)
	20～40代	(n=12,604)	7,561	(60.0%)	3,432	(27.2%)	1,611	(12.8%)
	50代以上	(n=4,817)	2,559	(53.1%)	1,541	(32.0%)	717	(14.9%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	3,201	(64.2%)	1,129	(22.6%)	657	(13.2%)
	知的障害者	(n=12,707)	8,586	(67.6%)	2,467	(19.4%)	1,654	(13.0%)
	精神障害者	(n=4,262)	1,686	(39.6%)	2,055	(48.2%)	521	(12.2%)
	発達障害	(n=1,995)	1,377	(69.0%)	439	(22.0%)	179	(9.0%)
	難病等	(n=204)	134	(65.7%)	49	(24.0%)	21	(10.3%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	1,341	(75.5%)	291	(16.4%)	144	(8.1%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	10,841	(59.2%)	5,082	(27.8%)	2,381	(13.0%)
	利用していない	(n=100)	45	(45.0%)	42	(42.0%)	13	(13.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	371	(53.1%)	231	(33.0%)	97	(13.9%)
	働いていない	(n=18,574)	11,322	(61.0%)	4,932	(26.6%)	2,317	(12.5%)
歯科診療所への通院状況	歯科診療所などに通っている＊1	(n=14,782)	10,823	(73.2%)	2,156	(14.6%)	1,803	(12.2%)
	訪問歯科診療を受けている＊1	(n=2,322)	1,793	(77.2%)	310	(13.4%)	219	(9.4%)
	重複回答	(n=1,143)	865	(75.7%)	134	(11.7%)	144	(12.6%)
	通っていない	(n=5,858)	1,539	(26.3%)	3,417	(58.3%)	902	(15.4%)

＊1：重複回答1,143件を含む

●受診している場合

（ケ）受診している回数

表12-1に受診している回数を示す。年に1回以上が71.5%を占め、次いで月に1回以上が16.0%、数年に1回は7.5%であった。

（表12-1）受診している回数

	総　数(n=13,290)	
数年に1回	994	(7.5%)
年に1回以上	9,496	(71.5%)
月に1回以上	2,126	(16.0%)

（コ）なぜ受診しているのか

表13になぜ歯科健診を受診しているのかを示す。個人的に受診しているが41.3%と最も多く、次いで利用している施設で実施が39.3%であった。区市町村からの案内で歯科健診を受診しているのは6.3%であった。（図17）

男女別では、傾向に大きな違いを認めなかったものの、男性で女性より利用している施設で実施が多く、個人的に受診が少なかった。（図17-1）

年齢区分別では、20～40代で個人的に受診が多かった。10代以下ではそれ以外の年齢区分より区市町村からの案内が多かった。（図17-2）

障害の種別では、精神障害者で利用施設で実施が少なく、個人的に受診が多かった。身体障害者と知的障害者では区市町村からの紹介が少なかった。（図17-3）

所属事業所の種別では、入所施設で利用している施設で実施が多く、通所施設のみ、利用していないでは個人的に受診が多かった。（図17-4）

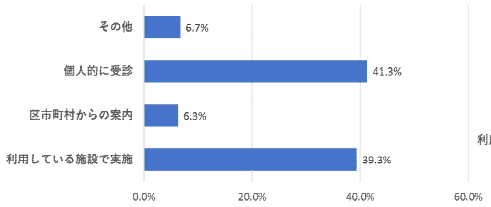
一般就労の有無では、働いていない者では個人的に受診と利用している施設で実施が同程度であったが、働いている者では個人的に受診が多かった。（図17-5）

（表13）なぜ受診しているのか

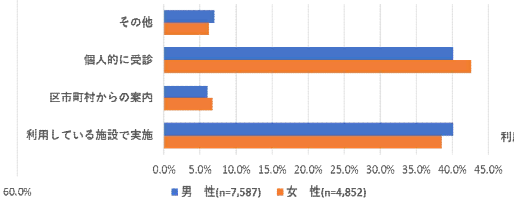
			利用している施設で実施		区市町村からの案内		個人的に		その他	
総　数		(n=13,290)	5,228	(39.3%)	840	(6.3%)	5,486	(41.3%)	896	(6.7%)
性　別	男　性	(n=7,587)	3,041	(40.1%)	459	(6.0%)	3,044	(40.1%)	531	(7.0%)
	女　性	(n=4,852)	1,869	(38.5%)	328	(6.8%)	2,068	(42.6%)	303	(6.2%)
年齢区分	10代以下	(n=2,401)	864	(36.0%)	284	(11.8%)	873	(36.4%)	291	(12.1%)
	20～40代	(n=7,561)	3,059	(40.5%)	315	(4.2%)	3,367	(44.5%)	405	(5.4%)
	50代以上	(n=2,559)	1,041	(40.7%)	188	(7.3%)	893	(34.9%)	138	(5.4%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,201)	1,381	(43.1%)	145	(4.5%)	1,280	(40.0%)	176	(5.5%)
	知的障害者	(n=8,586)	3,846	(44.8%)	293	(3.4%)	3,428	(39.9%)	510	(5.9%)
	精神障害者	(n=1,686)	350	(20.8%)	195	(11.6%)	860	(51.0%)	129	(7.7%)
	発達障害	(n=1,377)	467	(33.9%)	176	(12.8%)	520	(37.8%)	158	(11.5%)
	難病等	(n=134)	59	(44.0%)	12	(9.0%)	47	(35.1%)	7	(5.2%)
所属事業所	入所施設	(n=1,341)	997	(74.3%)	25	(1.9%)	99	(7.4%)	121	(9.0%)
	通所施設のみ	(n=10,841)	3,832	(35.3%)	749	(6.9%)	4,932	(45.5%)	685	(6.3%)
	利用していない	(n=45)	8	(17.8%)	2	(4.4%)	24	(53.3%)	4	(8.9%)
一般就労しているか	働いている	(n=371)	108	(29.1%)	34	(9.2%)	142	(38.3%)	23	(6.2%)
	働いていない	(n=11,322)	4,525	(40.0%)	702	(6.2%)	4,682	(41.4%)	757	(6.7%)
歯科診療所への通院状況	歯科診療所などに通っている＊2	(n=10,823)	3,624	(33.5%)	624	(5.8%)	5,216	(48.2%)	758	(7.0%)
	訪問歯科診療を受けている＊2	(n=1,793)	1,037	(57.8%)	68	(3.8%)	430	(24.0%)	75	(4.2%)
	重複回答	(n=865)	311	(36.0%)	65	(7.5%)	354	(40.9%)	51	(5.9%)
	通っていない	(n=1,539)	878	(57.1%)	213	(13.8%)	194	(12.6%)	114	(7.4%)

＊2：重複回答865件を含む

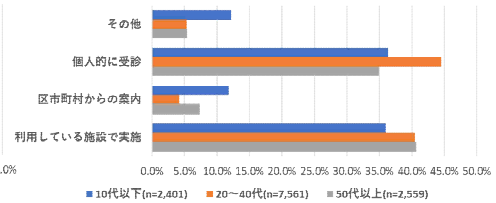
（図17）歯科健診をなぜ受けているのか



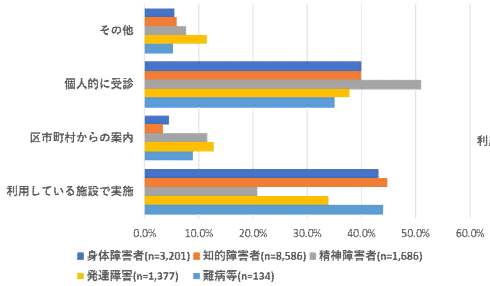
（図17-1）歯科健診をなぜ受けているのか（男女別）



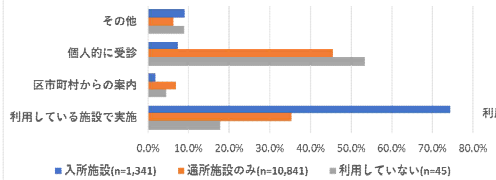
（図17-2）歯科健診をなぜ受けているのか（年齢区分別）



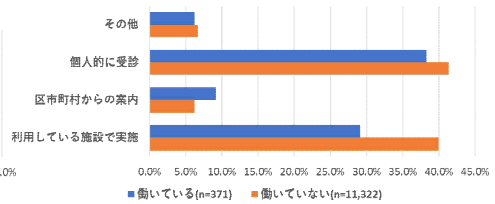
（図17-3）歯科健診をなぜ受けているのか（障害の種別）



（図17-4）歯科健診をなぜ受けているのか（所属事業所の種別）



（図17-5）歯科健診をなぜ受けているのか（一般就労の有無）



●受診していない場合

（サ）なぜ受診していないのか

表14に歯科健診を受けていない者がなぜ受診していないかを示す。必要ないからが43.1%で最も多かった。（図18）

男女別では、必要ないから、めんどうだからが、女性より男性が多く、1人で行けないから、施設で実施していないからは女性が多かった。（図18-1）

年代が上がるにつれ必要ないからが増え、めんどうだからは20～40代が多かった。年代が低いほど、その他の理由が多かった。（図18-2）

障害の種別では、精神障害者で必要ないから、めんどうだからが多く、1人で行けないからが少なかった。難病等では必要ないからが少なく、身体障害者、知的障害者、難病等ではめんどうだからが少なかった。（図18-3）

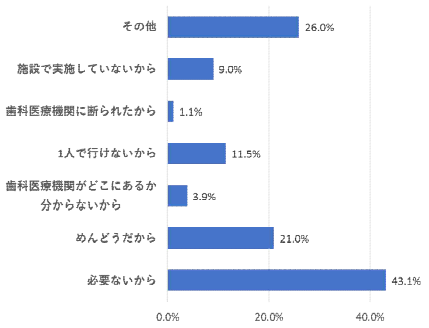
所属事業所の種別では、利用していない者で必要ないから、めんどうだからが多く、入所施設ではめんどうだから、歯科医療機関がどこにあるかわからないからが少なかった。（図18-4）必要ないからについては、歯科診療所へ通っていない理由と傾向を異にした。事業所での歯科健診の実施が影響している可能性が考えられる。

一般就労の有無では、働いている者は働いていない者に比べ、必要ないから、めんどうだからが多く、1人で行けないからが少なかった。（図18-5）　概ね歯科診療所へ通っていない理由と同様の傾向を示した。

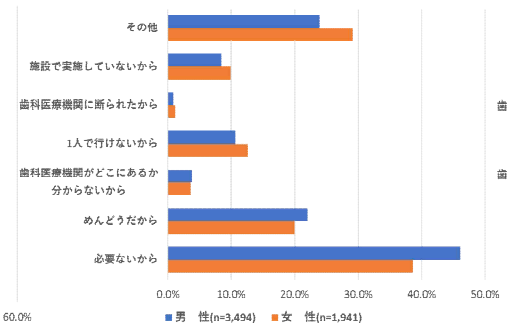
（表14）なぜ受診していないのか

			必要ないから		めんどうだから		歯科医療機関が		1人で行けないから		歯科医療機関に		施設で実施して		その他	
総　数		(n=5,749)	2,479	(43.1%)	1,207	(21.0%)	223	(3.9%)	659	(11.5%)	66	(1.1%)	520	(9.0%)	1,493	(26.0%)
性　別	男　性	(n=3,494)	1,612	(46.1%)	769	(22.0%)	134	(3.8%)	372	(10.6%)	31	(0.9%)	294	(8.4%)	835	(23.9%)
	女　性	(n=1,941)	749	(38.6%)	388	(20.0%)	70	(3.6%)	245	(12.6%)	23	(1.2%)	192	(9.9%)	566	(29.2%)
年齢区分	10代以下	(n=496)	170	(34.3%)	54	(10.9%)	22	(4.4%)	55	(11.1%)	7	(1.4%)	26	(5.2%)	208	(41.9%)
	20～40代	(n=3,432)	1,433	(41.8%)	784	(22.8%)	135	(3.9%)	422	(12.3%)	36	(1.0%)	322	(9.4%)	877	(25.6%)
	50代以上	(n=1,541)	776	(50.4%)	324	(21.0%)	46	(3.0%)	145	(9.4%)	12	(0.8%)	140	(9.1%)	322	(20.9%)
障害の種別	身体障害者	(n=1,129)	463	(41.0%)	156	(13.8%)	40	(3.5%)	169	(15.0%)	13	(1.2%)	113	(10.0%)	337	(29.8%)
	知的障害者	(n=2,467)	950	(38.5%)	279	(11.3%)	92	(3.7%)	483	(19.6%)	44	(1.8%)	323	(13.1%)	763	(30.9%)
	精神障害者	(n=2,055)	1,001	(48.7%)	684	(33.3%)	73	(3.6%)	67	(3.3%)	7	(0.3%)	116	(5.6%)	402	(19.6%)
	発達障害	(n=439)	165	(37.6%)	105	(23.9%)	29	(6.6%)	35	(8.0%)	5	(1.1%)	40	(9.1%)	121	(27.6%)
	難病等	(n=49)	15	(30.6%)	8	(16.3%)	2	(4.1%)	7	(14.3%)	0	(0.0%)	6	(12.2%)	19	(38.8%)
所属事業所	入所施設	(n=291)	130	(44.7%)	4	(1.4%)	1	(0.3%)	45	(15.5%)	1	(0.3%)	107	(36.8%)	74	(25.4%)
	通所施設のみ	(n=5,82)	2,196	(43.2%)	1,128	(22.2%)	202	(4.0%)	565	(11.1%)	55	(1.1%)	382	(7.5%)	1,317	(25.9%)
	利用していない	(n=42)	20	(47.6%)	16	(38.1%)	2	(4.8%)	5	(11.9%)	0	(0.0%)	3	(7.1%)	3	(7.1%)
一般就労しているか	働いている	(n=231)	125	(54.1%)	67	(29.0%)	9	(3.9%)	12	(5.2%)	0	(0.0%)	13	(5.6%)	43	(18.6%)
	働いていない	(n=4,932)	2,102	(42.6%)	1,025	(20.8%)	190	(3.9%)	582	(11.8%)	54	(1.1%)	451	(9.1%)	1294	(26.2%)

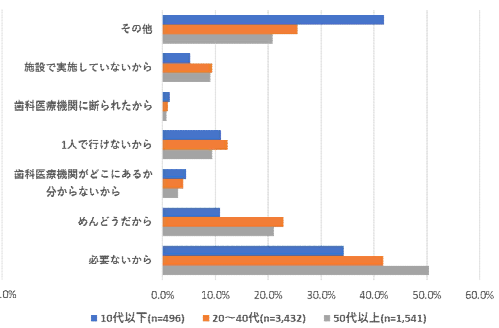
（図18）歯科健診を受けない理由



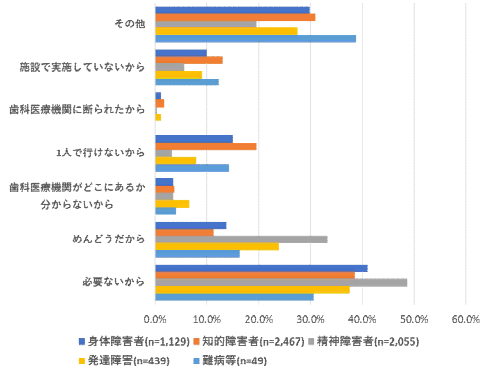
（図18-1）歯科健診を受けない理由（男女別）



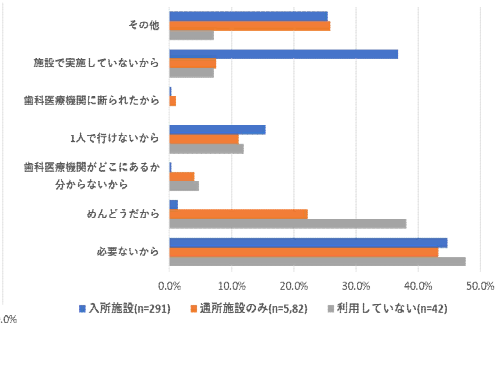
（図18-2）歯科健診を受けない理由（年齢区分別）



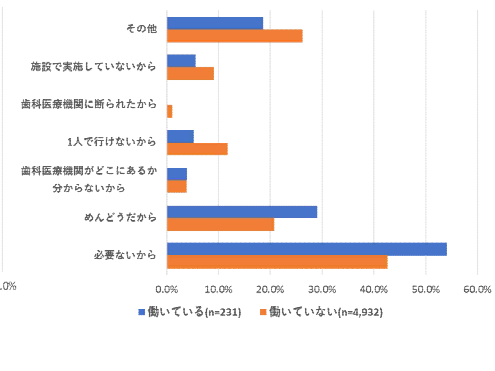
（図18-3）歯科健診を受けない理由（障害の種別）



（図18-4）歯科健診を受けない理由（所属事業所の種別）



（図18-5）歯科健診を受けない理由（一般就労の有無）



4　かかりつけの歯科医を決めているか

表15にかかりつけ歯科医を決めているかを示す。決めているが75.5%、決めていないが16.3%であった。（図19）

男女別では、男性の方がかかりつけ歯科医を決めている割合が低かった。（図19-1）

年齢区分別では、50代以上でかかりつけ歯科医を決めている割合が低かった。（図19-2）

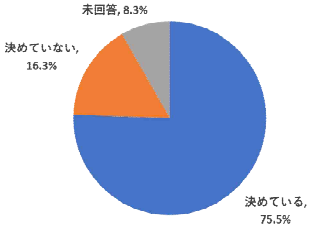
障害の種別では、知的障害者が78.7%かかりつけ歯科医を決めている割合が最も高く、最も低い精神障害者でも70.6%と7割以上を占めた。（図19-3）

所属事業所の種別では、通所施設でかかりつけ歯科医を決めている割合が高かった。利用していない者で決めていない割合が高かった。（図19-4）

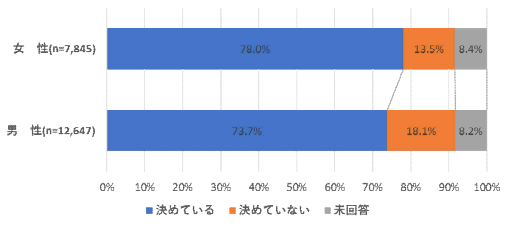
一般就労の有無では、働いているものの方がかかりつけ歯科医を決めている割合が低かった。（図19-5）

歯科診療所などへの通院の状況と比較すると、通院している者はかかりつけ歯科医を決めている者が9割程度であるが、訪問歯科診療のみでは74.8%とやや減少し、通っていない者では36.9%と低い結果であった。（図19-6）

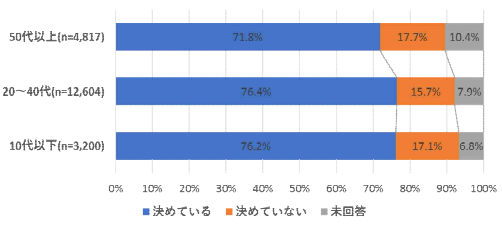
（図19）かかりつけ歯科医を決めているか



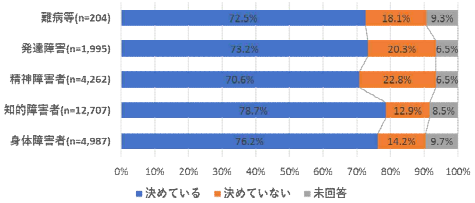
（図19-1）かかりつけ歯科医を決めているか（男女別）



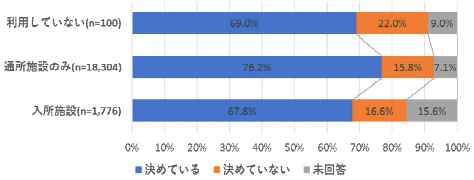
（図19-2）かかりつけ歯科医を決めているか（年齢区分別）



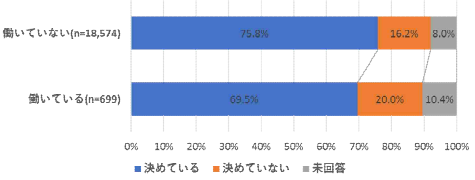
（図19-3）かかりつけ歯科医を決めているか（障害の種別）



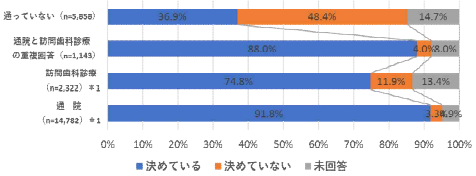
（図19-4）かかりつけ歯科医を決めているか
（所属事業所の種別）



（図19-5）かかりつけ歯科医を決めているか
（一般就労の有無）



（図19-6）かかりつけ歯科医を決めているか
（通院の状況別）



（表15）かかりつけ歯科医を決めているか

			決めている		決めていない		未回答	
総　数		(n=21,819)	16,466	(75.5%)	3,549	(16.3%)	1,804	(8.3%)
性　別	男　性	(n=12,647)	9,324	(73.7%)	2,283	(18.1%)	1,040	(8.2%)
	女　性	(n=7,845)	6,123	(78.0%)	1,060	(13.5%)	662	(8.4%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	2,437	(76.2%)	546	(17.1%)	217	(6.8%)
	20～40代	(n=12,604)	9,628	(76.4%)	1,983	(15.7%)	993	(7.9%)
	50代以上	(n=4,817)	3,461	(71.8%)	853	(17.7%)	503	(10.4%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	3,798	(76.2%)	707	(14.2%)	482	(9.7%)
	知的障害者	(n=12,707)	9,997	(78.7%)	1,636	(12.9%)	1,074	(8.5%)
	精神障害者	(n=4,262)	3,011	(70.6%)	972	(22.8%)	279	(6.5%)
	発達障害	(n=1,995)	1,461	(73.2%)	405	(20.3%)	129	(6.5%)
	難病等	(n=204)	148	(72.5%)	37	(18.1%)	19	(9.3%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	1,204	(67.8%)	295	(16.6%)	277	(15.6%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	13,939	(76.2%)	3,009	(15.8%)	1,356	(7.1%)
	利用していない	(n=100)	69	(69.0%)	22	(22.0%)	9	(9.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	486	(69.5%)	140	(20.0%)	73	(10.4%)
	働いていない	(n=18,574)	14,083	(75.8%)	3,003	(16.2%)	1,485	(8.0%)
歯科診療所への通院状況	歯科診療所などに通っている＊1	(n=14,782)	13,576	(91.8%)	484	(3.3%)	722	(4.9%)
	訪問歯科診療を受けている＊1	(n=2,322)	1,736	(74.8%)	276	(11.9%)	310	(13.4%)
	重複回答	(n=1,143)	1,006	(88.0%)	46	(4.0%)	91	(8.0%)
	通っていない	(n=5,858)	2,160	(36.9%)	2,835	(48.4%)	863	(14.7%)

＊1：重複回答865件を含む

表16にかかりつけの歯科医を決めているのに、受診・訪問歯科診療も健診も受けていない者を示す。かかりつけの歯科医を決めているのに、受診・訪問歯科診療も健診も受けていないのは7.5%であった。

男女別では、ほとんど差は認められなかった。（図20-1）

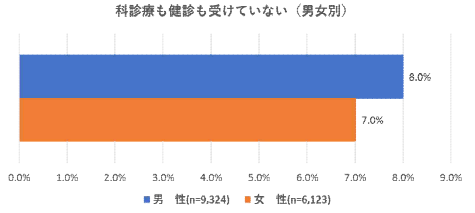
年齢区分別では、年代が上がるにつれ割合が高くなった。（図20-2）

障害の種別では、精神障害者でかかりつけの歯科医を決めているのに、受診・訪問歯科診療も健診も受けていない割合が高かった。（図20-3）

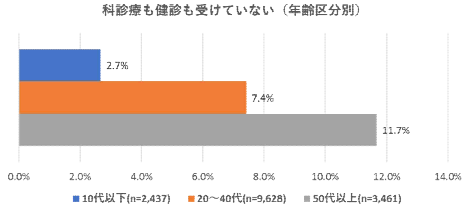
所属事業所の種別では、入院施設ではかかりつけの歯科医を決めているのに、受診・訪問歯科診療も健診も受けていない割合が低かった。（図20-4）

一般就労の有無では、働いている者の方が働いていない者よりもかかりつけの歯科医を決めているのに、受診・訪問歯科診療も健診も受けていない割合が高かった。（図20-5）

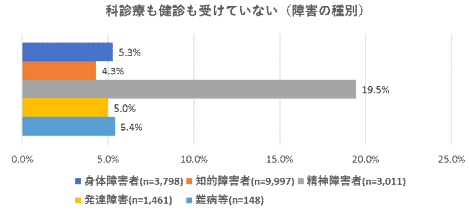
（図20-1）かかりつけ歯科医を決めているのに、通院・訪問歯科診療も健診も受けていない（男女別）



（図20-2）かかりつけ歯科医を決めているのに、通院・訪問歯科診療も健診も受けていない（年齢区分別）



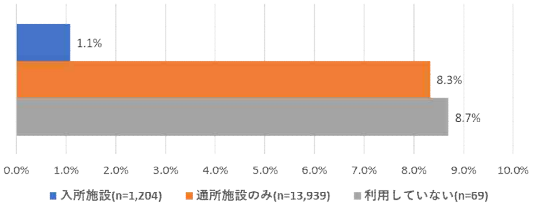
（図20-3）かかりつけ歯科医を決めているのに、通院・訪問歯科診療も健診も受けていない（障害の種別）



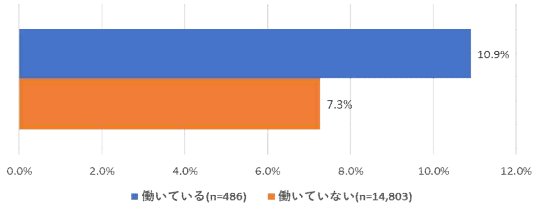
（表16）かかりつけ歯科医を決めているのに、通院・訪問歯科診療も健診も受けていない

総　数		(n=16,466)	1,234	(7.5%)
性　別	男　性	(n=9,324)	747	(8.0%)
	女　性	(n=6,123)	430	(7.0%)
年齢区分	10代以下	(n=2,437)	65	(2.7%)
	20～40代	(n=9,628)	714	(7.4%)
	50代以上	(n=3,461)	404	(11.7%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,798)	201	(5.3%)
	知的障害者	(n=9,997)	431	(4.3%)
	精神障害者	(n=3,011)	586	(19.5%)
	発達障害	(n=1,461)	73	(5.0%)
	難病等(	n=148)	8	(5.4%)
所属事業所	入所施設	(n=1,204)	13	(1.1%)
	通所施設のみ	(n=13,939)	1,161	(8.3%)
	利用していない	(n=69)	6	(8.7%)
一般就労しているか	働いている	(n=486)	53	(10.9%)
	働いていない	(n=14,803)	1,076	(7.3%)

（図20-4）かかりつけ歯科医を決めているのに、通院・訪問歯科診療も健診も受けていない（所属事業所の種別）



（図20-5）かかりつけ歯科医を決めているのに、通院・訪問歯科診療も健診も受けていない（一般就労の有無）



●かかりつけ歯科医を決めている場合

（シ）どの歯科医療機関に通っていますか（複数回答可）

表17にかかりつけ歯科医を決めている場合、どの歯科医療機関に通っているかを示す。

家の近くの歯科診療所が52.0%で最も多かった。（図21）

男女別では、男女別では傾向に差を認めなかった。（図21-1）

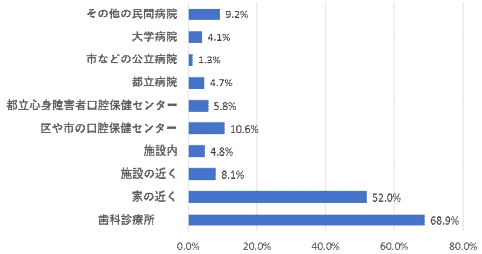
年齢区分別では、20～40代で家の近くの歯科診療所の割合が減少し、区や市の口腔保健センターと都立心身障害者口腔保健センターの割合が増加した。50代以上では施設の近くの診療所の割合が増加した。（図21-2）

障害の種別では、精神障害者と発達障害で家の近くの歯科診療所の割合が高く、身体障害者と知的障害者で区や市の口腔保健センター、都立心身障害者口腔保健センター、都立病院の割合が増加した。難病等では都立病院と大学病院の割合が高かった。（図21-3）障害種別によって専門医療機関の受診に違いがある状況が示唆された。

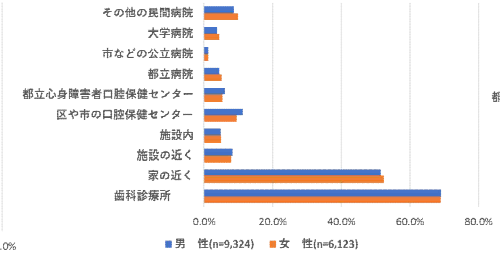
所属事業所の種別では、通所施設のみと利用していない者で家の近くの歯科診療所が多く、入所施設では施設内、施設の近くの歯科診療所が多かった。（図21-4）

一般就労の有無では、働いている者で家の近く、施設の近くの歯科診療所の割合が高かった。（図21-5）

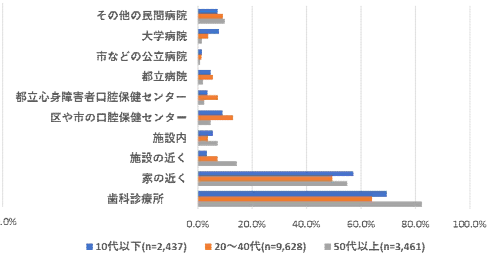
（図21）かかりつけ歯科医の歯科医療機関



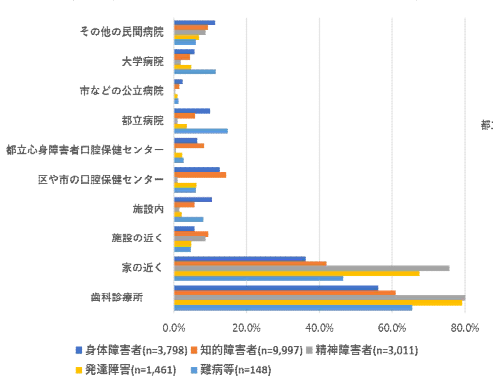
（図21-1）かかりつけ歯科医の歯科医療機関（男女別）



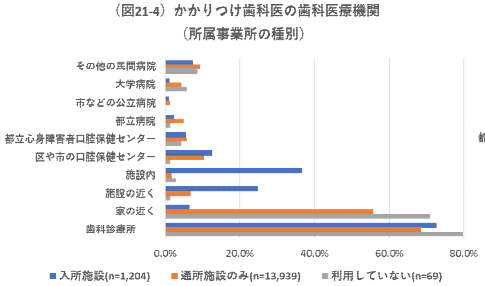
（図21-2）かかりつけ歯科医の歯科医療機関（年齢区分別）



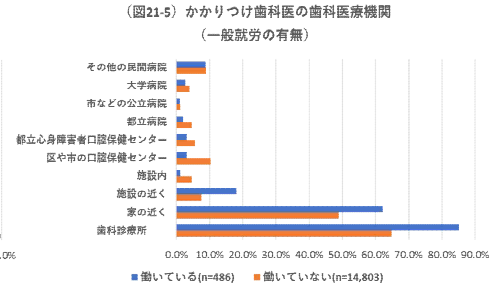
（図21-3）かかりつけ歯科医の歯科医療機関（障害の種別）



（図21-4）かかりつけ歯科医の歯科医療機関（所属事業所の種別）



（図21-5）かかりつけ歯科医の歯科医療機関（一般就労の有無）



（表17）どの歯科医療機関に通っていますか（複数回答可）

			歯科診療所		家の近く		施設の近く		施設内	
総　数		(n=16,466)	11,338	(68.9%)	8,559	(52.0%)	1,331	(8.1%)	790	(4.8%)
性　別	男　性	(n=9,324)	6,433	(69.0%)	4,801	(51.5%)	780	(8.4%)	452	(4.8%)
	女　性	(n=6,123)	4,222	(69.0%)	3,211	(52.4%)	485	(7.9%)	305	(5.0%)
年齢区分	10代以下	(n=2,437)	1,693	(69.5%)	1,395	(57.2%)	85	(3.5%)	137	(5.6%)
	20～40代	(n=9,628)	6,174	(64.1%)	4,759	(49.4%)	697	(7.2%)	365	(3.8%)
	50代以上	(n=3,461)	2,854	(82.5%)	1,904	(55.0%)	499	(14.4%)	254	(7.3%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,798)	2,136	(56.2%)	1,377	(36.3%)	220	(5.8%)	402	(10.6%)
	知的障害者	(n=9,997)	6,093	(60.9%)	4,187	(41.9%)	947	(9.5%)	572	(5.7%)
	精神障害者	(n=3,011)	2,711	(90.0%)	2,279	(75.7%)	263	(8.7%)	48	(1.6%)
	発達障害	(n=1,461)	1,158	(79.3%)	986	(67.5%)	71	(4.9%)	33	(2.3%)
	難病等	n=148)	97	(65.5%)	69	(46.6%)	7	(4.7%)	12	(8.1%)
所属事業所	入所施設	(n=1,204)	875	(72.7%)	79	(6.6%)	300	(24.9%)	441	(36.6%)
	通所施設のみ	(n=13,939)	9,549	(68.5%)	7,774	(55.8%)	958	(6.9%)	254	(1.8%)
	利用していない	(n=69)	55	(79.7%)	49	(71.0%)	1	(1.4%)	2	(2.9%)
一般就労しているか	働いている	(n=486)	414	(85.2%)	302	(62.1%)	88	(18.1%)	6	(1.2%)
	働いていない	(n=14,803)	9,589	(64.8%)	7,235	(48.9%)	1,113	(7.5%)	684	(4.6%)

			上記歯科診療所以外		区や市の口腔保健センター		都立口腔保健センター		都立病院		市などの公立病院		大学病院		その他の民間病院	
総　数		(n=16,466)	5,873	(35.7%)	1,740	(10.6%)	961	(5.8%)	771	(4.7%)	212	(1.3%)	667	(4.1%)	1,522	(9.2%)
性　別	男　性	(n=9,324)	3,308	(35.5%)	1,047	(11.2%)	562	(6.0%)	414	(4.4%)	121	(1.3%)	350	(3.8%)	814	(8.7%)
	女　性	(n=6,123)	2,187	(35.7%)	586	(9.6%)	333	(5.4%)	312	(5.1%)	76	(1.2%)	274	(4.5%)	606	(9.9%)
年齢区分	10代以下	(n=2,437)	837	(34.3%)	224	(9.2%)	89	(3.7%)	116	(4.8%)	40	(1.6%)	189	(7.8%)	179	(7.3%)
	20～40代	(n=9,628)	3,923	(40.7%)	1252	(13.0%)	722	(7.5%)	544	(5.7%)	130	(1.4%)	378	(3.9%)	897	(9.3%)
	50代以上	(n=3,461)	750	(21.7%)	163	(4.7%)	85	(2.5%)	68	(2.0%)	29	(0.8%)	57	(1.6%)	348	(10.1%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,798)	1,851	(48.7%)	480	(12.6%)	246	(6.5%)	382	(10.1%)	93	(2.4%)	217	(5.7%)	433	(11.4%)
	知的障害者	(n=9,997)	4,401	(44.0%)	1,442	(14.4%)	833	(8.3%)	590	(5.9%)	152	(1.5%)	447	(4.5%)	937	(9.4%)
	精神障害者	(n=3,011)	416	(13.8%)	33	(1.1%)	17	(0.6%)	33	(1.1%)	12	(0.4%)	57	(1.9%)	264	(8.8%)
	発達障害	(n=1,461)	366	(25.1%)	91	(6.2%)	34	(2.3%)	53	(3.6%)	15	(1.0%)	70	(4.8%)	103	(7.0%)
	難病等	n=148)	63	(42.6%)	9	(6.1%)	4	(2.7%)	22	(14.9%)	2	(1.4%)	17	(11.5%)	9	(6.1%)
所属事業所	入所施設	(n=1,204)	365	(30.3%)	152	(12.6%)	68	(5.6%)	29	(2.4%)	13	(1.1%)	14	(1.2%)	89	(7.4%)
	通所施設のみ	(n=13,939)	5,046	(36.2%)	1,450	(10.4%)	821	(5.9%)	686	(4.9%)	184	(1.3%)	600	(4.3%)	1,305	(9.4%)
	利用していない	(n=69)	15	(21.7%)	1	(1.4%)	3	(4.3%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)	4	(5.8%)	6	(8.7%)
一般就労しているか	働いている	(n=486)	101	(20.8%)	15	(3.1%)	15	(3.1%)	10	(2.1%)	5	(1.0%)	13	(2.7%)	43	(8.8%)
	働いていない	(n=14,803)	5,128	(34.6%)	1521	(10.3%)	838	(5.7%)	690	(4.7%)	183	(1.2%)	583	(3.9%)	1313	(8.9%)

（ス）なぜ、そこに決めているのか（複数回答可）

表18にかかりつけ歯科医を決めている場合、なぜ、そこに決めているのかを示す。スタッフが優しく丁寧が62.2%と最も多かった。医療機関については29.1%で、バリアフリーは9.1%であった。（図22）

男女別では、男女別では、傾向に大きな違いを認めなかった。（図22-1）

年齢区分別では、50代以上でスタッフについて、歯科医療機関についてが他の年齢区分より低く、家や施設から近いが高かった。（図22-2）年齢が高くなると、様々な事情から近所での通院を重要視していることがうかがわれた。

障害の種別では、通院している歯科医療機関と同じく、身体障害者と難病等でバリアフリーが多かった。（図22-3）

所属事業所の種別では、利用していない者で家族が通っている、家や施設から近いが多く、通所施設のみでスタッフが優しく丁寧、歯科医療機関の設備が整っているが多かった。（図22-4）

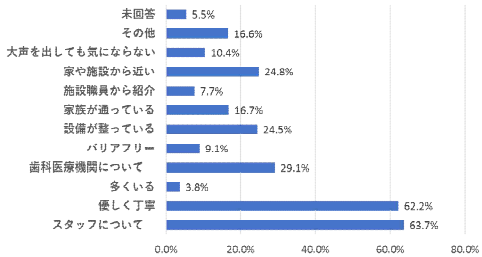
一般就労の有無では、働いていない者でスタッフについて、歯科医療機関についてが多く、働いている者は家族が通っている、施設職員から紹介、家や施設から近いが多かった。（図22-5）

（表18）なぜ、そこに決めているのか（複数回答可）

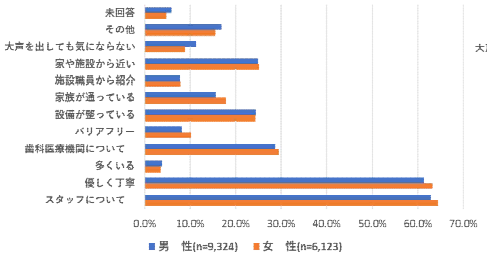
			スタッフについて		優しく丁寧		多くいる		歯科医療機関について		バリアフリー		設備が整っている	
総　数		(n=16,466)	10,481	(63.7%)	10,247	(62.2%)	620	(3.8%)	4,798	(29.1%)	1,492	(9.1%)	4,035	(24.5%)
性　別	男　性	(n=9,324)	5,857	(62.8%)	5,716	(61.3%)	365	(3.9%)	2,674	(28.7%)	762	(8.2%)	2,277	(24.4%)
	女　性	(n=6,123)	3,949	(64.5%)	3,870	(63.2%)	220	(3.6%)	1,806	(29.5%)	626	(10.2%)	1,491	(24.4%)
年齢区分	10代以下	(n=2,437)	1,541	(63.2%)	1,525	(62.6%)	75	(3.1%)	722	(29.6%)	233	(9.6%)	606	(24.9%)
	20～40代	(n=9,628)	6,359	(66.0%)	6,205	(64.4%)	419	(4.4%)	2,998	(31.1%)	950	(9.9%)	2529	(26.3%)
	50代以上	(n=3,461)	1,948	(56.3%)	1,891	(54.6%)	102	(2.9%)	777	(22.5%)	208	(6.0%)	651	(18.8%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,798)	2,332	(61.4%)	2,280	(60.0%)	157	(4.1%)	1,554	(40.9%)	959	(25.3%)	1,053	(27.7%)
	知的障害者	(n=9,997)	6,530	(65.3%)	6,385	(63.9%)	447	(4.5%)	3,022	(30.2%)	993	(9.9%)	2,558	(25.6%)
	精神障害者	(n=3,011)	1,852	(61.5%)	1,796	(59.6%)	97	(3.2%)	746	(24.8%)	55	(1.8%)	706	(23.4%)
	発達障害	(n=1,461)	927	(63.4%)	917	(62.8%)	26	(1.8%)	329	(22.5%)	57	(3.9%)	298	(20.4%)
	難病等	n=148)	84	(56.8%)	83	(56.1%)	7	(4.7%)	55	(37.2%)	24	(16.2%)	43	(29.1%)
所属事業所	入所施設	(n=1,204)	529	(43.9%)	495	(41.1%)	63	(5.2%)	263	(21.8%)	111	(9.2%)	235	(19.5%)
	通所施設のみ	(n=13,939)	9,097	(65.3%)	8,907	(63.9%)	521	(3.7%)	4,135	(29.7%)	1,252	(9.0%)	3,465	(24.9%)
	利用していない	(n=69)	37	(53.6%)	37	(53.6%)	1	(1.4%)	18	(26.1%)	3	(4.3%)	16	(23.2%)
一般就労しているか	働いている	(n=486)	275	(56.6%)	264	(54.3%)	14	(2.9%)	108	(22.2%)	19	(3.9%)	93	(19.1%)
	働いていない	(n=14,803)	8,973	(60.6%)	8,764	(59.2%)	554	(3.7%)	4156	(28.1%)	1312	(8.9%)	3490	(23.6%)

			家族が通っている		施設職員から紹介された		家や施設から近い		大声を出しても気にならない		その他		未回答	
総　数		(n=16,466)	2,753	(16.7%)	1,270	(7.7%)	4,090	(24.8%)	1,714	(10.4%)	2,731	(16.6%)	902	(5.5%)
性　別	男　性	(n=9,324)	1,460	(15.7%)	723	(7.8%)	2,321	(24.9%)	1,055	(11.3%)	1,574	(16.9%)	553	(5.9%)
	女　性	(n=6,123)	1,095	(17.9%)	481	(7.9%)	1,540	(25.2%)	545	(8.9%)	955	(15.6%)	295	(4.8%)
年齢区分	10代以下	(n=2,437)	512	(21.0%)	225	(9.2%)	635	(26.1%)	353	(14.5%)	475	(19.5%)	81	(3.3%)
	20～40代	(n=9,628)	1694	(17.6%)	591	(6.1%)	2283	(23.7%)	1149	(11.9%)	1603	(16.6%)	499	(5.2%)
	50代以上	(n=3,461)	354	(10.2%)	401	(11.6%)	964	(27.9%)	94	(2.7%)	465	(13.4%)	274	(7.9%)
障害の種別	身体障害者	(n=3,798)	397	(10.5%)	344	(9.1%)	732	(19.3%)	421	(11.1%)	770	(20.3%)	257	(6.8%)
	知的障害者	(n=9,997)	1,687	(16.9%)	907	(9.1%)	2,144	(21.4%)	1,424	(14.2%)	1,753	(17.5%)	544	(5.4%)
	精神障害者	(n=3,011)	427	(14.2%)	166	(5.5%)	1,028	(34.1%)	40	(1.3%)	366	(12.2%)	152	(5.0%)
	発達障害	(n=1,461)	325	(22.2%)	90	(6.2%)	462	(31.6%)	174	(11.9%)	276	(18.9%)	50	(3.4%)
	難病等	n=148)	23	(15.5%)	12	(8.1%)	33	(22.3%)	13	(8.8%)	34	(23.0%)	6	(4.1%)
所属事業所	入所施設	(n=1,204)	22	(1.8%)	242	(20.1%)	250	(20.8%)	134	(11.1%)	221	(18.4%)	150	(12.5%)
	通所施設のみ	(n=13,939)	2,487	(17.8%)	941	(6.8%)	3,548	(25.5%)	1,412	(10.1%)	2,269	(16.3%)	663	(4.8%)
	利用していない	(n=69)	19	(27.5%)	3	(4.3%)	24	(34.8%)	4	(5.8%)	6	(8.7%)	4	(5.8%)
一般就労しているか	働いている	(n=486)	82	(16.9%)	52	(10.7%)	133	(27.4%)	21	(4.3%)	64	(13.2%)	34	(7.0%)
	働いていない	(n=14,803)	2315	(15.6%)	1098	(7.4%)	3535	(23.9%)	1474	(10.0%)	2334	(15.8%)	753	(5.1%)

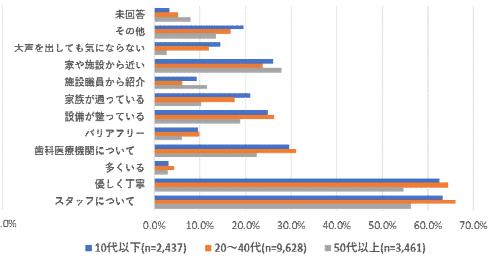
（図22）かかりつけ歯科医に決めた理由



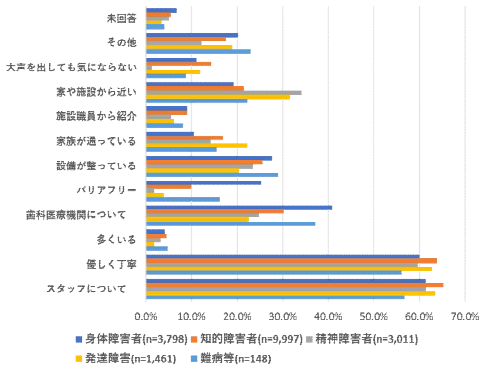
（図22-1）かかりつけ歯科医に決めた理由（男女別）



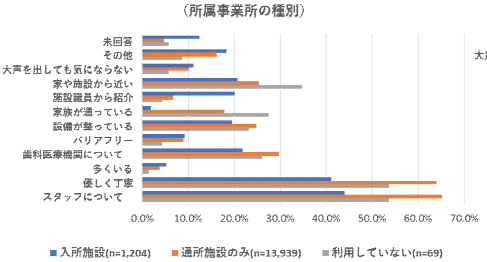
（図22-2）かかりつけ歯科医に決めた理由（年齢区分別）



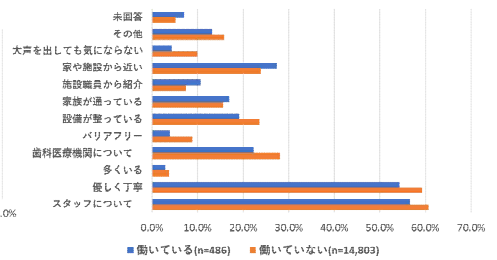
（図22-3）かかりつけ歯科医に決めた理由（障害の種別）



（図22-4）かかりつけ歯科医に決めた理由（所属事業所の種別）



（図22-5）かかりつけ歯科医に決めた理由（一般就労の有無）



●かかりつけ歯科医を決めていない場合

（セ）なぜ、決めていないのか（複数回答可）

表19にかかりつけ歯科医をなぜ、決めていないのかを示す。決める必要がないが44.6%と半数近くを占め、最も多かった。（図23）

男女別では、男性で決める必要ないが多く、女性では1人で行くことができないが多かった。（図23-1）

年齢区分別では、決める必要ないは年代が上がるにつれ多くなった。（図23-2）

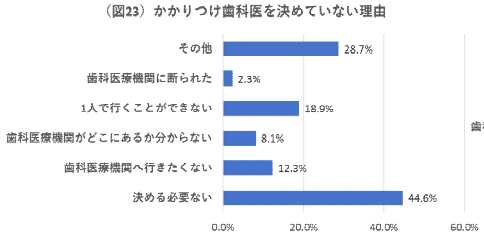
障害の種別では、精神障害者で決める必要ないが多く、1人で行くことができないが少なかった。発達障害でも1人で行くことができないが少なかった。（図23-3）

所属事業所の種別では、決める必要ないと1人で行くことができないが、入所施設、通所施設のみ、利用していないの順に多かった。（図23-4）

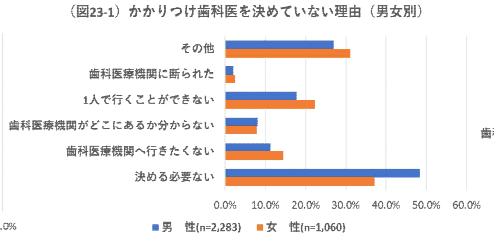
一般就労の有無では、働いている者は決める必要ないが多く、働いていない者では1人で行くことができないが多かった。（図23-5）

自由意見は概ね通院していない理由と同じであったが、それに加えてまだ決めていないという意見が多かった。

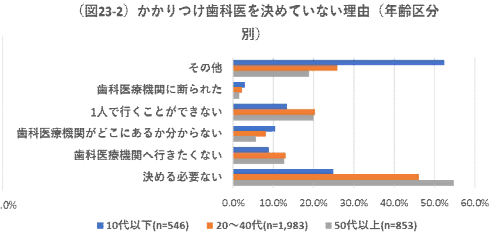
（図23）かかりつけ歯科医を決めていない理由



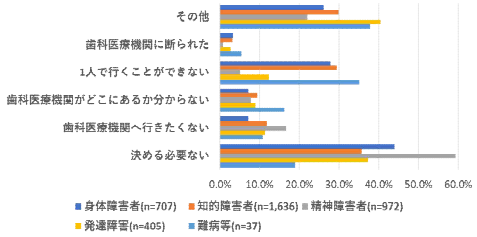
（図23-1）かかりつけ歯科医を決めていない理由（男女別）



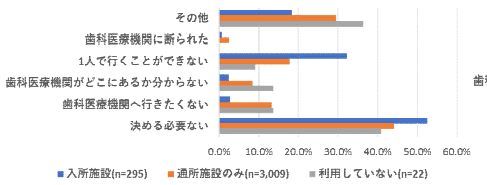
（図23-2）かかりつけ歯科医を決めていない理由（年齢区分別）



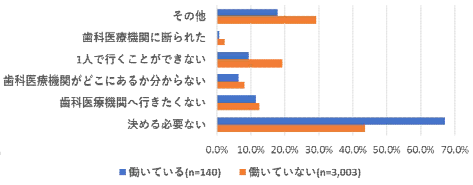
（図23-3）かかりつけ歯科医を決めていない理由
（障害の種別）



（図23-4）かかりつけ歯科医を決めていない理由
（所属事業所の種別）



（図23-5）かかりつけ歯科医を決めていない理由
（一般就労の有無）



（表19）なぜ、決めていないのか（複数回答可）

			決める必要ない		歯科医療機関へ行きたくない		歯科医療機関がどこにあるか分からない		1人で行くことができない		歯科医療機関に断られた		その他	
総　数		(n=3,549)	1,584	(44.6%)	436	(12.3%)	289	(8.1%)	671	(18.9%)	83	(2.3%)	1,017	(28.7%)
性　別	男　性	(n=2,283)	1,105	(48.4%)	258	(11.3%)	184	(8.1%)	405	(17.7%)	47	(2.1%)	616	(27.0%)
	女　性	(n=1,060)	394	(37.2%)	153	(14.4%)	83	(7.8%)	237	(22.4%)	26	(2.5%)	330	(31.1%)
年齢区分	10代以下	(n=546)	136	(24.9%)	48	(8.8%)	57	(10.4%)	73	(13.4%)	16	(2.9%)	286	(52.4%)
	20～40代	(n=1,983)	916	(46.2%)	258	(13.0%)	162	(8.2%)	403	(20.3%)	45	(2.3%)	514	(25.9%)
	50代以上	(n=853)	468	(54.9%)	108	(12.7%)	48	(5.6%)	170	(19.9%)	13	(1.5%)	161	(18.9%)
障害の種別	身体障害者	(n=707)	311	(44.0%)	50	(7.1%)	50	(7.1%)	197	(27.9%)	23	(3.3%)	185	(26.2%)
	知的障害者	(n=1,636)	583	(35.6%)	192	(11.7%)	153	(9.4%)	481	(29.4%)	51	(3.1%)	488	(29.8%)
	精神障害者	(n=972)	577	(59.4%)	162	(16.7%)	76	(7.8%)	49	(5.0%)	7	(0.7%)	214	(22.0%)
	発達障害	(n=405)	151	(37.3%)	46	(11.4%)	36	(8.9%)	50	(12.3%)	11	(2.7%)	164	(40.5%)
	難病等	(n=37)	7	(18.9%)	4	(10.8%)	6	(16.2%)	13	(35.1%)	2	(5.4%)	14	(37.8%)
所属事業所	入所施設	(n=295)	155	(52.5%)	8	(2.7%)	7	(2.4%)	95	(32.2%)	2	(0.7%)	54	(18.3%)
	通所施設のみ	(n=3,009)	1,328	(44.1%)	397	(13.2%)	254	(8.4%)	537	(17.8%)	75	(2.5%)	889	(29.5%)
	利用していない	(n=22)	9	(40.9%)	3	(13.6%)	3	(13.6%)	2	(9.1%)	0	(0.0%)	8	(36.4%)
一般就労しているか	働いている	(n=140)	94	(67.1%)	16	(11.4%)	9	(6.4%)	13	(9.3%)	1	(0.7%)	25	(17.9%)
	働いていない	(n=3,003)	1,308	(43.6%)	375	(12.5%)	245	(8.2%)	578	(19.2%)	71	(2.4%)	878	(29.2%)

5　歯や口のことで困ったことがある場合の相談相手（複数回答可）

表20に歯や口のことで困ったことがある場合の相談相手を示す。歯科医療機関の歯科医師が58.6%で最も置く、次いで家族27.6%、施設職員17.5%であった。（図24）

男女別では、傾向に大きな違いを認めなかった。（図24-1）

年齢区分別では、歯科医療機関の歯科医師は年代が上がるにつれ減少し、20～40代で家族が多く、50代以上では施設職員が多かった。（図24-2）

障害の種別では、概ね同様の傾向ではあったが、身体障害者と知的障害者で歯科医療機関の歯科医師が少なく、施設職員が多かった。（図24-3）

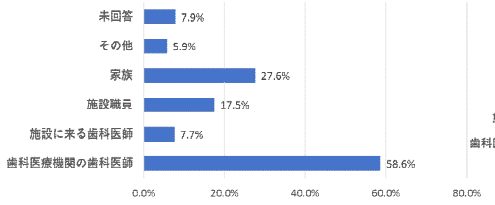
所属事業所の種別では、通所施設のみと利用していないで歯科医療機関の歯科医師が多く、入所施設では施設職員と施設に来る歯科医師が多かった。（図24-4）

一般就労の有無では、働いている者は施設職員が、働いていない者は歯科医療機関の歯科医師が多かった。（図24-5）

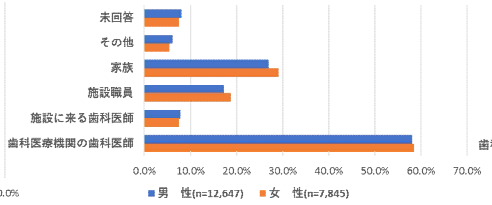
（表20）歯や口のことで困ったことがある場合の相談相手（複数回答可）

			歯科医療機関の歯科医師		施設に来る歯科医師		施設職員		家族		その他		未回答	
総　数(n=21,819)		(n=21,819)	12,790	(58.6%)	1,677	(7.7%)	3,824	(17.5%)	6,026	(27.6%)	1,282	(5.9%)	1,720	(7.9%)
性　別	男　性	(n=12,647)	7,349	(58.1%)	993	(7.9%)	2,183	(17.3%)	3,405	(26.9%)	782	(6.2%)	1,015	(8.0%)
	女　性	(n=7,845)	4,589	(58.5%)	591	(7.5%)	1,468	(18.7%)	2,286	(29.1%)	430	(5.5%)	589	(7.5%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	2,342	(73.2%)	293	(9.2%)	379	(11.8%)	643	(20.1%)	219	(6.8%)	122	(3.8%)
	20～40代	(n=12,604)	7,385	(58.6%)	813	(6.5%)	1,928	(15.3%)	4,128	(32.8%)	639	(5.1%)	970	(7.7%)
	50代以上	(n=4,817)	2,252	(46.8%)	501	(10.4%)	1,390	(28.9%)	937	(19.5%)	359	(7.5%)	530	(11.0%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	2,863	(57.4%)	590	(11.8%)	1,017	(20.4%)	1,042	(20.9%)	349	(7.0%)	401	(8.0%)
	知的障害者	(n=12,707)	7,030	(55.3%)	1,141	(9.0%)	2,718	(21.4%)	3,777	(29.7%)	665	(5.2%)	968	(7.6%)
	精神障害者	(n=4,262)	2,624	(61.6%)	98	(2.3%)	515	(12.1%)	1,171	(27.5%)	309	(7.3%)	383	(9.0%)
	発達障害	(n=1,995)	1,373	(68.8%)	154	(7.7%)	260	(13.0%)	514	(25.8%)	114	(5.7%)	103	(5.2%)
	難病等	(n=204)	135	(66.2%)	15	(7.4%)	28	(13.7%)	51	(25.0%)	18	(8.8%)	12	(5.9%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	344	(19.4%)	740	(41.7%)	1,168	(65.8%)	258	(14.5%)	96	(5.4%)	78	(4.4%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	11,382	(62.2%)	811	(4.4%)	2,442	(13.3%)	5,323	(29.1%)	1,108	(6.1%)	1,452	(7.9%)
	利用していない	(n=100)	58	(58.0%)	2	(2.0%)	6	(6.0%)	39	(39.0%)	4	(4.0%)	13	(13.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	356	(50.9%)	27	(3.9%)	154	(22.0%)	192	(27.5%)	37	(5.3%)	75	(10.7%)
	働いていない	(n=18,574)	10,907	(58.7%)	1,455	(7.8%)	3,256	(17.5%)	5,148	(27.7%)	1,120	(6.0%)	1421	(7.7%)

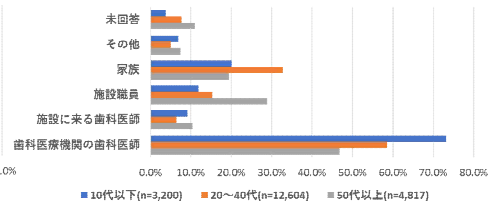
（図24）困ったときの相談先



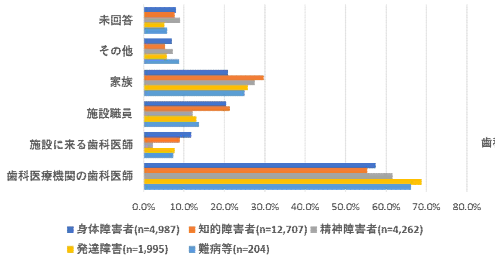
（図24-1）困ったときの相談先（男女別）



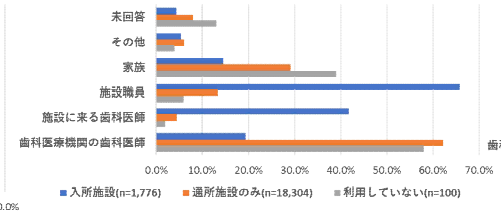
（図24-2）困ったときの相談先（年齢区分別）



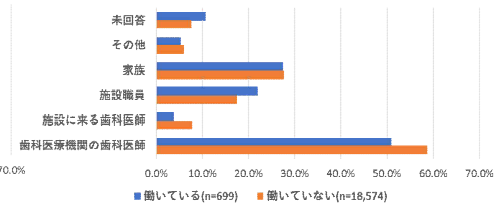
（図24-3）困ったときの相談先（障害の種別）



（図24-4）困ったときの相談先（所属事業所の種別）



（図24-5）困ったときの相談先（一般就労の有無）



6　歯科医療機関に通う上で、大変だと感じること（複数回答可）

表21に歯科医療機関に通う上で、大変だと感じることを示す。1人で行くことができないが33.3%で最も多かった。バリアフリーでないは1.9%であった。（図25）

男女別では、傾向に大きな違いを認めなかった。（図25-1）

年齢区分別では、40代以下で1人で行くことができない、遠くて時間がかかるが多く、20代以上で付き添いの手配が必要が多かった。（図25-2）

障害の種別では、知的障害者で1人で行くことができないが多かった。精神障害者ではすべての項目で他の障害と比して少なかった。身体障害者と難病等はすべての項目で多かった。（図25-3）

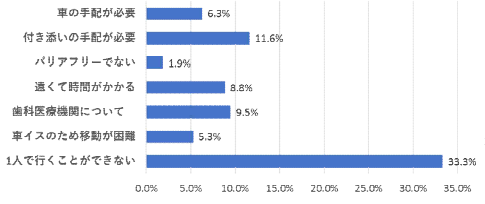
所属事業所の種別では、1人で行くことができないは入所施設、通所施設のみ、利用していないの順に多かった。入所施設では付き添い、車の手配が必要が多かった。（図25-4）

一般就労の有無では、すべての項目で働いていない者が多かった。（図25-5）

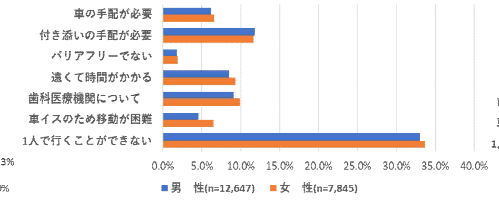
（表21）歯科医療機関に通う上で、大変だと感じること（複数回答可）

			1人で行くことができない		車イスのために移動が困難		歯科医療機関について		遠くて時間がかかる		バリアフリーでない		付き添いの手配が必要		車の手配が必要		その他		未回答	
総　数		(n=21,819)	7,264	(33.3%)	1,154	(5.3%)	2,066	(9.5%)	1,928	(8.8%)	406	(1.9%)	2,532	(11.6%)	1,369	(6.3%)	2,817	(12.9%)	10,290	(47.2%)
性　別	男　性	(n=12,647)	4,180	(33.1%)	576	(4.6%)	1,149	(9.1%)	1,076	(8.5%)	228	(1.8%)	1,493	(11.8%)	781	(6.2%)	1,634	(12.9%)	5,998	(47.4%)
	女　性	(n=7,845)	2,644	(33.7%)	511	(6.5%)	779	(9.9%)	732	(9.3%)	151	(1.9%)	914	(11.7%)	518	(6.6%)	1,005	(12.8%)	3,667	(46.7%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	1,114	(34.8%)	187	(5.8%)	400	(12.5%)	350	(10.9%)	76	(2.4%)	308	(9.6%)	171	(5.3%)	459	(14.3%)	1,388	(43.4%)
	20～40代	(n=12,604)	4,662	(37.0%)	632	(5.0%)	1,230	(9.8%)	1,201	(9.5%)	193	(1.5%)	1514	(12.0%)	818	(6.5%)	1650	(13.1%)	5601	(44.4%)
	50代以上	(n=4,817)	1,084	(22.5%)	270	(5.6%)	313	(6.5%)	272	(5.6%)	112	(2.3%)	601	(12.5%)	316	(6.6%)	542	(11.3%)	2752	(57.1%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	1,788	(35.9%)	1,005	(20.2%)	743	(14.9%)	582	(11.7%)	278	(5.6%)	812	(16.3%)	623	(12.5%)	569	(11.4%)	1,910	(38.3%)
	知的障害者	(n=12,707)	5,752	(45.3%)	638	(5.0%)	1,328	(10.5%)	1,277	(10.0%)	211	(1.7%)	1,930	(15.2%)	997	(7.8%)	1,449	(11.4%)	4,861	(38.3%)
	精神障害者	(n=4,262)	280	(6.6%)	33	(0.8%)	236	(5.5%)	261	(6.1%)	22	(0.5%)	138	(3.2%)	69	(1.6%)	720	(16.9%)	2,972	(69.7%)
	発達障害	(n=1,995)	589	(29.5%)	30	(1.5%)	151	(7.6%)	152	(7.6%)	15	(0.8%)	181	(9.1%)	93	(4.7%)	347	(17.4%)	985	(49.4%)
	難病等	(n=204)	65	(31.9%)	30	(14.7%)	40	(19.6%)	31	(15.2%)	15	(7.4%)	24	(11.8%)	18	(8.8%)	33	(16.2%)	84	(41.2%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	979	(55.1%)	170	(9.6%)	61	(3.4%)	48	(2.7%)	39	(2.2%)	609	(34.3%)	333	(18.8%)	82	(4.6%)	558	(31.4%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	5,760	(31.5%)	884	(4.8%)	1,830	(10.0%)	1,724	(9.4%)	336	(1.8%)	1,751	(9.6%)	939	(5.1%)	2,523	(13.8%)	8,850	(48.4%)
	利用していない	(n=100)	21	(21.0%)	3	(3.0%)	8	(8.0%)	6	(6.0%)	2	(2.0%)	10	(10.0%)	1	(1.0%)	17	(17.0%)	56	(56.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	109	(15.6%)	6	(0.9%)	41	(5.9%)	40	(5.7%)	7	(1.0%)	39	(5.6%)	20	(2.9%)	112	(16.0%)	440	(62.9%)
	働いていない	(n=18,574)	6,314	(34.0%)	1,027	(5.5%)	1,802	(9.7%)	1,682	(9.1%)	362	(1.9%)	2,239	(12.1%)	1,200	(6.5%)	2,422	(13.0%)	8,582	(46.2%)

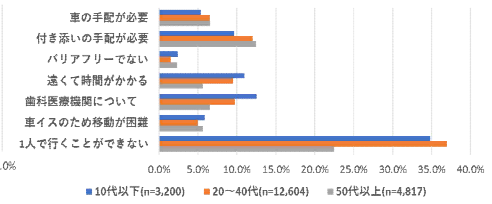
（図25）通院で大変だと感じること



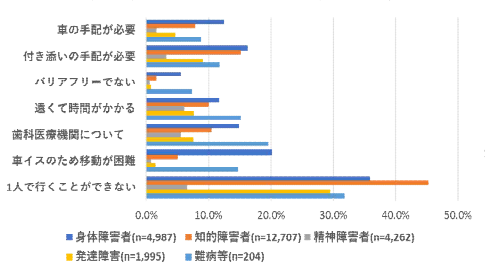
（図25-1）通院で大変だと感じること（男女別）



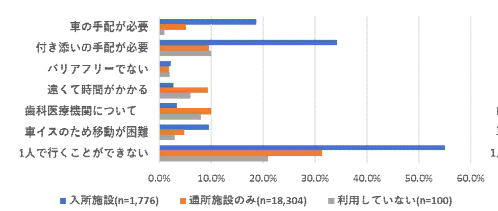
（図25-2）通院で大変だと感じること（年齢区分別）



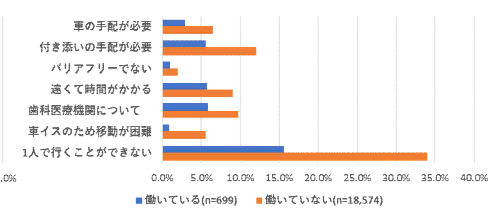
（図25-3）通院で大変だと感じること（障害の種別）



（図25-4）通院で大変だと感じること（所属事業所の種別）



（図25-5）通院で大変だと感じること（一般就労の有無）



7　歯科治療を受ける上で、困っていること（複数回答可）

表22に歯科治療を受ける上で、困っていることを示す。最も多かった回答が、治療が怖いで20.1%、歯科医療機関で嫌な気分になったことがあるは2.8%と最も少なかった。（図26）

男女別では、傾向に大きな違いを認めなかった。（図26-1）

年齢区分別では、じっと座っていられない、口を開けることが困難、治療が怖いで10代以下が多かった。（図26-2）

障害の種別では、発達障害で治療が怖い、じっと座っていられないが多く、精神障害者では歯科医療機関で嫌な気分になったことがあるとその他が多かった。（図26-3）その他の意見としては痛い、口が開けられない、暴れる、大きな声を出す、大泣きする、嫌がる、お金がかかる、うがいができない、緊張する、コミュニケーションが取りづらいなどが挙げられた。これに加え、1回で終わらない、待ち時間が長いという意見が精神障害者にみられた。

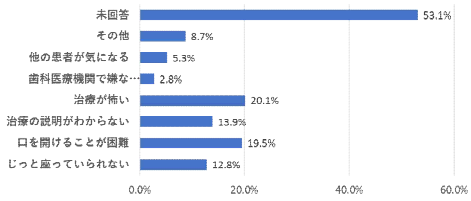
所属事業所の種別では、入所施設でほとんどの項目が多かった。（図26-4）

一般就労の有無では、働いていない者でほとんどの項目が多かった。（図26-5）

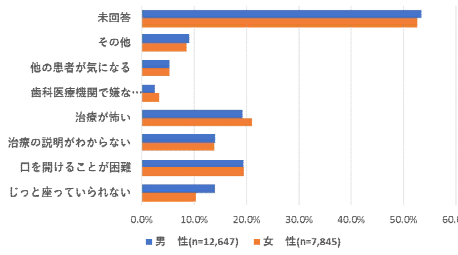
（表22）歯科治療を受ける上で、困っていること（複数回答可）

			じっと座っていられない		口を開けることが困難		治療の説明がわからない		治療が怖い		歯科医療機関で嫌な気分に		他の患者が気になる		その他		未回答	
総　数		(n=21,819)	2,783	(12.8%)	4,256	(19.5%)	3,033	(13.9%)	4,388	(20.1%)	607	(2.8%)	1,148	(5.3%)	1,904	(8.7%)	11,589	(53.1%)
性　別	男　性	(n=12,647)	1,766	(14.0%)	2,458	(19.4%)	1,772	(14.0%)	2,435	(19.3%)	309	(2.4%)	674	(5.3%)	1,142	(9.0%)	6,754	(53.4%)
	女　性	(n=7,845)	809	(10.3%)	1,529	(19.5%)	1,088	(13.9%)	1,654	(21.1%)	258	(3.3%)	415	(5.3%)	669	(8.5%)	4,127	(52.6%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	1,073	(33.5%)	1,118	(34.9%)	535	(16.7%)	1,042	(32.6%)	85	(2.7%)	206	(6.4%)	264	(8.3%)	1,134	(35.4%)
	20～40代	(n=12,604)	1,258	(10.0%)	2,313	(18.4%)	1,786	(14.2%)	2,460	(19.5%)	361	(2.9%)	726	(5.8%)	1,185	(9.4%)	6,713	(53.3%)
	50代以上	(n=4,817)	255	(5.3%)	572	(11.9%)	560	(11.6%)	613	(12.7%)	126	(2.6%)	165	(3.4%)	374	(7.8%)	3,112	(64.6%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	631	(12.7%)	1,260	(25.3%)	609	(12.2%)	701	(14.1%)	116	(2.3%)	178	(3.6%)	430	(8.6%)	2,680	(53.7%)
	知的障害者	(n=12,707)	1,823	(14.3%)	2,828	(22.3%)	2,395	(18.8%)	2,619	(20.6%)	271	(2.1%)	819	(6.4%)	1,045	(8.2%)	6,474	(50.9%)
	精神障害者	(n=4,262)	142	(3.3%)	396	(9.3%)	229	(5.4%)	752	(17.6%)	205	(4.8%)	168	(3.9%)	491	(11.5%)	2,543	(59.7%)
	発達障害	(n=1,995)	560	(28.1%)	553	(27.7%)	296	(14.8%)	667	(33.4%)	71	(3.6%)	148	(7.4%)	188	(9.4%)	777	(38.9%)
	難病等	(n=204)	39	(19.1%)	61	(29.9%)	26	(12.7%)	38	(18.6%)	7	(3.4%)	13	(6.4%)	18	(8.8%)	89	(43.6%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	463	(26.1%)	553	(31.1%)	622	(35.0%)	429	(24.2%)	21	(1.2%)	198	(11.1%)	78	(4.4%)	683	(38.5%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	2,063	(11.3%)	3,343	(18.3%)	2,208	(12.1%)	3,610	(19.7%)	539	(2.9%)	861	(4.7%)	1,705	(9.3%)	9,961	(54.4%)
	利用していない	(n=100)	9	(9.0%)	13	(13.0%)	6	(6.0%)	19	(19.0%)	4	(4.0%)	9	(9.0%)	4	(4.0%)	56	(56.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	46	(6.6%)	88	(12.6%)	50	(7.2%)	97	(13.9%)	19	(2.7%)	27	(3.9%)	68	(9.7%)	431	(61.7%)
	働いていない	(n=18,574)	2,358	(12.7%)	3,684	(19.8%)	2,645	(14.2%)	3,754	(20.2%)	519	(2.8%)	989	(5.3%)	1,650	(8.9%)	9,803	(52.8%)

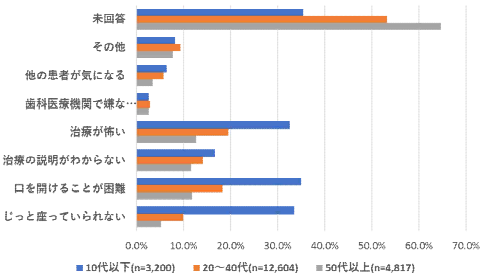
（図26）歯科治療を受ける上で困っていること



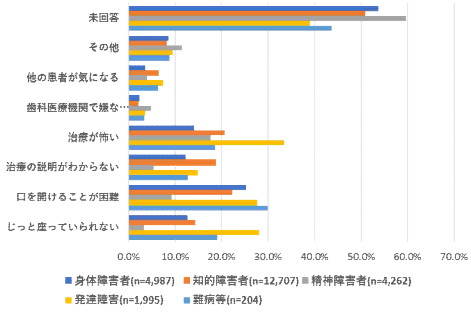
（図26-1）歯科治療を受ける上で困っていること（男女別）



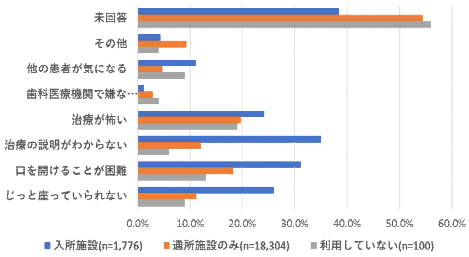
（図26-2）歯科治療を受ける上で困っていること（年齢区分別）



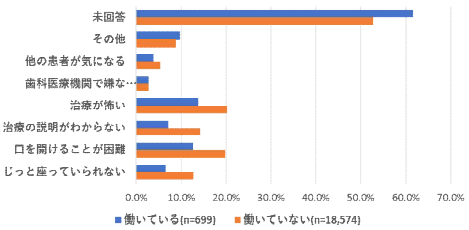
（図26-3）歯科治療を受ける上で困っていること（障害の種別）



（図26-4）歯科治療を受ける上で困っていること（所属事業所の種別）



（図26-5）歯科治療を受ける上で困っていること（一般就労の有無）



8　歯科医療機関に望むこと（複数回答可）

表23に歯科医療機関に望むことを示す。障害に配慮した丁寧な対応が27.4%で最も多かった。バリアフリーには5.7%、待合室を個室には5.4%で最も少なかった。（図27）

男女別では、傾向に大きな違いを認めなかった。（図27-1）

年齢区分別では、年代が若いほど望むことが多い傾向であった。（図27-2）

障害の種別では、発達障害で個室の要望が多く、精神障害者では望むことが少ない傾向であった。（図27-3）

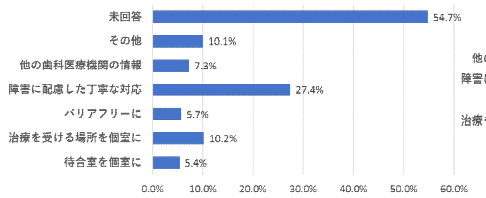
所属事業所の種別では、入所施設で望むことが多い傾向であったが、他の医療機関の情報については、利用していない、通所施設のみ、と入所施設の順に多かった。（図27-4）施設に頼ることができなければ、障害者が自ら情報を入手せざるを得ないことが示された。

一般就労の有無では、働いていない者で障害に配慮した丁寧な対応が多かった。（図27-5）

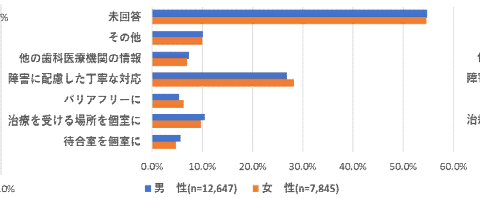
（表23）歯科医療機関に望むこと（複数回答可）

			待合室を個室に		治療を受ける場所を個室に		バリアフリーに		障害に配慮した丁寧な対応		他の歯科医療機関の情報		その他		未回答	
総　数		(n=21,819)	1,179	(5.4%)	2,235	(10.2%)	1,247	(5.7%)	5,968	(27.4%)	1,590	(7.3%)	2,198	(10.1%)	11,944	(54.7%)
性　別	男　性	(n=12,647)	723	(5.7%)	1,327	(10.5%)	685	(5.4%)	3,396	(26.9%)	938	(7.4%)	1,282	(10.1%)	6,923	(54.7%)
	女　性	(n=7,845)	380	(4.8%)	768	(9.8%)	493	(6.3%)	2,220	(28.3%)	551	(7.0%)	784	(10.0%)	4,282	(54.6%)
年齢区分	10代以下	(n=3,200)	270	(8.4%)	545	(17.0%)	264	(8.3%)	1,339	(41.8%)	336	(10.5%)	331	(10.3%)	1,274	(39.8%)
	20～40代	(n=12,604)	693	(5.5%)	1,266	(10.0%)	601	(4.8%)	3,292	(26.1%)	926	(7.3%)	1,379	(10.9%)	6,973	(55.3%)
	50代以上	(n=4,817)	152	(3.2%)	301	(6.2%)	321	(6.7%)	1,018	(21.1%)	237	(4.9%)	364	(7.6%)	3,026	(62.8%)
障害の種別	身体障害者	(n=4,987)	212	(4.3%)	455	(9.1%)	787	(15.8%)	1,312	(26.3%)	394	(7.9%)	549	(11.0%)	2,632	(52.8%)
	知的障害者	(n=12,707)	801	(6.3%)	1,381	(10.9%)	688	(5.4%)	3,891	(30.6%)	958	(7.5%)	1,259	(9.9%)	6,743	(53.1%)
	精神障害者	(n=4,262)	181	(4.2%)	346	(8.1%)	99	(2.3%)	786	(18.4%)	281	(6.6%)	455	(10.7%)	2,620	(61.5%)
	発達障害	(n=1,995)	201	(10.1%)	336	(16.8%)	68	(3.4%)	738	(37.0%)	184	(9.2%)	215	(10.8%)	860	(43.1%)
	難病等	(n=204)	9	(4.4%)	20	(9.8%)	31	(15.2%)	66	(32.4%)	26	(12.7%)	30	(14.7%)	85	(41.7%)
所属事業所	入所施設	(n=1,776)	193	(10.9%)	237	(13.3%)	197	(11.1%)	769	(43.3%)	58	(3.3%)	57	(3.2%)	785	(44.2%)
	通所施設のみ	(n=18,304)	877	(4.8%)	1,821	(9.9%)	954	(5.2%)	4,742	(25.9%)	1,420	(7.8%)	1,981	(10.8%)	10,168	(55.6%)
	利用していない	(n=100)	5	(5.0%)	8	(8.0%)	5	(5.0%)	32	(32.0%)	11	(11.0%)	7	(7.0%)	45	(45.0%)
一般就労しているか	働いている	(n=699)	34	(4.9%)	60	(8.6%)	16	(2.3%)	122	(17.5%)	51	(7.3%)	69	(9.9%)	429	(61.4%)
	働いていない	(n=18,574)	997	(5.4%)	1,900	(10.2%)	1,105	(5.9%)	5,145	(27.7%)	1,366	(7.4%)	1,901	(10.2%)	10,065	(54.2%)

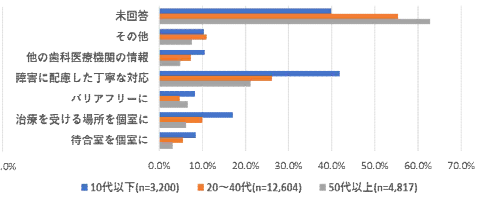
（図27）歯科医療機関に望むこと



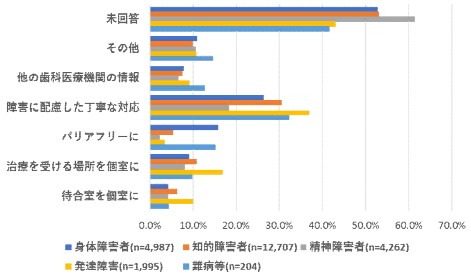
（図27-1）歯科医療機関に望むこと（男女別）



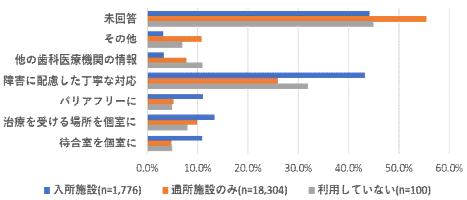
（図27-2）歯科医療機関に望むこと（年齢区分別）



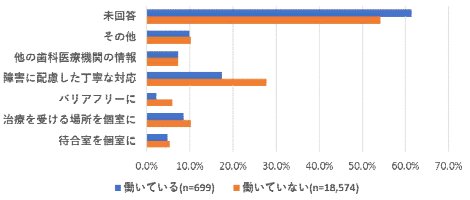
（図27-3）歯科医療機関に望むこと（障害の種別）



（図27-4）歯科医療機関に望むこと（所属事業所の種別）



（図27-5）歯科医療機関に望むこと（一般就労の有無）



障害の種類や程度、利用している施設の違い、主に家族の付き添いの有無と思われる年代の違いによって、ニーズが異なることが示されたものの、歯科医療機関には障害に配慮した優しく丁寧な対応が求められていることは共通していた。地域の一次医療機関である歯科診療所と、遠方となる専門歯科医療機関での役割分担を進めることで、歯科医療へのアクセシビリティーを高める必要もあると推察された。また、障害者への対応に関する歯科医療機関の情報提供についても、さらなる対処が必要であろう。特に、個別ニーズの違いを反映した情報提供が重要であると考える。

歯と口に関するアンケート調査(事業所回答用)報告書

東京歯科大学社会歯科学講座
平田 創一郎

本調査は、東京都歯科保健推進計画に基づき、障害者歯科の取組が進むよう、地域の歯科診療所での受診に関する課題等を抽出するために、障害者支援施設等（以下「障害者施設」という。）や、その利用者等に対して実施した。

対象は東京都内の障害者施設とし、回答総数は972件であった。

アンケート用紙を末尾に別添する。

1　回答事業所の概要について（注記を除き重複あり）

(1) サービス種別(施設区分)、主に利用される方の障害種別について

回答事業所の概要を表1に示す。最も多かったのは就労継続支援B型の385件（39.6%）であり、次いで生活介護295件（30.3%）、就労移行支援139件（14.3%）であった。

福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設、施設入所支援の3施設を入所施設、それ以外を通所施設として集計を行った。なお、施設入所支援には通所施設との重複があったため、通所施設の集計にはこの重複を含まず集計を行った。入所施設は5.7%、通所施設のみは92.0%であった。（図1）

主な利用者の障害の種別内訳を表2に示す。入所施設、通所施設のみいずれも知的障害の利用者が最も多かった。次いで、入所施設では身体障害が、通所施設のみでは精神障害が多かった。（図2）

表１　回答事業所の概要

施設の種別			回答数（n=972）	
入所施設	福祉型障害児入所施設		4	(0.4%)
	医療型障害児入所施設		2	(0.2%)
	施設入所支援		49	(5.0%)
		入所施設計	55	(5.7%)
通所施設	児童発達支援事業所		114	(11.7%)
	福祉型児童発達支援センター		10	(1.0%)
	医療型児童発達支援センター		4	(0.4%)
	居宅訪問型児童発達支援事業所		0	(0.0%)
	生活介護		295	(30.3%)
	自立訓練（機能訓練）		15	(1.5%)
	自立訓練（生活訓練）		32	(3.3%)
	宿泊型自立訓練		5	(0.5%)
	就労継続支援A型		41	(4.2%)
	就労継続支援B型		385	(39.6%)
	就労移行支援		139	(14.3%)
	地域活動支援センター		62	(6.4%)
	グループホーム		9	(0.9%)
	その他		68	(7.0%)
	その他の記載施設	児童発達支援センター	4	(0.4%)
		就労定着	3	(0.3%)
		障害児通所支援	1	(0.1%)
		短期入所	10	(1.0%)
		放課後等デイサービス	51	(5.2%)
		重症心身障がい者通所事業	1	(0.1%)
		通所施設計*1	894	(92.0%)
未回答			23	(2.4%)

*1：入所施設との重複を含まない

図１　事業所の施設の種別

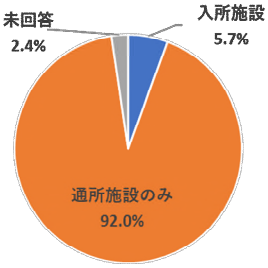


図２　施設の種別　主な利用者の障害の種別

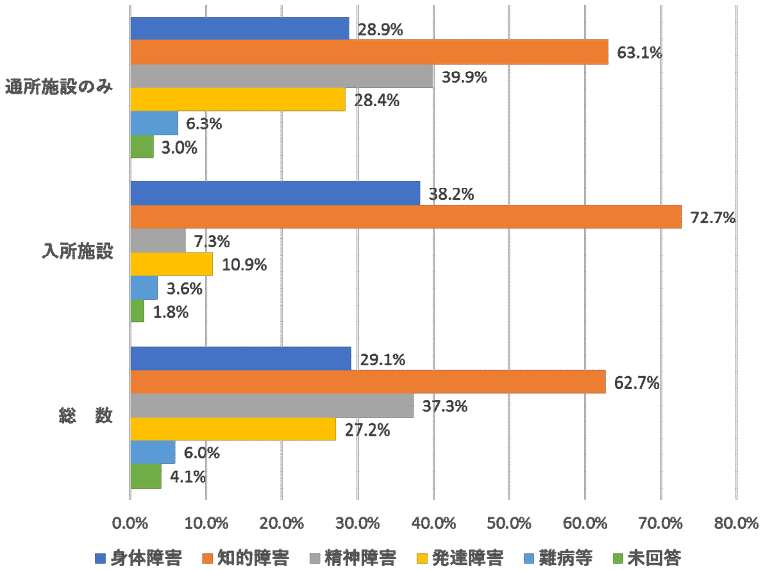


表２　主な利用者の障害の種別内訳（重複あり）

		身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		難病等		未回答	
総　数	(n=972)	283	(29.1%)	609	(62.7%)	363	(37.3%)	264	(27.2%)	58	(6.0%)	40	(4.1%)
入所施設	(n=55)	21	(38.2%)	40	(72.7%)	4	(7.3%)	6	(10.9%)	2	(3.6%)	1	(1.8%)
通所施設のみ	(n=894)	258	(28.9%)	564	(63.1%)	357	(39.9%)	254	(28.4%)	56	(6.3%)	27	(3.0%)
未回答	(n=23)	4	(17.4%)	5	(21.7%)	2	(8.7%)	4	(17.4%)	0	(0.0%)	12	(52.2%)

（2） 1日当たりの平均利用者数について

表3に施設種別ごとの平均利用者数を示す。総数では1日平均23.4名、入所施設では60.9名、通所施設のみでは21.6名であった。施設の規模を平均利用者数24名以上と24名未満に分けたところ、表3-1に示すとおり、入院施設では81.8%が24名以上であったのに対し、通所施設のみでは64.2%が24名未満であった。

表３　平均利用者数（施設の種別）

		平均利用者数（人）
総　数	(n=972)	23.4
入所施設	(n=55)	60.9
通所施設のみ	(n=894)	21.6
未回答	(n=23)	31.5

表３-1　施設規模（施設の種別）

		平均利用者数24名以上		平均利用者数24名未満		平均利用者数未回答	
総　数	(n=972)	300	(30.9%)	587	(60.4%)	85	(8.7%)
入所施設	(n=55)	45	(81.8%)	5	(9.1%)	5	(9.1%)
通所施設のみ	(n=894)	252	(28.2%)	574	(64.2%)	68	(7.6%)
未回答	(n=23)	3	(13.0%)	8	(34.8%)	12	(52.2%)

（3）事業所内における職員配置（歯科医師・歯科衛生士）について

表4に施設の種別・規模別 事業所内における職員配置（歯科医師・歯科衛生士）を示す。歯科医師の配置がある施設は5.8%、常勤では1.3%、非常勤では5.7%であった。歯科衛生士の配置がある施設は2.3%、常勤では1.2%、非常勤では1.9%と歯科医師より少なかった。歯科医師、歯科衛生士のいずれかの配置がある施設は6.2%であった。（図4）

入所施設では歯科医師、歯科衛生士とも9.1%で、歯科医師、歯科衛生士のいずれかの配置があるのは12.7%と、通所施設のみの歯科医師5.5%、歯科衛生士1.7%、いずれかの配置5.7%より配置率が高かった。（図4-1）

施設規模別にみると、平均利用者数24名以上の施設で職員の配置率が高かった。（図4-2）これは、入所施設が多いことにも起因していると考えられる。

障害の種別にみると、難病等で歯科医師、歯科衛生士いずれかの配置が15.5%と最も多かった。疾患に対する医学的ケアのニーズが高いため、歯科医療提供体制も他の障害に比べ充実しているものと考えられる。（図4-3）

表４　施設の種別・規模別　事業所内における職員配置（歯科医師・歯科衛生士）

		歯科医師あり		常勤		非常勤		歯科医師なし		歯科衛生士あり		常勤		非常勤		歯科衛生士なし		歯科医師・歯科衛生士いずれかあり		歯科医師・歯科衛生士なし	
総　数	(n=972)	56	(5.8%)	13	(1.3%)	55	(5.7%)	916	(94.2%)	22	(2.3%)	12	(1.2%)	18	(1.9%)	950	(97.7%)	60	(6.2%)	912	(93.8%)
入所施設	(n=55)	5	(9.1%)	2	(3.6%)	5	(9.1%)	50	(90.9%)	5	(9.1%)	4	(7.3%)	4	(7.3%)	50	(90.9%)	7	(12.7%)	48	(87.3%)
通所施設のいm	(n=894)	49	(5.5%)	10	(1.1%)	48	(5.4%)	845	(94.5%)	15	(1.7%)	7	(0.8%)	12	(1.3%)	879	(98.3%)	51	(5.7%)	843	(94.3%)
未回答	(n=23)	2	(8.7%)	1	(4.3%)	2	(8.7%)	21	(91.3%)	2	(8.7%)	1	(4.3%)	2	(8.7%)	21	(91.3%)	2	(8.7%)	21	(91.3%)
平均利用者数24名以上	(n=300)	23	(7.7%)	3	(1.0%)	23	(7.7%)	277	(92.3%)	9	(3.0%)	4	(1.3%)	8	(2.7%)	291	(97.0%)	25	(8.3%)	275	(91.7%)
平均利用者数24名未満	(n=587)	29	(4.9%)	10	(1.7%)	28	(4.8%)	558	(95.1%)	12	(2.0%)	8	(1.4%)	9	(1.5%)	575	(98.0%)	31	(5.3%)	556	(94.7%)
平均利用者数未回答	(n=85)	4	(4.7%)	0	(0.0%)	4	(4.7%)	81	(95.3%)	1	(1.2%)	0	(0.0%)	1	(1.2%)	84	(98.8%)	4	(4.7%)	81	(95.3%)
身体障害	(n=283)	27	(9.5%)	6	(2.1%)	26	(9.2%)	256	(90.5%)	12	(4.2%)	7	(2.5%)	9	(3.2%)	271	(95.8%)	29	(10.2%)	254	(89.8%)
知的障害	(n=609)	40	(6.6%)	8	(1.3%)	40	(6.6%)	569	(93.4%)	16	(2.6%)	10	(1.6%)	13	(2.1%)	593	(97.4%)	43	(7.1%)	566	(92.9%)
精神障害	(n=363)	6	(1.7%)	3	(0.8%)	6	(1.7%)	357	(98.3%)	2	(0.6%)	1	(0.3%)	1	(0.3%)	361	(99.4%)	6	(1.7%)	357	(98.3%)
発達障害	(n=264)	16	(6.1%)	3	(1.1%)	16	(6.1%)	248	(93.9%)	6	(2.3%)	3	(1.1%)	4	(1.5%)	258	(97.7%)	17	(6.4%)	247	(93.6%)
難病等	(n=58)	8	(13.8%)	0	(0.0%)	8	(13.8%)	50	(86.2%)	4	(6.9%)	1	(1.7%)	3	(5.2%)	54	(93.1%)	9	(15.5%)	49	(84.5%)

図４　事業所内における職員配置（歯科医師・歯科衛生士）

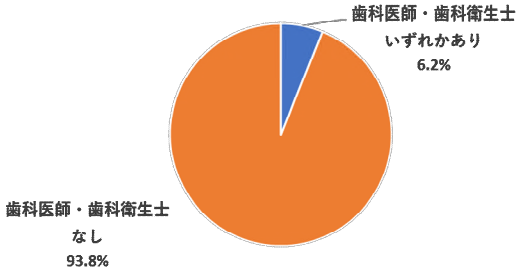


図４-1　事業所内における職員配置（施設の種別）

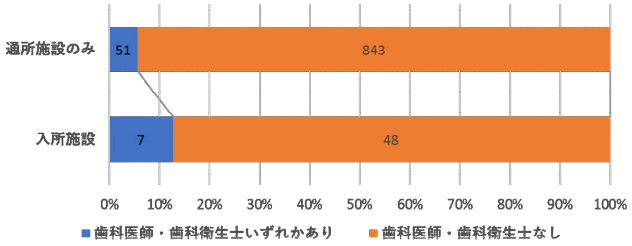


図４-2　事業所内における職員配置（施設規模別）

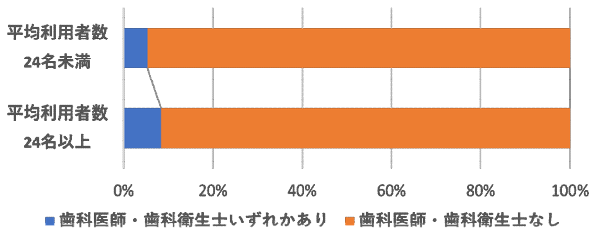
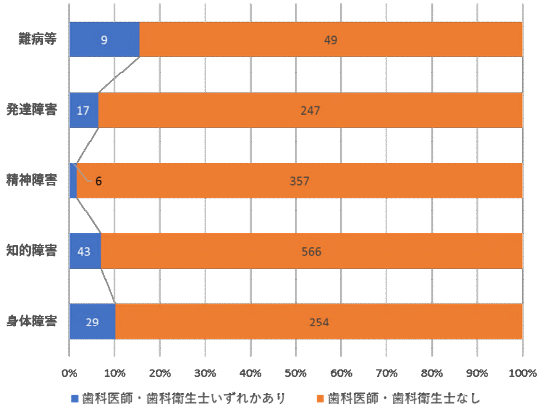


図４-3　事業所内における職員配置（障害の種別）



（4）事業所内の利用できる歯科診療所の有無について

表5に利用できる歯科診療所の有無を示す。事業所内に利用できる歯科診療所があったのは1.7%であった。（図5）

入所施設では7.3%と通所施設のみの1.3%より多かった。（図5-1）一方、平均利用者数24名以上では2.7%に対し24名未満の1.5%とその差は施設の種別に比べて小さかった。（図5-2）施設規模よりも入所、通所という施設の種別が影響している可能性が示唆された。

歯科医師、歯科衛生士のいずれか（以下、歯科職という）の配置がある場合、18.3%に利用できる歯科診療所があるのに対し、歯科職の配置がない場合では0.7%と少なかった。ただし、これは明らかに歯科診療所の有無が歯科職の配置に影響していると考えられるため、利用できる歯科診療所の有無別に歯科職の配置の有無をみると、歯科診療所がある場合には歯科職の配置が64.7%あるのに対し、歯科診療所がない場合には歯科職の配置は5.2%であった。（図5-3）

障害の種別見ると、難病等が3.4%と最も多かった。（図5-4）

表５　利用できる歯科診療所の有無

		あり		なし		未回答	
総　数	(n=972)	17	(1.7%)	907	(93.3%)	48	(4.9%)
入所施設	(n=55)	4	(7.3%)	46	(83.6%)	5	(9.1%)
通所施設のみ	(n=894)	12	(1.3%)	847	(94.7%)	35	(3.9%)
未回答	(n=23)	1	(4.3%)	14	(60.9%)	8	(34.8%)
平均利用者数24名以上	(n=300)	8	(2.7%)	281	(93.7%)	11	(3.7%)
平均利用者数24名未満	(n=587)	9	(1.5%)	555	(94.5%)	23	(3.9%)
平均利用者数未回答	(n=85)	0	(0.0%)	71	(83.5%)	14	(16.5%)
歯科医師あり	(n=56)	10	(17.9%)	44	(78.6%)	2	(3.6%)
常勤	(n=13)	6	(46.2%)	7	(53.8%)	0	(0.0%)
非常勤	(n=55)	10	(18.2%)	43	(78.2%)	2	(3.6%)
歯科医師なし	(n=916)	7	(0.8%)	863	(94.2%)	46	(5.0%)
歯科衛生士あり	(n=22)	11	(50.0%)	11	(50.0%)	0	(0.0%)
常勤	(n=12)	8	(66.7%)	4	(33.3%)	0	(0.0%)
非常勤	(n=18)	11	(61.1%)	7	(38.9%)	0	(0.0%)
歯科衛生士なし	(n=950)	6	(0.6%)	896	(94.3%)	48	(5.1%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=60)	11	(18.3%)	47	(78.3%)	2	(3.3%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=912)	6	(0.7%)	860	(94.3%)	46	(5.0%)
身体障害	(n=283)	8	(2.8%)	262	(92.6%)	13	(4.6%)
知的障害	(n=609)	14	(2.3%)	567	(93.1%)	28	(4.6%)
精神障害	(n=363)	3	(0.8%)	341	(93.9%)	19	(5.2%)
発達障害	(n=264)	4	(1.5%)	247	(93.6%)	13	(4.9%)
難病等	(n=58)	2	(3.4%)	53	(91.4%)	3	(5.2%)

*4：未回答含む

図５　利用できる歯科診療所の有無

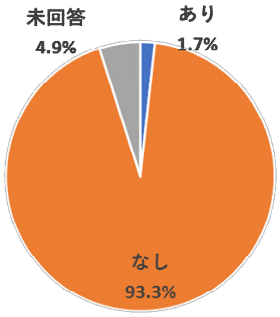


図５-１　利用できる歯科診療所の有無（施設の種別）

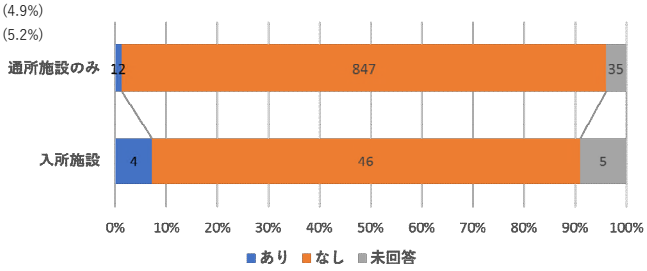


図５-２　利用できる歯科診療所の有無（施設規模別）

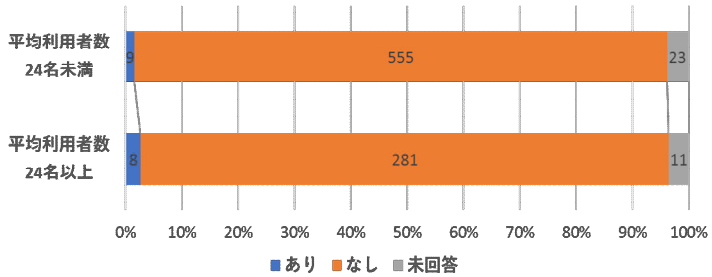


図５-３　利用できる歯科診療所の有無（歯科職の有無別）

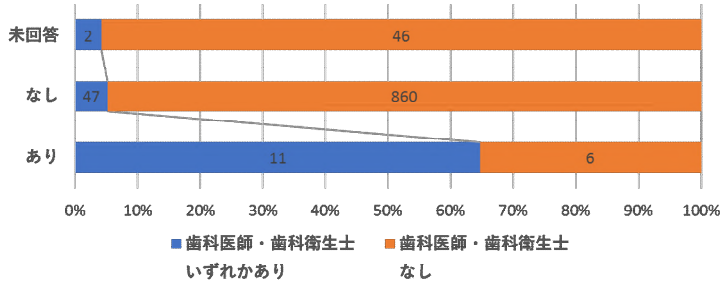
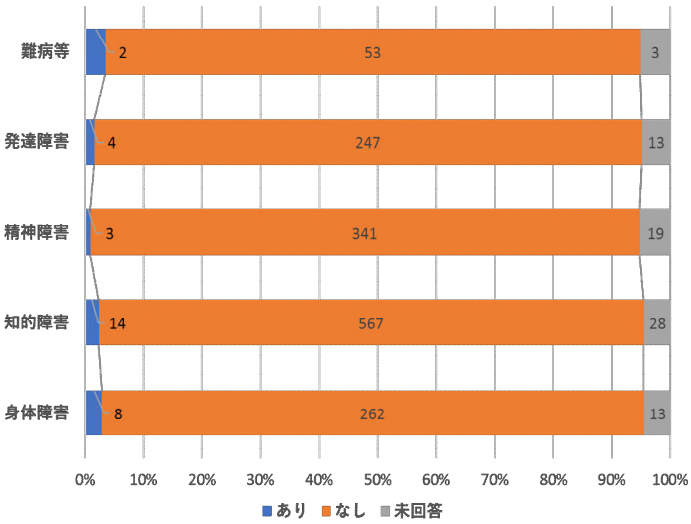


図５-４　利用できる歯科診療所の有無（障害の種別）



2　事業所における歯科健診の実施について

表6に事業所における歯科健診の実施の有無を示す。歯科健診を実施していると回答した施設は287件（29.5%）であった。（図6）

入所施設では76.4%と通所施設のみ27.0%より高い実施率であった。（図6-1）

施設の規模別では、平均利用者数24名以上で54.7%と24名未満の16.2%より高い実施率であった。（図6-2）

歯科職の配置がある場合には80.0%と実施率が高かった。歯科職の配置がない場合には26.2%であった。（図6-3）

障害の種別では知的障害37.3%が最も多く、次いで難病等32.8%、身体障害29.3%であった。（図6-4）知的障害は入所施設の利用の割合が高いため、歯科健診の実施率が高いものと考えられる。

表６　歯科健診の実施の有無

		あり		なし		未回答	
総　数	(n=972)	287	(29.5%)	668	(68.7%)	17	(1.7%)
入所施設	(n=55)	42	(76.4%)	12	(21.8%)	1	(1.8%)
通所施設のみ	(n=894)	241	(27.0%)	645	(72.1%)	8	(0.9%)
未回答	(n=23)	4	(17.4%)	11	(47.8%)	8	(34.8%)
平均利用者数24名以上	(n=300)	164	(54.7%)	135	(45.0%)	1	(0.3%)
平均利用者数24名未満	(n=587)	95	(16.2%)	487	(83.0%)	5	(0.9%)
平均利用者数未回答	(n=85)	28	(32.9%)	46	(54.1%)	11	(12.9%)
歯科医師あり	(n=56)	46	(82.1%)	9	(16.1%)	1	(1.8%)
常勤	(n=13)	7	(53.8%)	5	(38.5%)	1	(7.7%)
非常勤	(n=55)	46	(83.6%)	8	(14.5%)	1	(1.8%)
歯科医師なし	(n=916)	241	(26.3%)	659	(71.9%)	16	(1.7%)
歯科衛生士あり	(n=22)	18	(81.8%)	4	(18.2%)	0	(0.0%)
常勤	(n=12)	10	(83.3%)	2	(16.7%)	0	(0.0%)
非常勤	(n=18)	15	(83.3%)	3	(16.7%)	0	(0.0%)
歯科衛生士なし	(n=950)	269	(28.3%)	664	(69.9%)	17	(1.8%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=60)	48	(80.0%)	11	(18.3%)	1	(1.7%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=912)	239	(26.2%)	657	(72.0%)	16	(1.8%)
利用できる歯科診療所あり	(n=17)	14	(82.4%)	3	(17.6%)	0	(0.0%)
利用できる歯科診療所なし	(n=907)	261	(28.8%)	640	(70.6%)	6	(0.7%)
身体障害	(n=283)	83	(29.3%)	198	(70.0%)	2	(0.7%)
知的障害	(n=609)	227	(37.3%)	379	(62.2%)	3	(0.5%)
精神障害	(n=363)	42	(11.6%)	316	(87.1%)	5	(1.4%)
発達障害	(n=264)	54	(20.5%)	209	(79.2%)	1	(0.4%)
難病等	(n=58)	19	(32.8%)	39	(67.2%)	0	(0.0%)

*4：未回答含む

図６　歯科健診の実施の有無

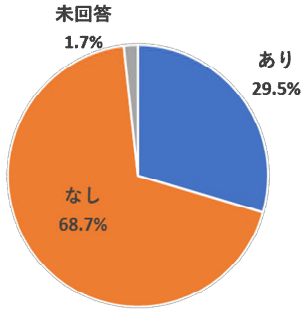


図６-1　歯科健診の実施の有無（施設の種別）

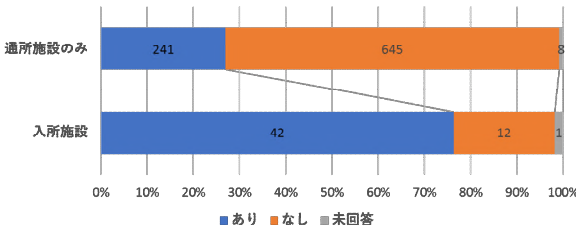


図６-2　歯科健診の実施の有無（施設規模別）

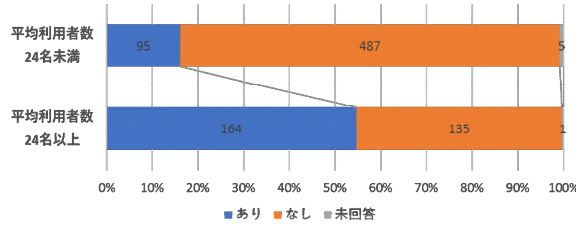


図６-3　歯科健診の実施の有無（歯科職の有無別）

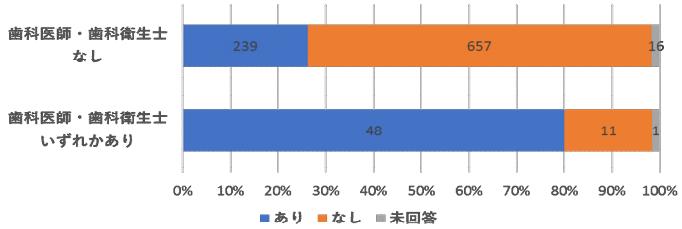


図６-4　歯科健診の実施の有無（障害の種別）

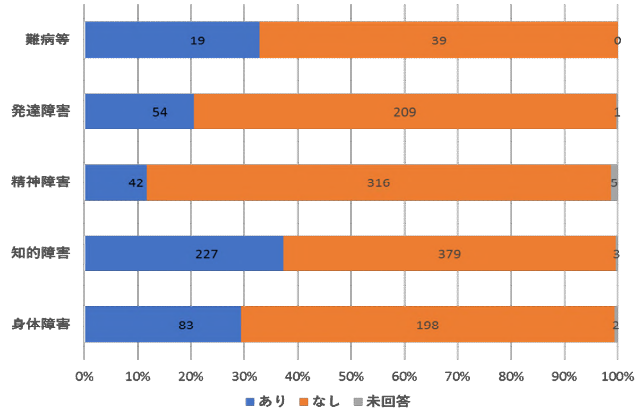
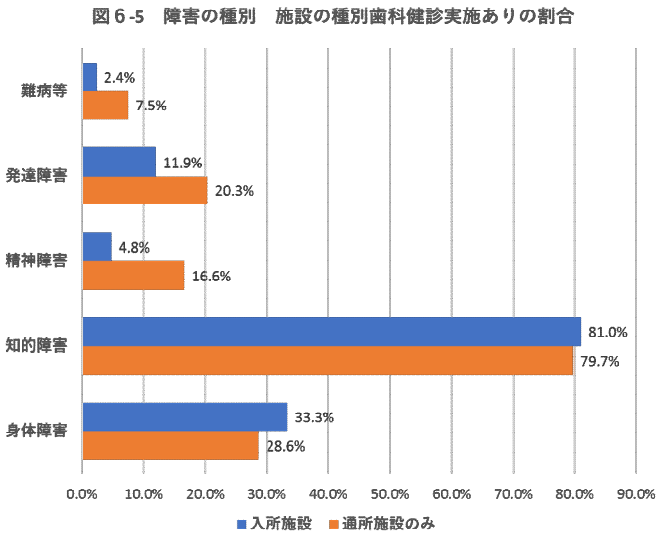


図６-5　障害の種別　施設の種別歯科健診実施ありの割合



○歯科健診の実施ありと回答した施設

（1）実施頻度

事業所における歯科健診の実施の頻度は1年に最大で100回、最小で0.5回、平均で3.2回、中央値は1回であった。

（2）実施場所

表7に歯科健診の実施場所を示す。施設内での実施が86.8%であった。（図7）

入所施設では通所施設に比べて施設外での実施が多く（図7-1）、一方、平均利用者数24名未満では、24名以上に比べて、施設外での実施が多かった。（図7-2）歯科職の配置がある場合（図7-3）、施設内に利用できる歯科診療所がある場合（図7-4）も施設内での実施が多かった。

障害の種別にみると、施設内での実施が難病等で100%と最も多く、次いで精神障害95.2%であった。（図7-5）

表７　歯科健診の実施場所（重複あり）

歯科健診の実施あり		施設内		施設外	
総　数	(n=287)	249	(86.8%)	42	(14.6%)
入所施設	(n=42)	35	(83.3%)	9	(21.4%)
通所施設のみ	(n=241)	212	(88.0%)	31	(12.9%)
未回答	(n=4)	2	(50.0%)	2	(50.0%)
平均利用者数24名以上	(n=164)	149	(90.9%)	18	(11.0%)
平均利用者数24名未満	(n=95)	79	(83.2%)	17	(17.9%)
平均利用者数未回答	(n=28)	21	(75.0%)	7	(25.0%)
歯科医師あり	(n=46)	45	(97.8%)	2	(4.3%)
常勤	(n=7)	7	(100.0%)	1	(14.3%)
非常勤	(n=46)	45	(97.8%)	2	(4.3%)
歯科医師なし	(n=241)	204	(84.6%)	40	(16.6%)
歯科衛生士あり	(n=18)	17	(94.4%)	1	(5.6%)
常勤	(n=10)	9	(90.0%)	1	(10.0%)
非常勤	(n=15)	15	(100.0%)	0	(0.0%)
歯科衛生士なし	(n=269)	232	(86.2%)	41	(15.2%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=48)	47	(97.9%)	2	(4.2%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=239	202	(84.5%)	40	(16.7%)
利用できる歯科診療所あり	(n=14)	14	(100.0%)	2	(14.3%)
利用できる歯科診療所なし	(n=261)	223	(85.4%)	40	(15.3%)
身体障害	(n=83)	74	(89.2%)	12	(14.5%)
知的障害	(n=227)	195	(85.9%)	38	(16.7%)
精神障害	(n=42)	40	(95.2%)	2	(4.8%)
発達障害	(n=54)	47	(87.0%)	6	(11.1%)
難病等	(n=19)	18	(94.7%)	0	(0.0%)

*4：未回答含む

図７　歯科健診の実施場所（重複あり）

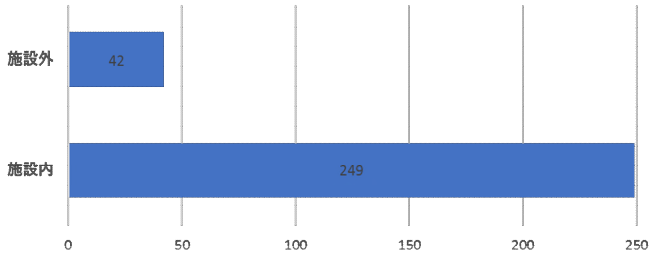


図７-1　歯科健診の実施場所（施設の種別）（重複あり）

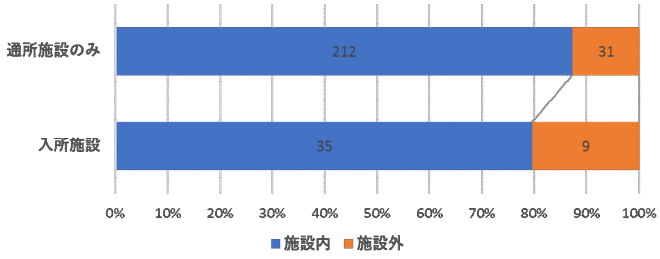


図７-2　歯科健診の実施場所（施設の規模別）（重複あり）

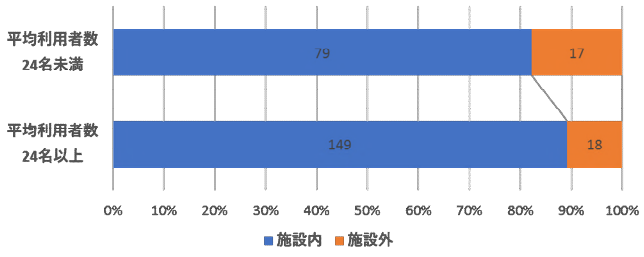


図７-3　歯科健診の実施場所（歯科職の有無別）（重複あり）

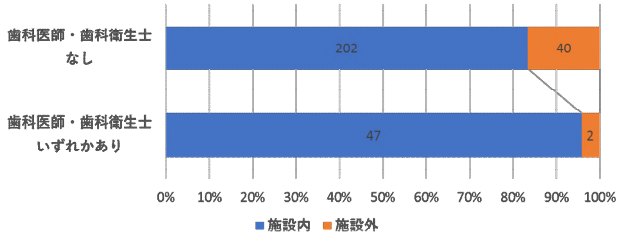


図７-4　歯科健診の実施場所(歯科診療所の有無別)(重複あり)

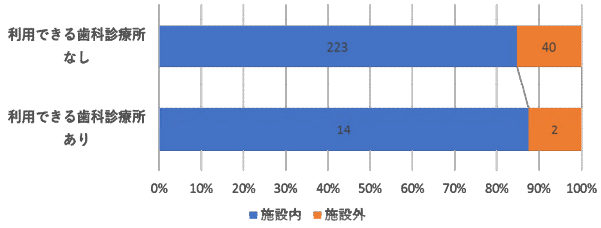
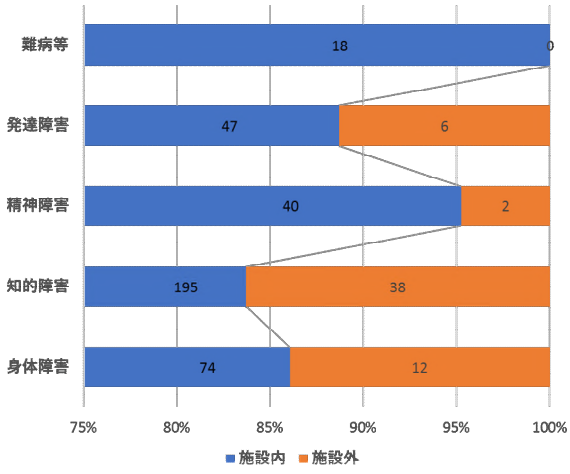


図７-5　歯科健診の実施場所（障害の種別）
（重複あり）



（3）実施者（歯科健診の担当）

表8に歯科健診の実施者を示す。最も多かったのは地域の歯科診療所で38.3%、次いで地区歯科医師会の34.5%であった。（図8）

施設の種別にみると、入所施設では地域の歯科診療所が61.9%を占めたが、通所施設のみでは地区歯科医師会が38.6%となり地域の歯科診療所34.0%と同程度であった。（図8-1）

施設の規模別では、平均利用者数24名以上では地域の歯科診療所が42.1%で最も多かったのに対し、24名未満では地区歯科医師会が33.7%で最も多かった。（図8-2）

事業所内の歯科診療所での実施は、歯科医師が配置されている場合が17.4%、歯科衛生士が配置されている場合が38.9%、歯科医師、歯科衛生士のいずれかが配置されている場合で16.7%と、歯科職の配置があると高い傾向を示した。（図8-3）また、利用できる歯科診療所がある場合には57.1%と半数以上が事業所内の歯科診療所で実施していた。（図8-4）

障害の種別では、難病等で事業所内の歯科診療所が多く、地域の歯科診療所が少ない点を除き、大きな傾向に差を認めなかった。前述の通り、難病等では事業所内に利用できる歯科診療所がある割合が高く、それは地域の歯科診療所への通院が困難であることによると予想される。

表８　歯科健診の実施者（複数回答可）

歯科健診の実施あり		事業所内の歯科診療所		地域の歯科診療所		地区口腔保健センター		地区歯科医師会		その他	
総　数	(n=287)	11	(3.8%)	110	(38.3%)	13	(4.5%)	99	(34.5%)	48	(16.7%)
入所施設	(n=42)	2	(4.8%)	26	(61.9%)	2	(4.8%)	5	(11.9%)	11	(26.2%)
通所施設のみ	(n=241)	8	(3.3%)	82	(34.0%)	11	(4.6%)	93	(38.6%)	36	(14.9%)
未回答	(n=4)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	1	(25.0%)
平均利用者数24名以上	(n=164)	6	(3.7%)	69	(42.1%)	6	(3.7%)	58	(35.4%)	20	(12.2%)
平均利用者数24名未満	(n=95)	4	(4.2%)	27	(28.4%)	5	(5.3%)	32	(33.7%)	24	(25.3%)
平均利用者数未回答	(n=28)	1	(3.6%)	12	(42.9%)	2	(7.1%)	9	(32.1%)	4	(14.3%)
歯科医師あり	(n=46)	8	(17.4%)	13	(28.3%)	0	(0.0%)	11	(23.9%)	13	(28.3%)
常勤	(n=7)	5	(71.4%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
非常勤	(n=46)	8	(17.4%)	13	(28.3%)	0	(0.0%)	11	(23.9%)	13	(28.3%)
歯科医師なし	(n=241)	3	(1.2%)	95	(39.4%)	13	(5.4%)	88	(36.5%)	35	(14.5%)
歯科衛生士あり	(n=18)	7	(38.9%)	2	(11.1%)	0	(0.0%)	2	(11.1%)	6	(33.3%)
常勤	(n=10)	5	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	3	(30.0%)
非常勤	(n=15)	7	(46.7%)	2	(13.3%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	5	(33.3%)
歯科衛生士なし	(n=269)	4	(1.5%)	106	(39.4%)	13	(4.8%)	97	(36.1%)	42	(15.6%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=48)	8	(16.7%)	14	(29.2%)	0	(0.0%)	11	(22.9%)	14	(29.2%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=239	3	(1.3%)	94	(39.3%)	13	(5.4%)	88	(36.8%)	34	(14.2%)
利用できる歯科診療所あり	(n=14)	8	(57.1%)	3	(21.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(28.6%)
利用できる歯科診療所なし	(n=261)	1	(0.4%)	100	(38.3%)	13	(5.0%)	97	(37.2%)	42	(16.1%)
身体障害	(n=83)	5	(6.0%)	27	(32.5%)	1	(1.2%)	31	(37.3%)	15	(18.1%)
知的障害	(n=227)	9	(4.0%)	90	(39.6%)	10	(4.4%)	75	(33.0%)	39	(17.2%)
精神障害	(n=42)	3	(7.1%)	14	(33.3%)	2	(4.8%)	16	(38.1%)	5	(11.9%)
発達障害	(n=54)	3	(5.6%)	19	(35.2%)	2	(3.7%)	19	(35.2%)	7	(13.0%)
難病等	(n=19)	2	(10.5%)	3	(15.8%)	1	(5.3%)	7	(36.8%)	5	(26.3%)

*4：未回答含む

図８　歯科健診の実施者（複数回答可）

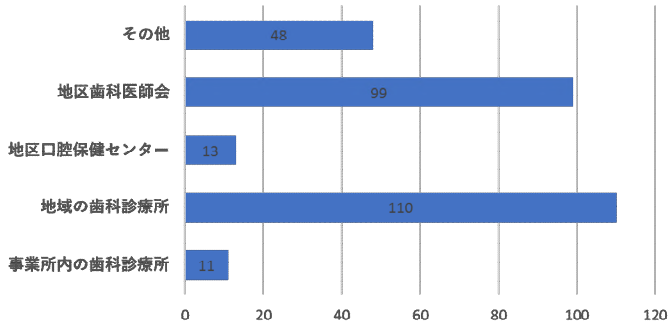


図８-1　歯科健診の実施者（施設の種別）（複数回答可）

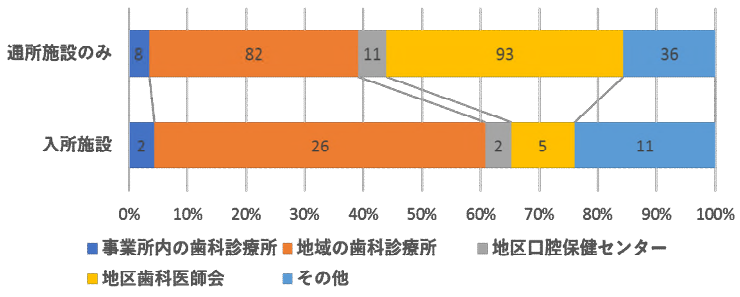


図８-２　歯科健診の実施者（施設の規模別）（複数回答可）

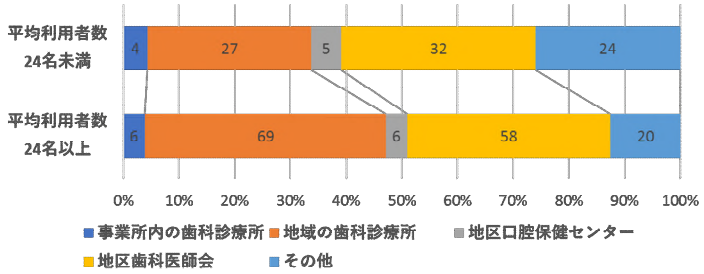


図８-３　歯科健診の実施者（歯科職の有無別）（複数回答可）

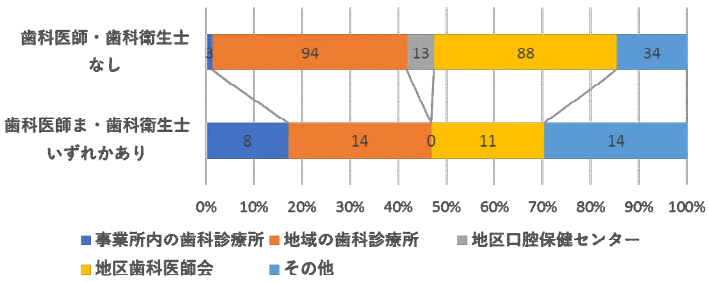


図８-４　歯科健診の実施者（歯科診療所の有無別）(複数回答可)

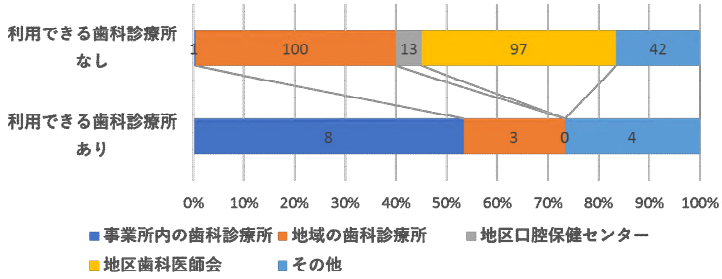
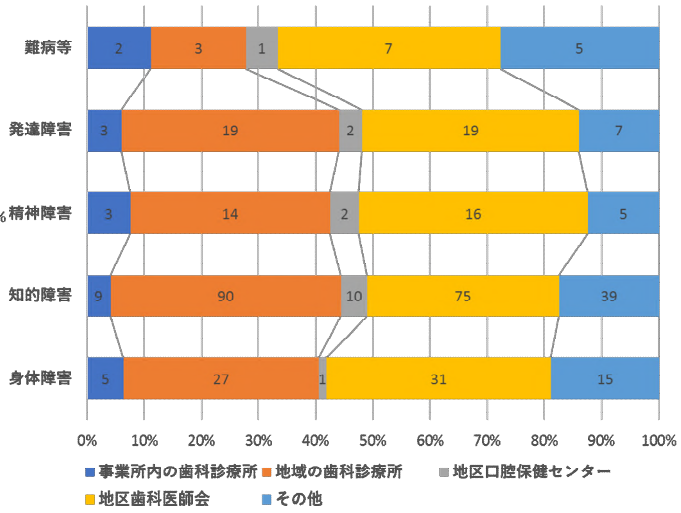


図８-５　歯科健診の実施者（障害の種別）（重複あり）



（4）対象者

表9に歯科健診の対象者を示す。利用者全員が59.6%で最も多かった。（図9）

施設の種別では、入所施設は通所施設のみに比べ、希望者のみが少なく、必要と感じた利用者のみの割合が高かった。（図9-1）

施設の規模別に見ると、平均利用者数24名以上のほうが24名未満よりも利用者全員の割合が高かった。（図9-2）

歯科職の有無で見た場合、歯科職の配置がない施設で利用者全員の割合が高かった。これは歯科健診の必要度を測ることができないためと推測される。（図9-3）利用できる歯科診療所の有無別でみても、なしのほうが利用者全員の割合が高かった。（図9-4）

障害の種別では、身体障害で希望者のみが利用者全員をわずかに上回ったのを除き、利用者全員が最も多く、知的障害で最も多かった。（図9-5）

表９　歯科健診の対象者（複数回答可）

歯科健診の実施あり		利用者全員		希望者のみ		必要と感じた利用者のみ		その他	
総　数	(n=287)	171	(59.6%)	84	(29.3%)	18	(6.3%)	15	(5.2%)
入所施設	(n=42)	27	(64.3%)	9	(21.4%)	8	(19.0%)	5	(11.9%)
通所施設のみ	(n=241)	140	(58.1%)	73	(30.3%)	10	(4.1%)	10	(4.1%)
未回答	(n=4)	3	(75.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
平均利用者数24名以上	(n=164)	107	(65.2%)	38	(23.2%)	12	(7.3%)	10	(6.1%)
平均利用者数24名未満	(n=95)	46	(48.4%)	38	(40.0%)	4	(4.2%)	3	(3.2%)
平均利用者数未回答	(n=28)	17	(60.7%)	7	(25.0%)	2	(7.1%)	2	(7.1%)
歯科医師あり	(n=46)	28	(60.9%)	15	(32.6%)	4	(8.7%)	4	(8.7%)
常勤	(n=7)	6	(85.7%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
非常勤	(n=46)	28	(60.9%)	15	(32.6%)	4	(8.7%)	4	(8.7%)
歯科医師なし	(n=241)	142	(58.9%)	68	(28.2%)	14	(5.8%)	11	(4.6%)
歯科衛生士あり	(n=18)	10	(55.6%)	8	(44.4%)	1	(5.6%)	1	(5.6%)
常勤	(n=10)	7	(70.0%)	3	(30.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
非常勤	(n=15)	9	(60.0%)	6	(40.0%)	1	(6.7%)	1	(6.7%)
歯科衛生士なし	(n=269)	160	(59.5%)	75	(27.9%)	17	(6.3%)	14	(5.2%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=48)	29	(60.4%)	16	(33.3%)	4	(8.3%)	4	(8.3%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=239	141	(59.0%)	67	(28.0%)	14	(5.9%)	11	(4.6%)
利用できる歯科診療所あり	(n=14)	7	(50.0%)	6	(42.9%)	1	(7.1%)	1	(7.1%)
利用できる歯科診療所なし	(n=261)	155	(59.4%)	75	(28.7%)	16	(6.1%)	12	(4.6%)
身体障害	(n=83)	37	(44.6%)	38	(45.8%)	8	(9.6%)	3	(3.6%)
知的障害	(n=227)	147	(64.8%)	53	(23.3%)	15	(6.6%)	12	(5.3%)
精神障害	(n=42)	23	(54.8%)	15	(35.7%)	5	(11.9%)	1	(2.4%)
発達障害	(n=54)	26	(48.1%)	16	(29.6%)	6	(11.1%)	8	(14.8%)
難病等	(n=19)	11	(57.9%)	7	(36.8%)	3	(15.8%)	0	(0.0%)

*4：未回答含む

図９　歯科健診の対象者（複数回答可）

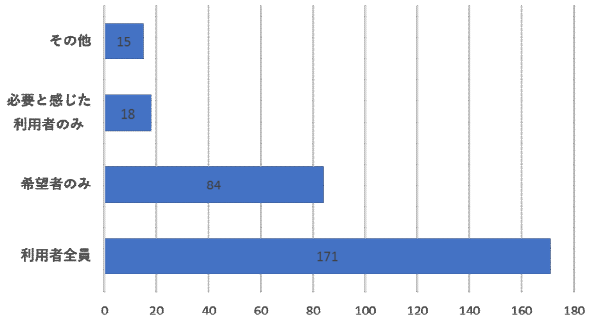


図９-1　歯科健診の対象者（施設の種別）（複数回答可）

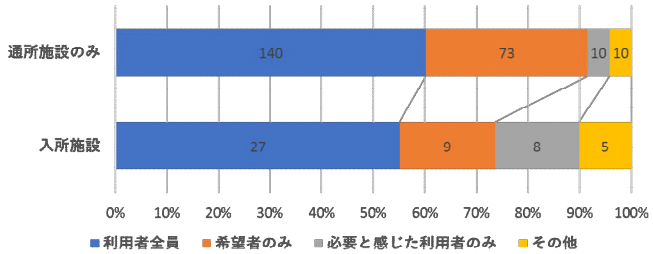


図９-2　歯科健診の対象者（施設の規模別）（複数回答可）

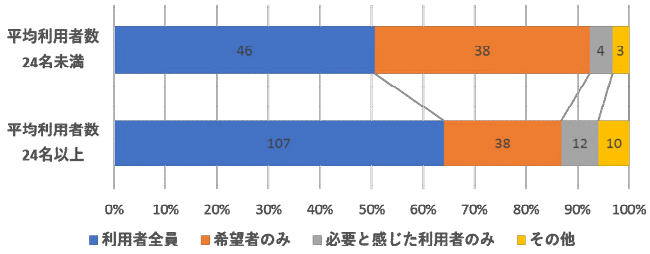


図９-3　歯科健診の対象者（歯科職の有無別）（複数回答可）

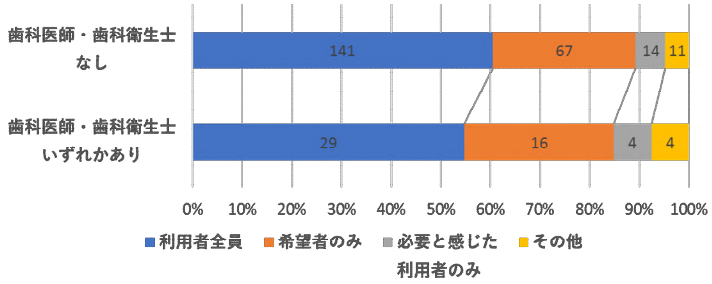


図９-4　歯科健診の対象者（歯科診療所の有無別）(複数回答可)

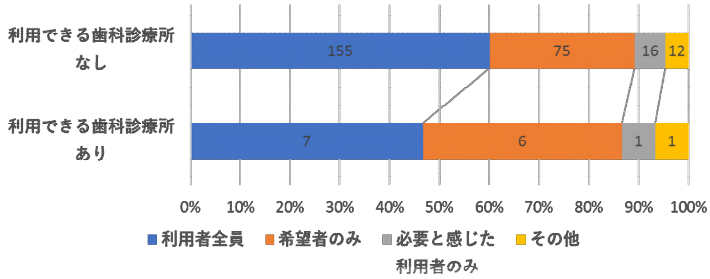
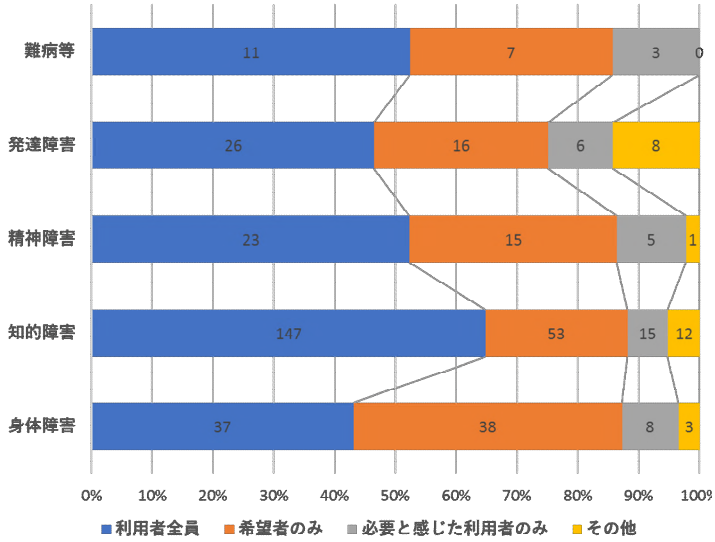


図９-5　歯科健診の対象者（障害の種別）（重複あり）



○歯科健診の実施なしと回答した施設

（1）実施していない理由

表10に歯科健診を実施していない理由を示す。利用者に任せているが81.5%と最も多かった。（図10）実施していない具体的理由のうち、他で実施されているとの回答が37件あり、その内訳は以下の通りであった。

・かかりつけ歯科医など歯科診療所で実施　13件

・訪問歯科で対応　9件

・行政の健診等の利用　8件

・学校・保育園･幼稚園で実施　7件

職員不足は5.4%、経営上の理由は6.6%と、依頼先が分からない7.9%より少ない結果であった。人手や金銭的理由が歯科健診の阻害要因として大きくないことが示された。

入所施設ではサンプル数が少ないものの、その他の理由が最も多かった。（図10-1）具体的に挙げられた理由は、訪問診療を定期的に受けているが5件、必要時に受けているが1件、希望者が受けているが1件、定期的に通院しているが3件と、すべて受診しているとの回答であった。

施設規模別では、平均利用者数24名未満でやや、利用者に任せているが多かったものの、概ね同様の傾向であった。（図10-2）

歯科職の有無別では、歯科職がない場合には必要性を感じないとの回答があったが、歯科職がある場合にはその回答はなかった。また、歯科職がない場合には利用者に任せている割合が高かった。（図10-3）歯科職がない施設においては、歯科健診の必要性を認識できていないことが示されたと考えられる。一方、利用できる歯科診療所の有無では、歯科診療所ありのサンプル数が極めて少ないため、比較は困難である。（図10-4）

障害の種別では、発達障害・知的障害で利用者に任せているの割合が最も低く、もっともな結果であると考えられる。

表10　歯科健診を実施していない理由（複数回答可）

歯科健診の実施なし		必要性を感じない		利用者に任せている		協力歯科医がいない		依頼先が分からない		職員不足		経営上の理由		その他	
総　数	（n=668）	41	(6.1%)	545	(81.6%)	99	(14.8%)	53	(7.9%)	36	(5.4%)	44	(6.6%)	89	(13.3%)
入所施設	（n=12）	0	(0.0%)	2	(16.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(8.3%)	10	(83.3%)
通所施設のみ	（n=645）	41	(6.4%)	534	(82.8%)	99	(15.3%)	52	(8.1%)	35	(5.4%)	43	(6.7%)	77	(11.9%)
未回答	（n=11）	0	(0.0%)	9	(81.8%)	0	(0.0%)	1	(9.1%)	1	(9.1%)	0	(0.0%)	2	(18.2%)
平均利用者数24名以上	（n=135）	7	(5.2%)	104	(77.0%)	27	(20.0%)	11	(8.1%)	10	(7.4%)	8	(5.9%)	32	(23.7%)
平均利用者数24名未満	（n=487）	33	(6.8%)	405	(83.2%)	69	(14.2%)	42	(8.6%)	24	(4.9%)	30	(6.2%)	49	(10.1%)
平均利用者数未回答	（n=46）	1	(2.2%)	36	(78.3%)	3	(6.5%)	0	(0.0%)	2	(4.3%)	6	(13.0%)	8	(17.4%)
歯科医師あり	（n=9）	0	(0.0%)	7	(77.8%)	2	(22.2%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	2	(22.2%)	3	(33.3%)
常勤	（n=5）	0	(0.0%)	4	(80.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	2	(40.0%)
非常勤	（n=8）	0	(0.0%)	7	(87.5%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	2	(25.0%)	2	(25.0%)
歯科医師なし	（n=659）	41	(6.2%)	538	(81.6%)	97	(14.7%)	53	(8.0%)	35	(5.3%)	42	(6.4%)	86	(13.1%)
歯科衛生士あり	（n=4）	0	(0.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
常勤	（n=2）	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
非常勤	（n=3）	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
歯科衛生士なし	（n=664）	41	(6.2%)	544	(81.9%)	99	(14.9%)	53	(8.0%)	36	(5.4%)	44	(6.6%)	85	(12.8%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	（n=11）	0	(0.0%)	7	(63.6%)	2	(18.2%)	0	(0.0%)	1	(9.1%)	2	(18.2%)	5	(45.5%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	（n=657）	41	(6.2%)	538	(81.9%)	97	(14.8%)	53	(8.1%)	35	(5.3%)	42	(6.4%)	84	(12.8%)
利用できる歯科診療所あり	（n=3）	0	(0.0%)	3	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)
利用できる歯科診療所なし	（n=640）	40	(6.3%)	522	(81.6%)	97	(15.2%)	51	(8.0%)	34	(5.3%)	41	(6.4%)	87	(13.6%)
身体障害	（n=198）	6	(3.0%)	163	(82.3%)	33	(16.7%)	14	(7.1%)	13	(6.6%)	18	(9.1%)	30	(15.2%)
知的障害	（n=379）	20	(5.3%)	305	(80.5%)	66	(17.4%)	29	(7.7%)	21	(5.5%)	29	(7.7%)	54	(14.2%)
精神障害	（n=316）	19	(6.0%)	278	(88.0%)	45	(14.2%)	27	(8.5%)	16	(5.1%)	19	(6.0%)	23	(7.3%)
発達障害	（n=209）	16	(7.7%)	164	(78.5%)	23	(11.0%)	17	(8.1%)	8	(3.8%)	13	(6.2%)	29	(13.9%)
難病等	（n=39）	2	(5.1%)	35	(89.7%)	4	(10.3%)	3	(7.7%)	1	(2.6%)	2	(5.1%)	6	(15.4%)

*4：未回答含む

○実施していない理由のうち、他で実施されているとの回答（n=37）

・かかりつけ歯科医など歯科診療所で実施	13
・訪問歯科で対応	9
・行政の健診等の利用	8
・学校・保育園・幼稚園で実施	7

図10　歯科健診を実施していない理由（複数回答可）

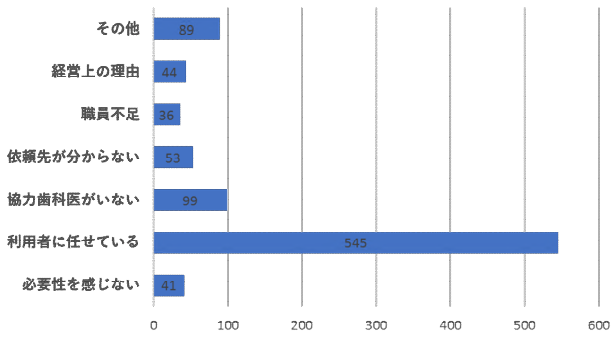


図10-1　歯科健診を実施していない理由（施設の種別）
（複数回答可）

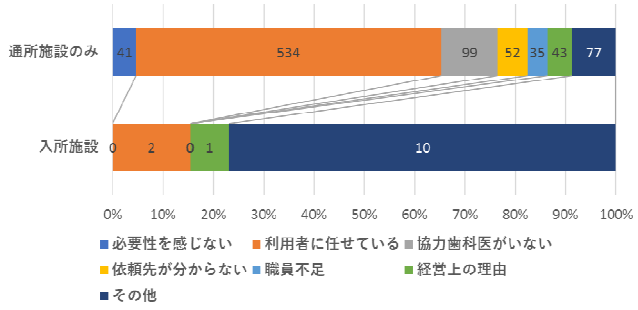


図10-2　歯科健診を実施していない理由（施設の規模別）
（複数回答可）

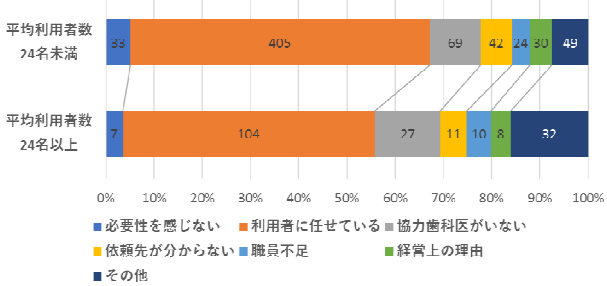


図10-3　歯科健診を実施していない理由（歯科職の有無別）
（複数回答可）

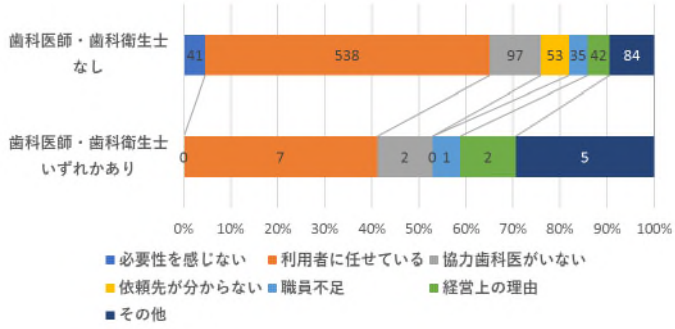


図10-4　歯科健診を実施していない理由（歯科診療所の有無別）（複数回答可）

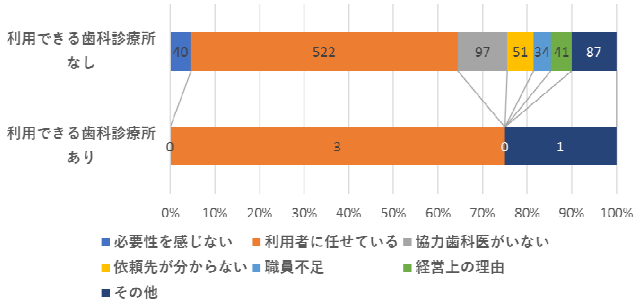
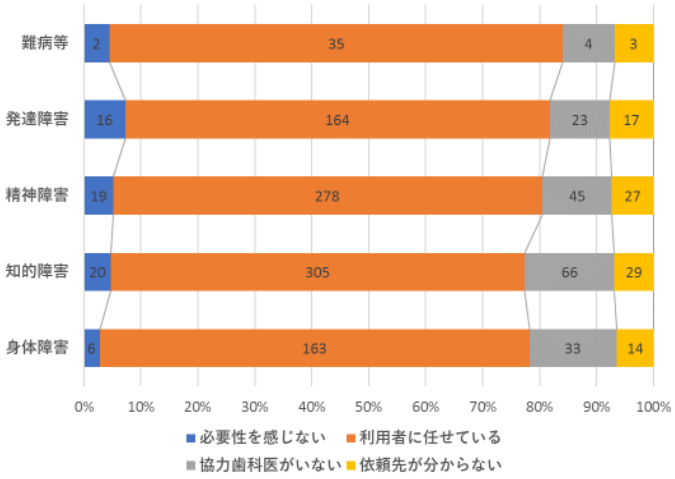


図10-5　歯科健診を実施していない理由（障害の種別）
（重複あり）



（2）実施するにあたり、望むこと

表11に歯科健診を実施するにあたり望むことを示す。最も多かったのは事業所実施ではなく個人で、が40.7%、次いで適切な医療機関を紹介、が21.7%であった。（図11）

施設の種別では入所施設はサンプル数が少なすぎるため、通所施設のみをみると、事業所実施ではなく個人で、適切な医療機関を紹介、健診実施の手順の順となっていた。すなわち、事業所自ら実施するのではない方法の優先順位が高いことが示された。（図11-1）

施設の規模別で見ると、平均利用者数24名以上では24名未満に比して、事業所実施ではなく個人でが少なく、適切な医療機関を紹介、健診実施の手順が多かった。（図11-2）施設規模が大きい方が事業所が主体的に関与使用とする傾向がみられた。

歯科職の有無別では、歯科職の配置ありはサンプル数が少ないものの、健診の実施手順と事業所実施ではなく個人でとの回答はなかった。（図11-3）利用できる歯科診療所がない場合には、やはり事業所実施ではなく個人でが最も多かった。（図11-4）

障害の種別では、概ね同様の傾向であった。（図11-5）

その他の要望として具体的に挙げられたのは、費用の問題と訪問を実施して欲しいが多かった。

図11　歯科健診を実施するにあたり望むこと（複数回答可）

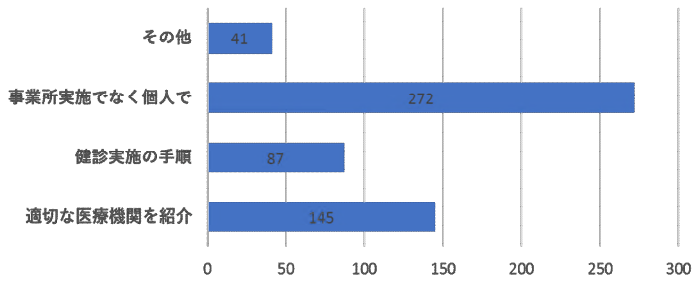


図11-1　歯科健診を実施するにあたり望むこと（施設の種別）
（複数回答可）

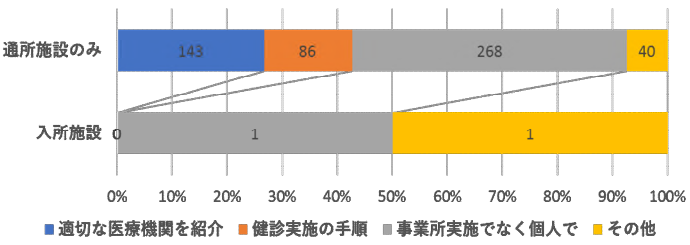


図11-2　歯科健診を実施するにあたり望むこと（施設の規模別）（複数回答可）

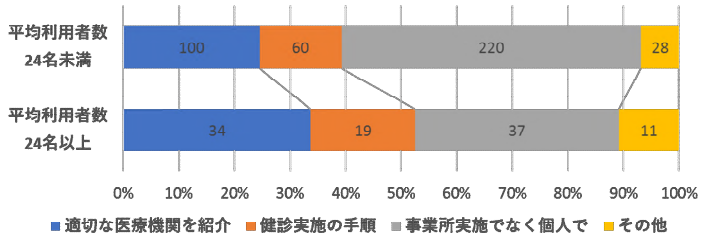


図11-3　歯科健診を実施するにあたり望むこと（歯科職の有無別）（複数回答可）

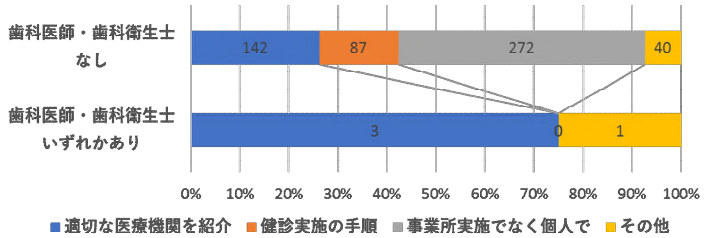


図11-4　歯科健診を実施するにあたり望むこと（歯科診療所の有無別）（複数回答可）

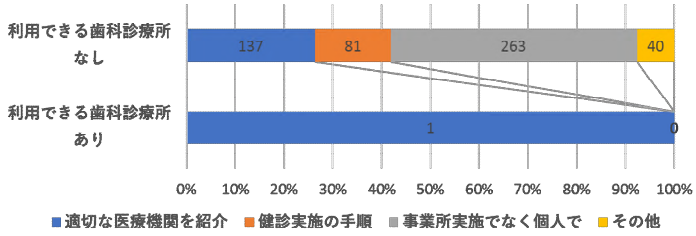


図11-5　歯科健診を実施するにあたり望むこと（障害の種別）（重複あり）

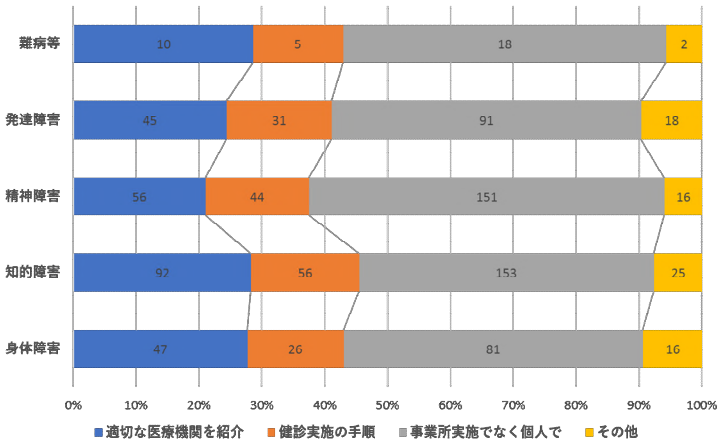


図11-6　歯科健診を実施するにあたり望むこと（実施しない理由別）（重複あり）

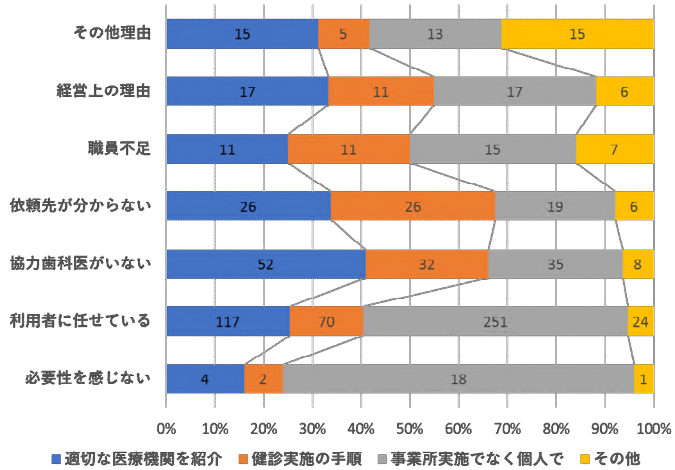


表11　歯科健診を実施するにあたり望むこと（複数回答可）

歯科健診の実施なし		適切な医療機関を紹介		健診実施の手順		事業所実施でなく個人で		その他	
総　数	(n=668)	145	(21.7%)	87	(13.0%)	272	(40.7%)	41	(6.1%)
入所施設	(n=12)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(8.3%)	1	(8.3%)
通所施設のみ	(n=645)	143	(22.2%)	86	(13.3%)	268	(41.6%)	40	(6.2%)
未回答	(n=11)	2	(18.2%)	1	(9.1%)	3	(27.3%)	0	(0.0%)
平均利用者数24名以上	(n=135)	34	(25.2%)	19	(14.1%)	37	(27.4%)	11	(8.1%)
平均利用者数24名未満	(n=487)	100	(20.5%)	60	(12.3%)	220	(45.2%)	28	(5.7%)
平均利用者数未回答	(n=46)	11	(23.9%)	8	(17.4%)	15	(32.6%)	2	(4.3%)
歯科医師あり	(n=9)	3	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)
常勤	(n=5)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)
非常勤	(n=8)	3	(37.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)
歯科医師なし	(n=659)	142	(21.5%)	87	(13.2%)	272	(41.3%)	40	(6.1%)
歯科衛生士あり	(n=4)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
常勤	(n=2)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
非常勤	(n=3)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
歯科衛生士なし	(n=664)	145	(21.8%)	87	(13.1%)	272	(41.0%)	41	(6.2%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=11)	3	(27.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(9.1%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=657)	142	(21.6%)	87	(13.2%)	272	(41.4%)	40	(6.1%)
利用できる歯科診療所あり	(n=3)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
利用できる歯科診療所なし	(n=640)	137	(21.4%)	81	(12.7%)	263	(41.1%)	40	(6.3%)
身体障害	(n=198)	47	(23.7%)	26	(13.1%)	81	(40.9%)	16	(8.1%)
知的障害	(n=379)	92	(24.3%)	56	(14.8%)	153	(40.4%)	25	(6.6%)
精神障害	(n=316)	56	(17.7%)	44	(13.9%)	151	(47.8%)	16	(5.1%)
発達障害	(n=209)	45	(21.5%)	31	(14.8%)	91	(43.5%)	18	(8.6%)
難病等	(n=39)	10	(25.6%)	5	(12.8%)	18	(46.2%)	2	(5.1%)
必要性を感じない	(n=41)	4	(9.8%)	2	(4.9%)	18	(43.9%)	1	(2.4%)
利用者に任せている	(n=545)	117	(21.5%)	70	(12.8%)	251	(46.1%)	24	(4.4%)
協力歯科医がいない	(n=99)	52	(52.5%)	32	(32.3%)	35	(35.4%)	8	(8.1%)
依頼先が分からない	(n=53)	26	(49.1%)	26	(49.1%)	19	(35.8%)	6	(11.3%)
職員不足	(n=36)	11	(30.6%)	11	(30.6%)	15	(41.7%)	7	(19.4%)
経営上の理由	(n=45)	17	(37.8%)	11	(24.4%)	17	(37.8%)	6	(13.3%)
その他理由	(n=89)	15	(16.9%)	5	(5.6%)	13	(14.6%)	15	(16.9%)

*4：未回答含む

（3）今後の歯科健診の実施予定、検討の有無

表12に今後の歯科健診の実施予定、検討状況を示す。今後、歯科健診の実施予定、実施を検討しているのは5.5%であった。（図12）

施設の種別（図12-1）、施設規模（図12-2）、歯科職の有無（図12-3）、障害の種別（図12-5）いずれも大きな傾向の違いはみられなかった。利用できる歯科診療所の有無では、サンプル数は少ないものの利用できる歯科診療所ありで3件すべてが予定、検討していないとの回答であった。（図12-4）この3件の歯科健診を実施していない理由はすべて、利用者に任せているであった。

実施しない理由別にみると、依頼先が分からない、協力歯科医がいない、職員不足といった理由では予定、検討をしている割合が高い傾向であった。（図12-6）具体的な対応策を示すことで、歯科健診を実施しようとする施設があるものと考えられる。

事業所実施でなく個人で健診に行くようにして欲しいは総数（n=972）に対し272件（28.0%）であり、歯科健診を実施している、実施予定を合わせると総数（n=972）に対し324件（33.3%）であった。また、他で実施されている43件を合わせると367件（37.8%）となることから、具体的な対応策を提示することで、4割程度の歯科健診実施が見込めるものと考えられる。

表12　今後の歯科健診の実施予定、検討状況

歯科健診の実施なし		している		していない		未回答	
総　数	（n=668）	37	(5.5%)	555	(83.1%)	76	(11.4%)
入所施設	（n=12）	1	(8.3%)	9	(75.0%)	2	(16.7%)
通所施設のみ	（n=645）	35	(5.4%)	540	(83.7%)	70	(10.9%)
未回答	（n=11）	1	(9.1%)	6	(54.5%)	4	(36.4%)
平均利用者数24名以上	（n=135）	10	(7.4%)	110	(81.5%)	15	(11.1%)
平均利用者数24名未満	（n=487）	26	(5.3%)	406	(83.4%)	55	(11.3%)
平均利用者数未回答	（n=46）	1	(2.2%)	39	(84.8%)	6	(13.0%)
歯科医師あり	（n=9）	1	(11.1%)	6	(66.7%)	2	(22.2%)
常勤	（n=5）	0	(0.0%)	4	(80.0%)	1	(20.0%)
非常勤	（n=8）	1	(12.5%)	5	(62.5%)	2	(25.0%)
歯科医師なし	（n=659）	36	(5.5%)	549	(83.3%)	74	(11.2%)
歯科衛生士あり	（n=4）	0	(0.0%)	4	(100.0%)	0	(0.0%)
常勤	（n=2）	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)
非常勤	（n=3）	0	(0.0%)	3	(100.0%)	0	(0.0%)
歯科衛生士なし	（n=664）	37	(5.6%)	551	(83.0%)	76	(11.4%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	（n=11）	1	(9.1%)	8	(72.7%)	2	(18.2%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	（n=657）	36	(5.5%)	547	(83.3%)	74	(11.3%)
利用できる歯科診療所あり	（n=3）	0	(0.0%)	3	(100.0%)	0	(0.0%)
利用できる歯科診療所なし	（n=640）	35	(5.5%)	535	(83.6%)	70	(10.9%)
身体障害	（n=198）	11	(5.6%)	165	(83.3%)	22	(11.1%)
知的障害	（n=379）	26	(6.9%)	316	(83.4%)	37	(9.8%)
精神障害	（n=316）	16	(5.1%)	269	(85.1%)	31	(9.8%)
発達障害	（n=209）	11	(5.3%)	178	(85.2%)	20	(9.6%)
難病等	（n=39）	1	(2.6%)	34	(87.2%)	4	(10.3%)
必要性を感じない	（n=41）	0	(0.0%)	33	(80.5%)	8	(19.5%)
利用者に任せている	（n=545）	24	(4.4%)	466	(85.5%)	55	(10.1%)
協力歯科医がいない	（n=99）	10	(10.1%)	74	(74.7%)	15	(15.2%)
依頼先が分からない	（n=53）	7	(13.2%)	38	(71.7%)	8	(15.1%)
職員不足	（n=36）	3	(8.3%)	24	(66.7%)	9	(25.0%)
経営上の理由	（n=45）	0	(0.0%)	38	(84.4%)	6	(13.3%)
その他理由	（n=89）	9	(10.1%)	70	(78.7%)	10	(11.2%)

*4：未回答含む

歯科健診を実施している・実施予定を合わせると総数（n=972）に対し324（33.3%）

他で実施されている43を合わせると367（37.8%）

図12　今後の歯科健診の実施予定、検討

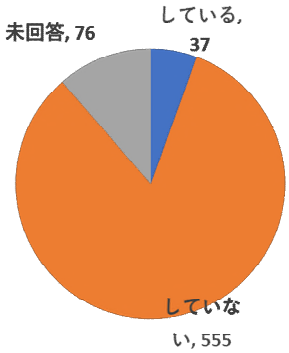


図12-1　今後の歯科健診の実施予定、検討（施設の種別）

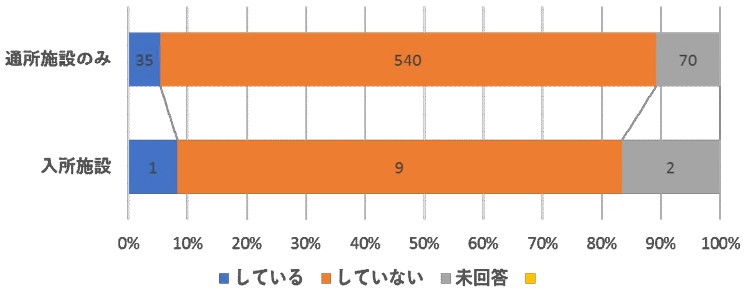


図12-2　今後の歯科健診の実施予定、検討（施設の規模別）

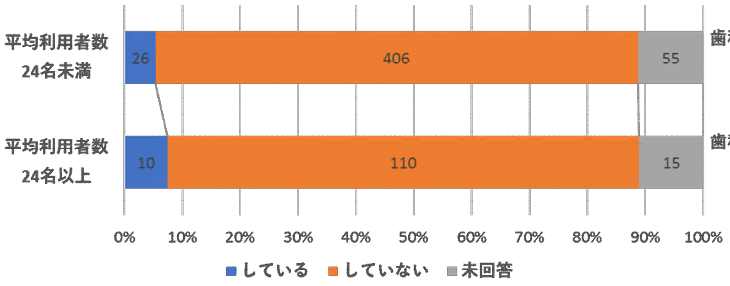


図12-3　今後の歯科健診の実施予定、検討（歯科職の有無別）

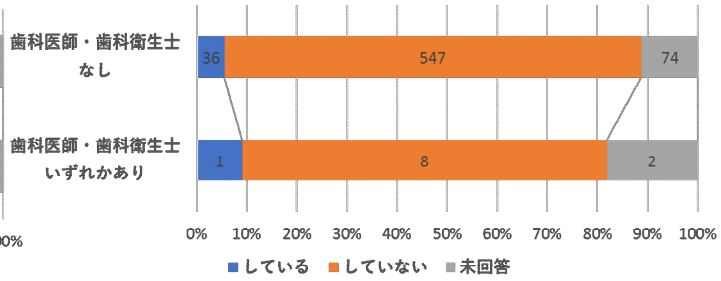


図12-4　今後の歯科健診の実施予定、検討
（歯科診療所の有無別）

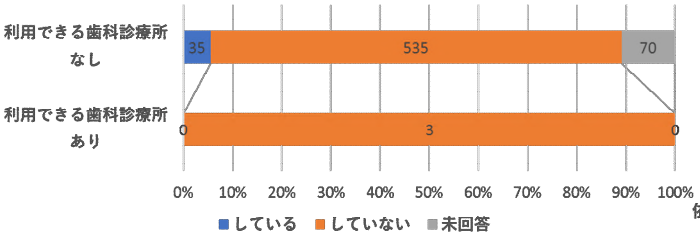


図12-5　今後の歯科健診の実施予定、検討（障害の種別）

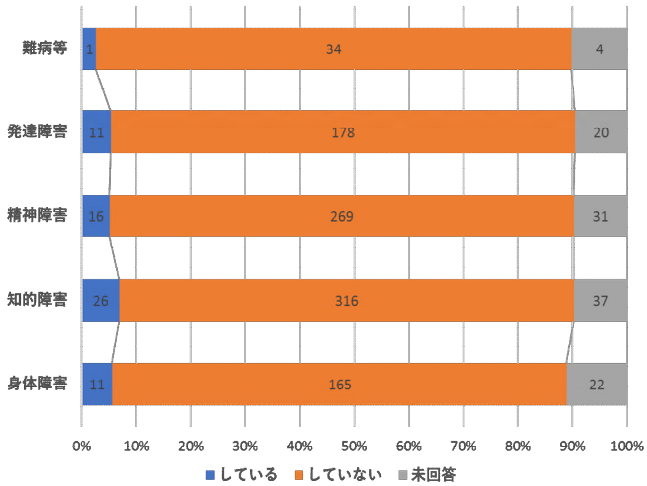
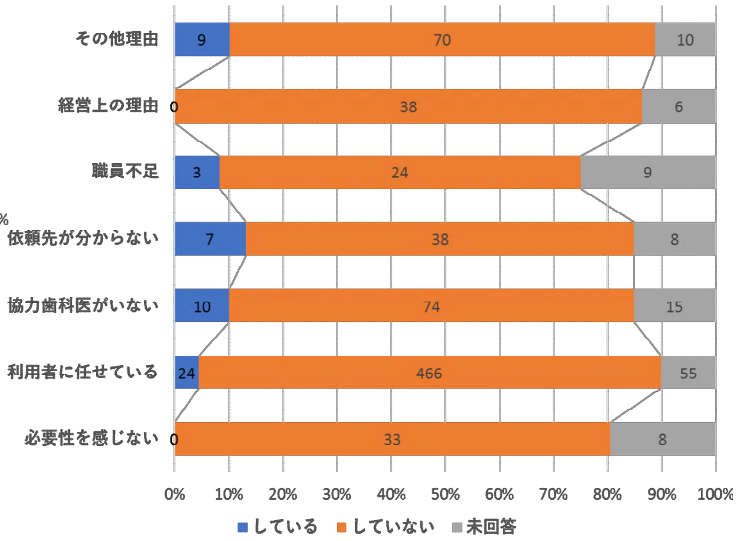


図12-6　今後の歯科健診の実施予定、検討（実施しない理由別）



3　利用者、ご家族等から歯科に関する相談を受けた場合の対応

相談を受ける頻度、内容

○相談を受ける頻度

表13に相談を受ける頻度を示す。あまり相談を受けないが最も多く、相談を受ける場合、1年に1～10回、すなわち1か月に1回に満たない頻度が最も多かった。（図13）反面、ほぼ毎日が5件あり、内訳は通所施設のみが4件、知的障害が4件、歯科職ありが2件、歯科健診の実施ありが3件であった。

施設の種別では通所施設のみで（図13-1）、施設の規模別では平均利用者数24名未満で（図13-2）、歯科職の有無別では歯科職なしで（図13-3）、利用できる歯科診療所の有無別では歯科診療所なしで（図13-4）、あまり相談を受けないが多かった。

障害の種別では、精神障害であまり相談を受けないが多く、難病等で相談を受ける頻度がやや多い傾向であった。（図13-5）

歯科健診を実施しない理由別にみると、必要性を感じない、利用者に任せている、経営上の理由で、あまり相談を受けないが多かった。（図13-6）歯科に対する需要が低いことがうかがわれる結果であったが、ニーズが少ないとは考えにくく、施設としての対応による現れ方と捉えるのが妥当だろう。

表13　歯科に関する相談を受ける頻度

		ほぼ毎日		1か月に（1～15）回		1年に（1～10）回		あまり相談を受けない		未回答	
総　数	(n=972)	5	(0.5%)	67	(6.9%)	170	(17.5%)	668	(68.7%)	62	(6.4%)
入所施設	(n=55)	1	(1.8%)	13	(23.6%)	15	(27.3%)	19	(34.5%)	7	(12.7%)
通所施設のみ	(n=894)	4	(0.4%)	53	(5.9%)	152	(17.0%)	638	(71.4%)	47	(5.3%)
未回答	(n=23)	0	(0.0%)	1	(4.3%)	3	(13.0%)	11	(47.8%)	8	(34.8%)
平均利用者数24名以上	(n=300)	2	(0.7%)	34	(11.3%)	82	(27.3%)	160	(53.3%)	22	(7.3%)
平均利用者数24名未満	(n=587)	2	(0.3%)	27	(4.6%)	74	(12.6%)	458	(78.0%)	26	(4.4%)
平均利用者数未回答	(n=85)	1	(1.2%)	6	(7.1%)	14	(16.5%)	50	(58.8%)	14	(16.5%)
歯科医師あり	(n=56)	2	(3.6%)	9	(16.1%)	19	(33.9%)	24	(42.9%)	2	(3.6%)
常勤	(n=13)	0	(0.0%)	1	(7.7%)	3	(23.1%)	8	(61.5%)	1	(7.7%)
非常勤	(n=55)	2	(3.6%)	9	(16.4%)	19	(34.5%)	23	(41.8%)	2	(3.6%)
歯科医師なし	(n=916)	3	(0.3%)	58	(6.3%)	151	(16.5%)	644	(70.3%)	60	(6.6%)
歯科衛生士あり	(n=22)	2	(9.1%)	4	(18.2%)	8	(36.4%)	6	(27.3%)	2	(9.1%)
常勤	(n=12)	2	(16.7%)	1	(8.3%)	3	(25.0%)	5	(41.7%)	1	(8.3%)
非常勤	(n=18)	2	(11.1%)	4	(22.2%)	6	(33.3%)	4	(22.2%)	2	(11.1%)
歯科衛生士なし	(n=950)	3	(0.3%)	63	(6.6%)	162	(17.1%)	662	(69.7%)	60	(6.3%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=60)	2	(3.3%)	9	(15.0%)	22	(36.7%)	25	(41.7%)	2	(3.3%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=912)	3	(0.3%)	58	(6.4%)	148	(16.2%)	643	(70.5%)	60	(6.6%)
利用できる歯科診療所あり	(n=17)	2	(11.8%)	3	(17.6%)	3	(17.6%)	7	(41.2%)	2	(11.8%)
利用できる歯科診療所なし	(n=907)	3	(0.3%)	60	(6.6%)	164	(18.1%)	635	(70.0%)	45	(5.0%)
身体障害	(n=283)	1	(0.4%)	21	(7.4%)	53	(18.7%)	186	(65.7%)	22	(7.8%)
知的障害	(n=609)	4	(0.7%)	37	(6.1%)	124	(20.4%)	405	(66.5%)	39	(6.4%)
精神障害	(n=363)	1	(0.3%)	23	(6.3%)	41	(11.3%)	281	(77.4%)	17	(4.7%)
発達障害	(n=264)	0	(0.0%)	17	(6.4%)	43	(16.3%)	185	(70.1%)	19	(7.2%)
難病等	(n=58)	0	(0.0%)	6	(10.3%)	11	(19.0%)	37	(63.8%)	4	(6.9%)
歯科健診あり	(n=287)	3	(1.0%)	34	(11.8%)	84	(29.3%)	155	(54.0%)	14	(4.9%)
歯科健診なし	(n=668)	2	(0.3%)	33	(4.9%)	86	(12.9%)	514	(76.9%)	38	(5.7%)
今後予定あり	(n=37)	0	(0.0%)	5	(13.5%)	7	(18.9%)	26	(70.3%)	1	(2.7%)
今後予定なし	(n=555)	2	(0.4%)	26	(4.7%)	69	(12.4%)	428	(77.1%)	33	(5.9%)
必要性を感じない	(n=41)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(14.6%)	34	(82.9%)	1	(2.4%)
利用者に任せている	(n=545)	2	(0.4%)	23	(4.2%)	58	(10.6%)	430	(78.9%)	32	(5.9%)
協力歯科医がいない	(n=99)	1	(1.0%)	7	(7.1%)	18	(18.2%)	68	(68.7%)	5	(5.1%)
依頼先が分からない	(n=53)	0	(0.0%)	5	(9.4%)	10	(18.9%)	35	(66.0%)	3	(5.7%)
職員不足	(n=36)	1	(2.8%)	2	(5.6%)	7	(19.4%)	25	(69.4%)	1	(2.8%)
経営上の理由	(n=45)	0	(0.0%)	2	(4.4%)	7	(15.6%)	33	(73.3%)	2	(4.4%)
その他理由	(n=89)	0	(0.0%)	11	(12.4%)	30	(33.7%)	46	(51.7%)	2	(2.2%)

*4：未回答含む

図13　歯科に関する相談を受ける頻度

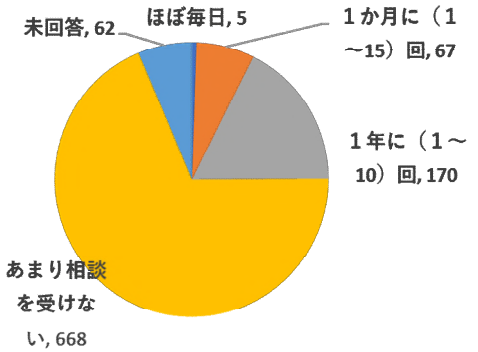


図13-1　歯科に関する相談を受ける頻度（施設の種別）

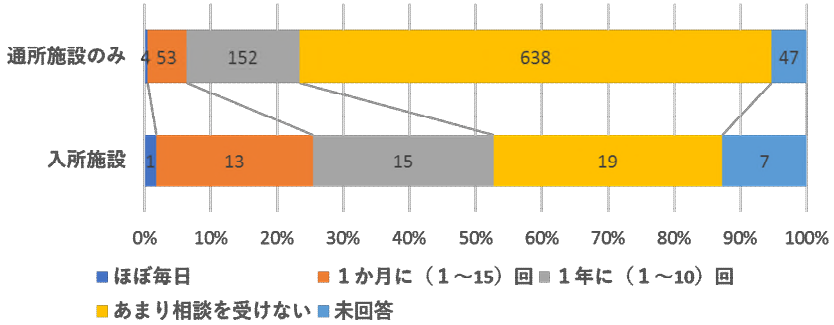


図13-2　歯科に関する相談を受ける頻度（施設の規模別）

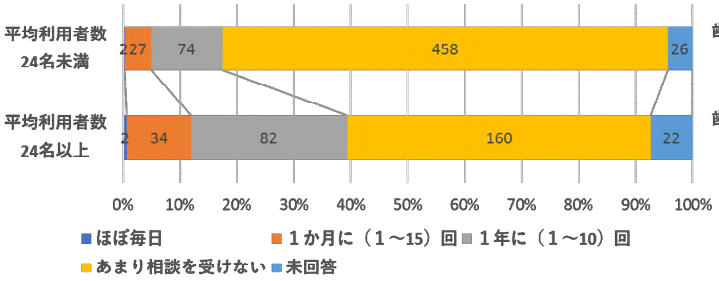


図13-3　歯科に関する相談を受ける頻度（歯科職の有無別）

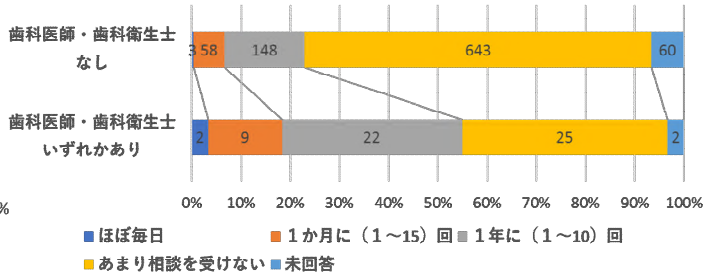


図13-4　歯科に関する相談を受ける頻度（歯科診療所の有無別）

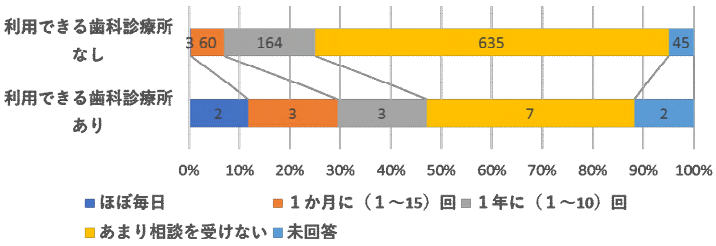


図13-5　歯科に関する相談を受ける頻度（障害の種別）

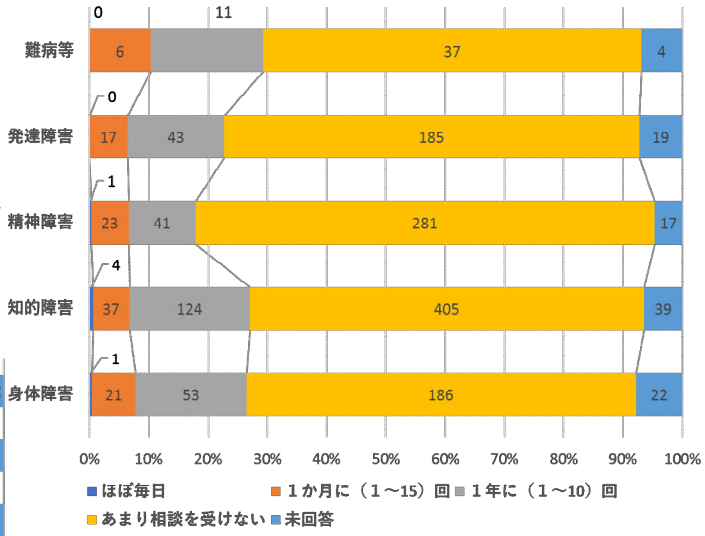
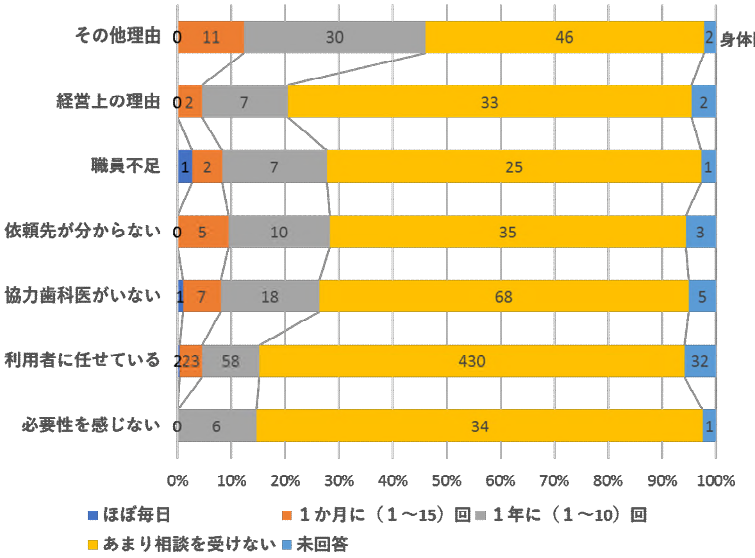


図13-6　歯科に関する相談を受ける頻度（実施しない理由別）



○相談の内容（複数回答可）

表14に歯科に関する相談内容を示す。最も多かったのは歯が痛いで、次いで咀嚼、義歯、飲み込めないといった咀嚼・嚥下に関する項目、最後に噛み合わせ、口臭、歯並びと3つの群に分かれた。（図14）

施設の種別にみると、入所施設では歯が痛いと義歯が通所施設のみに比べて多かった。一方、通所施設のみでは咀嚼、飲み込めないが多かった。（図14-1）

施設の規模別では、どの相談内容も平均利用者24名以上の方が多い傾向であり、相談内容の構成比率では平均利用者数24名以上で歯が痛いが少なく、義歯が多い傾向であった。（図14-2）

歯科職の有無別では、歯科職の配置がある方が、歯並び、噛み合わせといった専門性の高い相談が多い傾向であった。（図14-3）利用できる歯科診療所の有無別でも、歯科診療所ありで同様の傾向が認められた。（図14-4）

障害の種別では、精神障害で歯が痛いが顕著に多く、発達障害で義歯が少なかった。（図14-5）

その他に挙げられた内容は以下の通りであった。

・歯科診療所の情報・紹介　39件（4.0%）
・歯磨き･口腔ケア　36件（3.7%）
・歯科受診が困難、むし歯、補綴物･修復物の脱離、摂食や偏食、乳歯の生えかわり等

表14　歯科に関する相談内容（複数回答可）

		歯が痛い		歯並び		噛み合わせ		口臭		咀嚼		飲み込めない		義歯		その他	
総　数	(n=972)	183	(18.8%)	36	(3.7%)	47	(4.8%)	42	(4.3%)	104	(10.7%)	92	(9.5%)	98	(10.1%)	157	(16.2%)
入所施設	(n=55)	24	(43.6%)	4	(7.3%)	5	(9.1%)	4	(7.3%)	3	(5.5%)	4	(7.3%)	20	(36.4%)	13	(23.6%)
通所施設のみ	(n=894)	157	(17.6%)	31	(3.5%)	39	(4.4%)	37	(4.1%)	100	(11.2%)	88	(9.8%)	78	(8.7%)	141	(15.8%)
未回答	(n=23)	2	(8.7%)	1	(4.3%)	3	(13.0%)	1	(4.3%)	1	(4.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(13.0%)
平均利用者数24名以上	(n=300)	73	(24.3%)	17	(5.7%)	19	(6.3%)	17	(5.7%)	47	(15.7%)	44	(14.7%)	47	(15.7%)	69	(23.0%)
平均利用者数24名未満	(n=587)	96	(16.4%)	16	(2.7%)	26	(4.4%)	22	(3.7%)	49	(8.3%)	39	(6.6%)	41	(7.0%)	78	(13.3%)
平均利用者数未回答	(n=85)	14	(16.5%)	3	(3.5%)	2	(2.4%)	3	(3.5%)	8	(9.4%)	9	(10.6%)	10	(11.8%)	10	(11.8%)
歯科医師あり	(n=56)	11	(19.6%)	9	(16.1%)	11	(19.6%)	6	(10.7%)	10	(17.9%)	12	(21.4%)	4	(7.1%)	14	(25.0%)
常勤	(n=13)	2	(15.4%)	3	(23.1%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	3	(23.1%)	2	(15.4%)	1	(7.7%)	2	(15.4%)
非常勤	(n=55)	11	(20.0%)	9	(16.4%)	11	(20.0%)	6	(10.9%)	9	(16.4%)	11	(20.0%)	4	(7.3%)	14	(25.5%)
歯科医師なし	(n=916)	172	(18.8%)	27	(2.9%)	36	(3.9%)	36	(3.9%)	94	(10.3%)	80	(8.7%)	94	(10.3%)	143	(15.6%)
歯科衛生士あり	(n=22)	5	(22.7%)	6	(27.3%)	7	(31.8%)	5	(22.7%)	4	(18.2%)	5	(22.7%)	2	(9.1%)	10	(45.5%)
常勤	(n=12)	1	(8.3%)	5	(41.7%)	4	(33.3%)	3	(25.0%)	0	(0.0%)	1	(8.3%)	0	(0.0%)	5	(41.7%)
非常勤	(n=18)	4	(22.2%)	5	(27.8%)	6	(33.3%)	4	(22.2%)	4	(22.2%)	4	(22.2%)	2	(11.1%)	9	(50.0%)
歯科衛生士なし	(n=950)	178	(18.7%)	30	(3.2%)	40	(4.2%)	37	(3.9%)	100	(10.5%)	87	(9.2%)	96	(10.1%)	147	(15.5%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=60)	12	(20.0%)	9	(15.0%)	12	(20.0%)	6	(10.0%)	11	(18.3%)	15	(25.0%)	5	(8.3%)	16	(26.7%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=912)	171	(18.8%)	27	(3.0%)	35	(3.8%)	36	(3.9%)	93	(10.2%)	77	(8.4%)	93	(10.2%)	141	(15.5%)
利用できる歯科診療所あり	(n=17)	3	(17.6%)	4	(23.5%)	6	(35.3%)	2	(11.8%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	3	(17.6%)	8	(47.1%)
利用できる歯科診療所なし	(n=907)	174	(19.2%)	29	(3.2%)	40	(4.4%)	39	(4.3%)	100	(11.0%)	88	(9.7%)	94	(10.4%)	142	(15.7%)
身体障害	(n=283)	53	(18.7%)	11	(3.9%)	14	(4.9%)	16	(5.7%)	37	(13.1%)	43	(15.2%)	37	(13.1%)	43	(15.2%)
知的障害	(n=609)	112	(18.4%)	29	(4.8%)	28	(4.6%)	27	(4.4%)	73	(12.0%)	68	(11.2%)	59	(9.7%)	103	(16.9%)
精神障害	(n=363)	85	(23.4%)	7	(1.9%)	9	(2.5%)	18	(5.0%)	13	(3.6%)	19	(5.2%)	37	(10.2%)	35	(9.6%)
発達障害	(n=264)	39	(14.8%)	12	(4.5%)	13	(4.9%)	14	(5.3%)	39	(14.8%)	27	(10.2%)	10	(3.8%)	47	(17.8%)
難病等	(n=58)	9	(15.5%)	2	(3.4%)	5	(8.6%)	3	(5.2%)	5	(8.6%)	7	(12.1%)	6	(10.3%)	9	(15.5%)
歯科健診あり	(n=287)	67	(23.3%)	19	(6.6%)	24	(8.4%)	17	(5.9%)	50	(17.4%)	42	(14.6%)	44	(15.3%)	65	(22.6%)
歯科健診なし	(n=668)	116	(17.4%)	17	(2.5%)	23	(3.4%)	25	(3.7%)	54	(8.1%)	48	(7.2%)	52	(7.8%)	92	(13.8%)
今後予定あり	(n=37)	4	(10.8%)	2	(5.4%)	3	(8.1%)	2	(5.4%)	5	(13.5%)	5	(13.5%)	5	(13.5%)	6	(16.2%)
今後予定なし	(n=555)	101	(18.2%)	12	(2.2%)	17	(3.1%)	21	(3.8%)	41	(7.4%)	33	(5.9%)	42	(7.6%)	73	(13.2%)

*4：未回答含む

図14　歯科に関する相談内容（複数回答可）

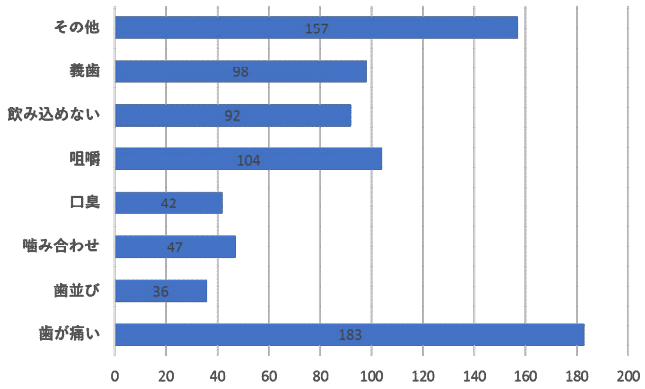


図14-1　歯科に関する相談内容（施設の種別）（複数回答可）

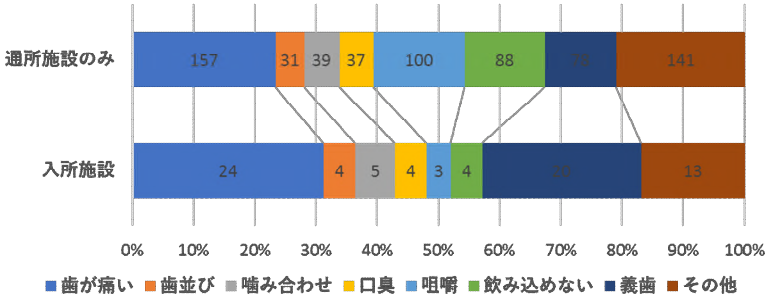


図14-2　歯科に関する相談内容（施設の規模別）（複数回答可）

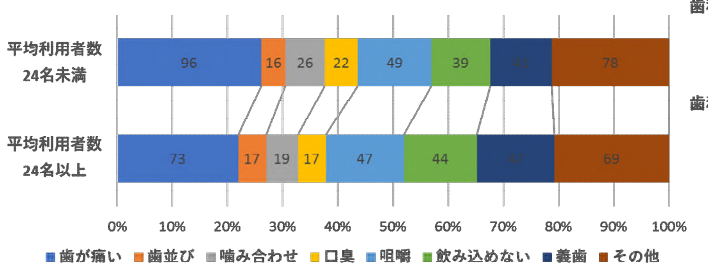


図14-3　歯科に関する相談内容（歯科職の有無別）（複数回答可）

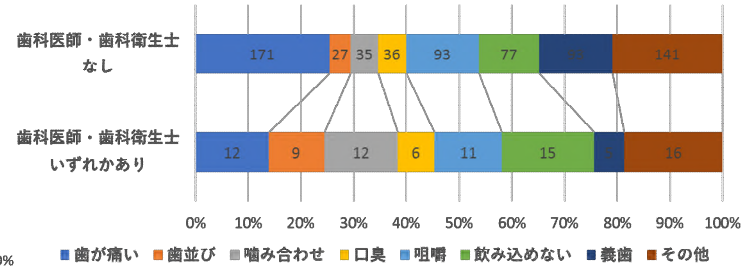


図14-4　歯科に関する相談内容（歯科診療所の有無別）（複数回答可）

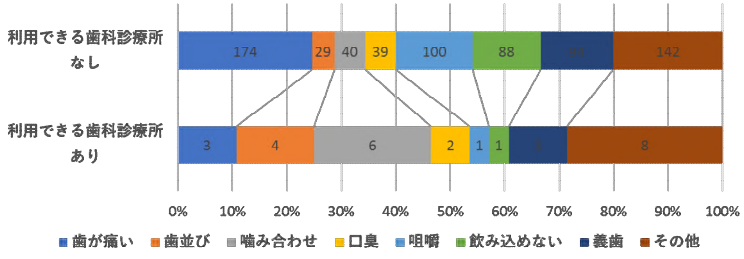
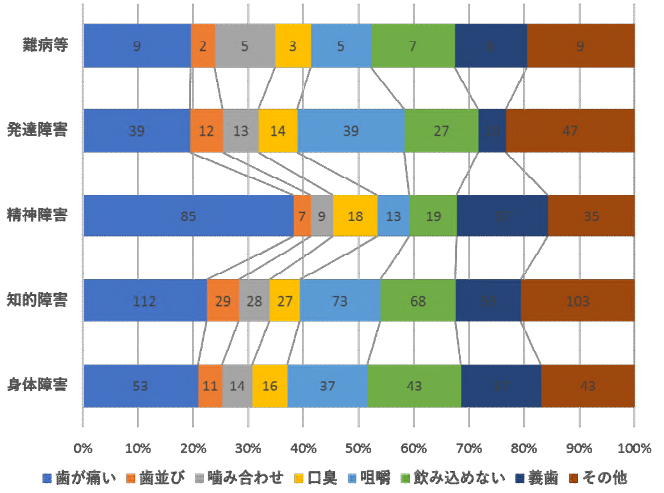


図14-5　歯科に関する相談内容（障害の種別）（重複あり）



（２）相談を受けた場合に対応する人（複数回答可）

表15に相談を受けた場合に誰が対応するのかを示す。事業所職員が79.6%と大半を占めた。（図15）

施設の種別にみると、入所施設では訪問に来る歯科医師等が相談に対応する割合が高かった。（図15-1）施設の規模別では、平均利用者数24名以上の方が、訪問に来る歯科医師等が対応する割合が高かった。（図15-2）

歯科職の有無では歯科職の配置がある方が（図15-3）、利用できる歯科診療所の有無では歯科診療所ありの方が（図15-4）、訪問に来る歯科医師等の割合が高かった。

障害の種別では、精神障害で事業所職員の割合が高かった。（図15-5）

相談対応するその他の職種として、生活支援員と看護師、サービス管理責任者が多く挙げられていた。

表15　相談を受けた場合に対応する人（複数回答可）

		事業所職員		訪問に来る歯科医師等		その他	
総　数	(n=972)	774	(79.6%)	73	(7.5%)	49	(5.0%)
入所施設	(n=55)	43	(78.2%)	20	(36.4%)	3	(5.5%)
通所施設のみ	(n=894)	717	(80.2%)	53	(5.9%)	46	(5.1%)
未回答	(n=23)	14	(60.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
平均利用者数24名以上	(n=300)	247	(82.3%)	44	(14.7%)	12	(4.0%)
平均利用者数24名未満	(n=587)	467	(79.6%)	22	(3.7%)	31	(5.3%)
平均利用者数未回答	(n=85)	60	(70.6%)	7	(8.2%)	6	(7.1%)
歯科医師あり	(n=56)	44	(78.6%)	11	(19.6%)	10	(17.9%)
常勤	(n=13)	10	(76.9%)	0	(0.0%)	1	(7.7%)
非常勤	(n=55)	44	(80.0%)	11	(20.0%)	9	(16.4%)
歯科医師なし	(n=916)	730	(79.7%)	62	(6.8%)	39	(4.3%)
歯科衛生士あり	(n=22)	20	(90.9%)	2	(9.1%)	5	(22.7%)
常勤	(n=12)	11	(91.7%)	1	(8.3%)	2	(16.7%)
非常勤	(n=18)	16	(88.9%)	1	(5.6%)	3	(16.7%)
歯科衛生士なし	(n=950)	754	(79.4%)	71	(7.5%)	44	(4.6%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=60)	48	(80.0%)	11	(18.3%)	12	(20.0%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=912)	726	(79.6%)	62	(6.8%)	37	(4.1%)
利用できる歯科診療所あり	(n=17)	15	(88.2%)	2	(11.8%)	2	(11.8%)
利用できる歯科診療所なし	(n=907)	733	(80.8%)	66	(7.3%)	43	(4.7%)
身体障害	(n=283)	230	(81.3%)	31	(11.0%)	20	(7.1%)
知的障害	(n=609)	502	(82.4%)	52	(8.5%)	35	(5.7%)
精神障害	(n=363)	283	(78.0%)	9	(2.5%)	12	(3.3%)
発達障害	(n=264)	200	(75.8%)	18	(6.8%)	20	(7.6%)
難病等	(n=58)	47	(81.0%)	6	(10.3%)	5	(8.6%)
歯科健診あり	(n=287)	238	(82.9%)	55	(19.2%)	24	(8.4%)
歯科健診なし	(n=668)	531	(79.5%)	18	(2.7%)	24	(3.6%)
今後予定あり	(n=37)	35	(94.6%)	2	(5.4%)	1	(2.7%)
今後予定なし	(n=555)	440	(79.3%)	14	(2.5%)	19	(3.4%)

*4：未回答含む

図15　相談を受けた場合に対応する方（複数回答可）

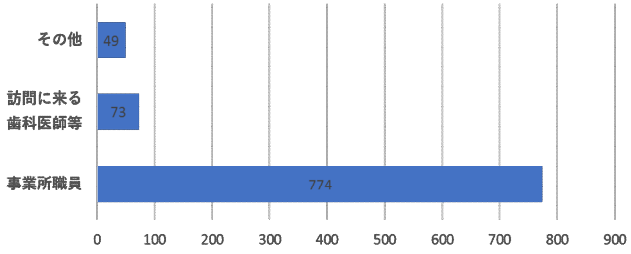


図15-1　相談を受けた場合に対応する方（施設の種別）（複数回答可）

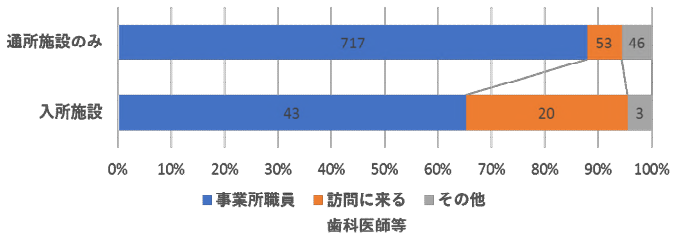


図15-2　相談を受けた場合に対応する方（施設の規模別）（複数回答可）

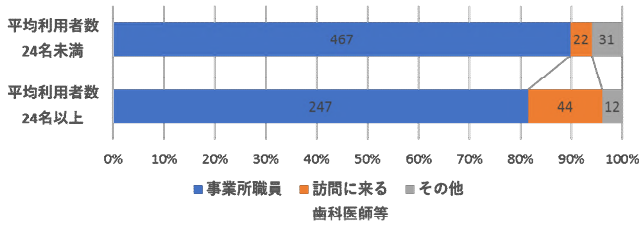


図15-3　相談を受けた場合に対応する方（歯科職の有無別）（複数回答可）

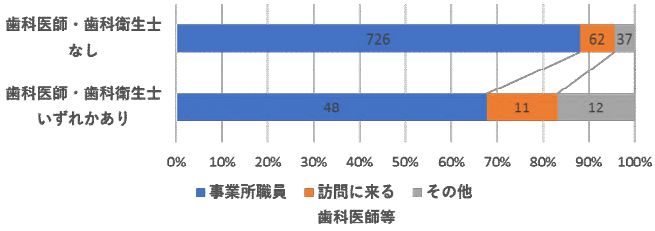


図15-4　相談を受けた場合に対応する方
（歯科診療所の有無別）（複数回答可）

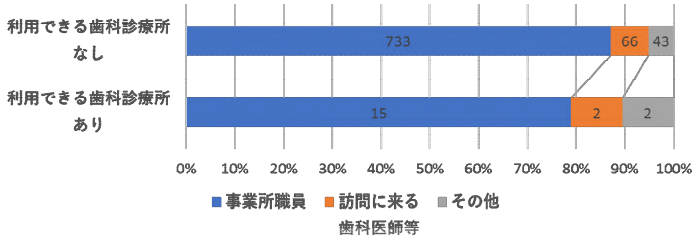
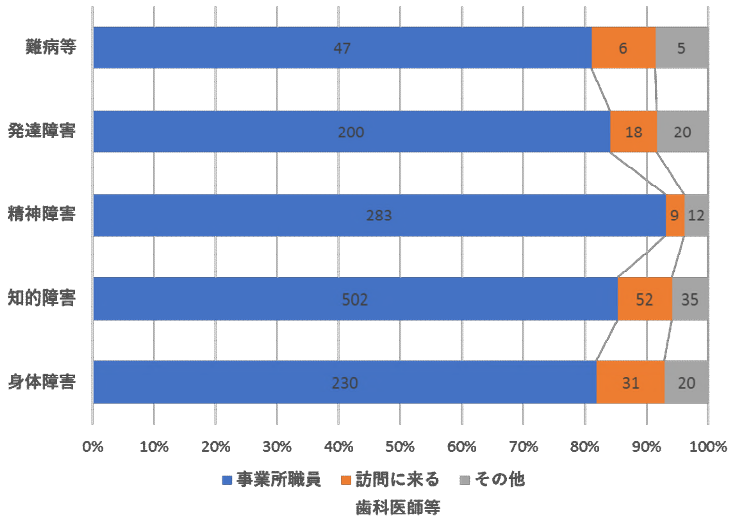


図15-5　相談を受けた場合に対応する方（障害の種別）
（重複あり）



（３）歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介するか

表16に歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介するかを示す。地域の歯科診療所が63.1%と最も多かった。区や市の地区口腔保健センター19.4%、東京都立心身障害者口腔保健センター15.5%が続いた。（図16）なお、区や市の地区口腔保健センター、東京都立心身障害者口腔保健センター、大学病院との回答は特別区に多い傾向であり、これは、立地条件によるものと考えられる。

施設の種別でみると、入所施設で東京都立心身障害者口腔保健センターが多い傾向が見られたが（図16-1）、特別区6件、市町村6件と特に立地条件による差はみられなかった。

施設の規模別では、平均利用者数24名以上で地域の歯科診療所が少なく、規模が大きい方が専門診療機関への受診を勧める傾向が見られた。（図16-2）

歯科職の有無別では歯科職の配置ありで（図16-3）、利用できる歯科診療所の有無別では歯科診療所ありで（図16-4）、事業所内の歯科診療所を紹介する割合が高かった。

障害の種別では、精神障害で地域の歯科診療所を紹介する割合が高かった。（図16-5）

また、どこを紹介すればよいか分からないが、14.7%の割合であり、通所施設のみ、平均利用者数24名未満、歯科職なし、利用できる歯科診療所なしで、割合が高かった。

表16　歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介するか（複数回答可）

		地域の歯科診療所		事業所内の歯科		区や市の地区口腔保健センター		東京都立心身障害者口腔保健センター		都立病院		公立病院		大学病院		その他民間病院		どこを紹介すれば良いか分からない		その他	
総　数	(n=972)	613	(63.1%)	12	(1.2%)	189	(19.4%)	151	(15.5%)	51	(5.2%)	10	(1.0%)	35	(3.6%)	38	(3.9%)	143	(14.7%)	102	(10.5%)
入所施設	(n=55)	36	(65.5%)	3	(5.5%)	11	(20.0%)	12	(21.8%)	4	(7.3%)	3	(5.5%)	2	(3.6%)	4	(7.3%)	0	(0.0%)	5	(9.1%)
通所施設のみ	(n=894)	571	(63.9%)	8	(0.9%)	173	(19.4%)	133	(14.9%)	43	(4.8%)	7	(0.8%)	33	(3.7%)	34	(3.8%)	140	(15.7%)	94	(10.5%)
未回答	(n=23)	6	(26.1%)	1	(4.3%)	5	(21.7%)	6	(26.1%)	4	(17.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(13.0%)	3	(13.0%)
平均利用者数24名以上	(n=300)	188	(62.7%)	6	(2.0%)	75	(25.0%)	79	(26.3%)	21	(7.0%)	7	(2.3%)	15	(5.0%)	8	(2.7%)	32	(10.7%)	35	(11.7%)
平均利用者数24名未満	(n=587)	375	(63.9%)	5	(0.9%)	98	(16.7%)	58	(9.9%)	26	(4.4%)	3	(0.5%)	16	(2.7%)	29	(4.9%)	102	(17.4%)	55	(9.4%)
平均利用者数未回答	(n=85)	50	(58.8%)	1	(1.2%)	16	(18.8%)	14	(16.5%)	4	(4.7%)	0	(0.0%)	4	(4.7%)	1	(1.2%)	9	(10.6%)	12	(14.1%)
歯科医師あり	(n=56)	30	(53.6%)	8	(14.3%)	9	(16.1%)	7	(12.5%)	10	(17.9%)	0	(0.0%)	6	(10.7%)	6	(10.7%)	5	(8.9%)	15	(26.8%)
常勤	(n=13)	4	(30.8%)	6	(46.2%)	1	(7.7%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	2	(15.4%)	1	(7.7%)
非常勤	(n=55)	30	(54.5%)	8	(14.5%)	9	(16.4%)	7	(12.7%)	10	(18.2%)	0	(0.0%)	6	(10.9%)	6	(10.9%)	5	(9.1%)	15	(27.3%)
歯科医師なし	(n=916)	583	(63.6%)	4	(0.4%)	180	(19.7%)	144	(15.7%)	41	(4.5%)	10	(1.1%)	29	(3.2%)	32	(3.5%)	138	(15.1%)	87	(9.5%)
歯科衛生士あり	(n=22)	7	(31.8%)	7	(31.8%)	3	(13.6%)	3	(13.6%)	4	(18.2%)	0	(0.0%)	2	(9.1%)	3	(13.6%)	1	(4.5%)	7	(31.8%)
常勤	(n=12)	2	(16.7%)	6	(50.0%)	2	(16.7%)	2	(16.7%)	1	(8.3%)	0	(0.0%)	1	(8.3%)	1	(8.3%)	1	(8.3%)	3	(25.0%)
非常勤	(n=18)	6	(33.3%)	7	(38.9%)	1	(5.6%)	1	(5.6%)	3	(16.7%)	0	(0.0%)	1	(5.6%)	2	(11.1%)	0	(0.0%)	5	(27.8%)
歯科衛生士なし	(n=950)	606	(63.8%)	5	(0.5%)	186	(19.6%)	148	(15.6%)	47	(4.9%)	10	(1.1%)	33	(3.5%)	35	(3.7%)	142	(14.9%)	95	(10.0%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=60)	32	(53.3%)	8	(13.3%)	10	(16.7%)	9	(15.0%)	10	(16.7%)	0	(0.0%)	6	(10.0%)	6	(10.0%)	5	(8.3%)	16	(26.7%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=912)	581	(63.7%)	4	(0.4%)	179	(19.6%)	142	(15.6%)	41	(4.5%)	10	(1.1%)	29	(3.2%)	32	(3.5%)	138	(15.1%)	86	(9.4%)
利用できる歯科診療所あり	(n=17)	3	(17.6%)	8	(47.1%)	1	(5.9%)	3	(17.6%)	1	(5.9%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	3	(17.6%)
利用できる歯科診療所なし	(n=907)	586	(64.6%)	4	(0.4%)	185	(20.4%)	142	(15.7%)	47	(5.2%)	10	(1.1%)	33	(3.6%)	33	(3.6%)	138	(15.2%)	92	(10.1%)
身体障害	(n=283)	164	(58.0%)	6	(2.1%)	62	(21.9%)	59	(20.8%)	19	(6.7%)	4	(1.4%)	16	(5.7%)	15	(5.3%)	46	(16.3%)	41	(14.5%)
知的障害	(n=609)	374	(61.4%)	11	(1.8%)	142	(23.3%)	129	(21.2%)	38	(6.2%)	8	(1.3%)	28	(4.6%)	24	(3.9%)	93	(15.3%)	64	(10.5%)
精神障害	(n=363)	263	(72.5%)	1	(0.3%)	39	(10.7%)	24	(6.6%)	11	(3.0%)	2	(0.6%)	8	(2.2%)	13	(3.6%)	54	(14.9%)	27	(7.4%)
発達障害	(n=264)	159	(60.2%)	2	(0.8%)	37	(14.0%)	29	(11.0%)	14	(5.3%)	2	(0.8%)	14	(5.3%)	7	(2.7%)	54	(20.5%)	30	(11.4%)
難病等	(n=58)	42	(72.4%)	1	(1.7%)	7	(12.1%)	5	(8.6%)	5	(8.6%)	1	(1.7%)	4	(6.9%)	2	(3.4%)	8	(13.8%)	8	(13.8%)
歯科健診あり	(n=287)	200	(69.7%)	9	(3.1%)	72	(25.1%)	71	(24.7%)	25	(8.7%)	4	(1.4%)	20	(7.0%)	13	(4.5%)	18	(6.3%)	36	(12.5%)
歯科健診なし	(n=668)	411	(61.5%)	3	(0.4%)	115	(17.2%)	80	(12.0%)	26	(3.9%)	6	(0.9%)	14	(2.1%)	25	(3.7%)	124	(18.6%)	65	(9.7%)
今後予定あり	(n=37)	22	(59.5%)	0	(0.0%)	8	(21.6%)	6	(16.2%)	1	(2.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(8.1%)	8	(21.6%)	6	(16.2%)
今後予定なし	(n=555)	345	(62.2%)	3	(0.5%)	94	(16.9%)	62	(11.2%)	21	(3.8%)	4	(0.7%)	11	(2.0%)	16	(2.9%)	101	(18.2%)	49	(8.8%)

*4：未回答含む

図16　歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介するか（複数回答可）

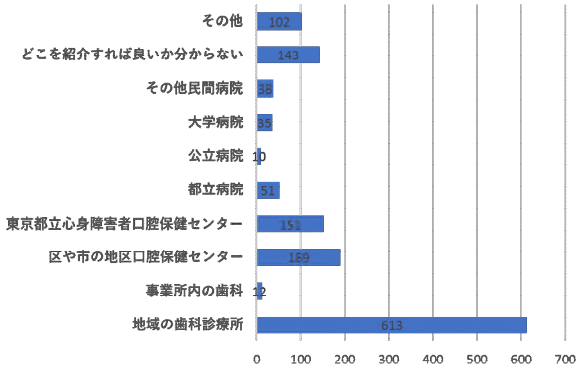


図16-1　歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介するか（施設の種別）（複数回答可）

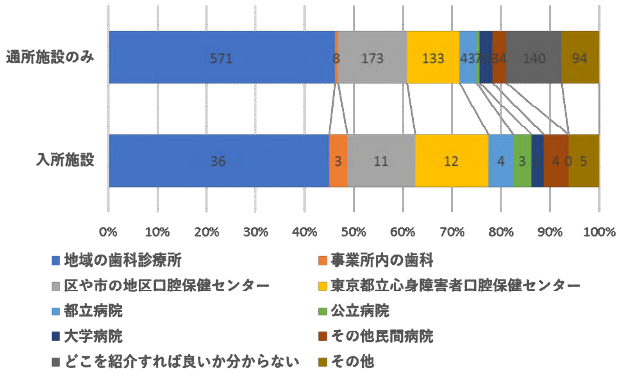


図16-2　歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介するか（施設の規模別）（複数回答可）

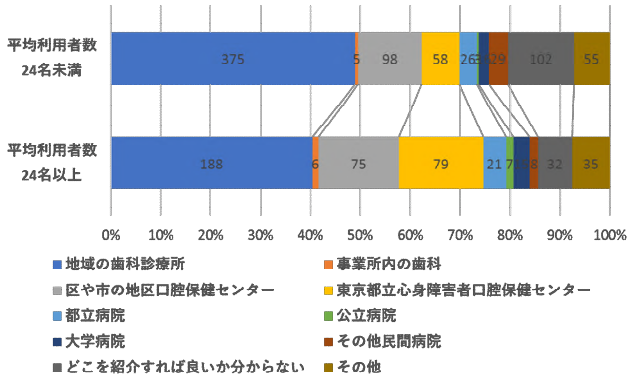


図16-3　歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介するか（歯科職の有無別）（複数回答可）

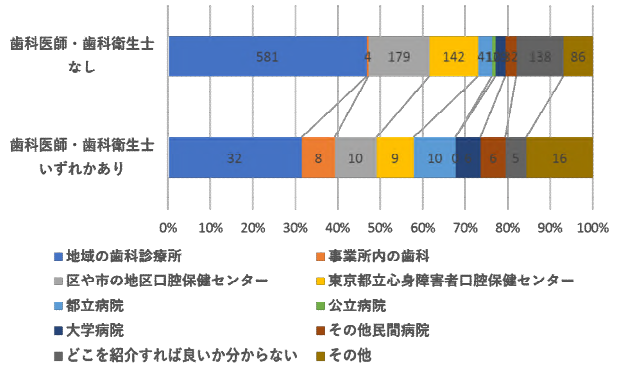


図16-4　歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介するか（歯科診療所の有無別）（複数回答可）

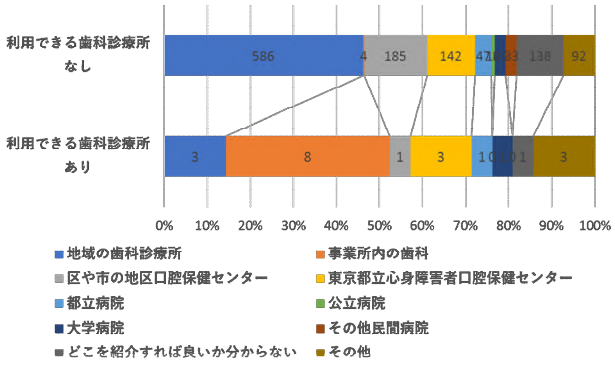
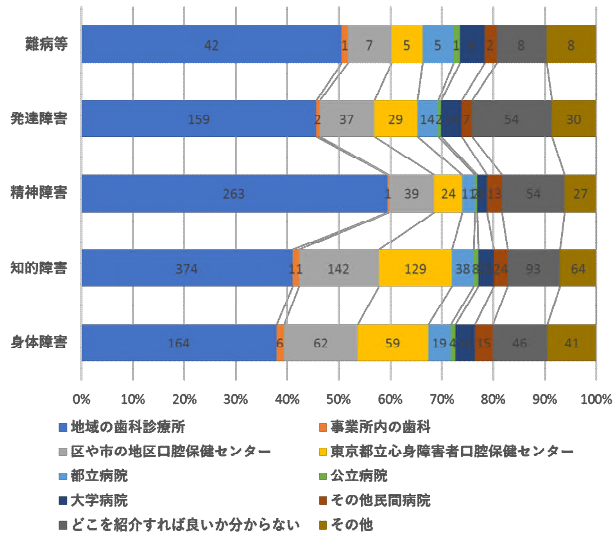


図16-5　歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介するか（障害の種別）（重複あり）



（４）紹介先の歯科医療機関の情報をどのように入手したか（複数回答可）

表17に紹介先の歯科医療機関の情報をどのように入手したかを示す。区市町村からの紹介が18.5%と最も多く、次いで訪問に来る歯科医師の紹介10.2%、関連のある医科の先生の紹介9.5%であった。（図17）

施設の種別では、入所施設で訪問に来る歯科医師の紹介と関連のある医科の先生の紹介が多く、通所施設のみでは区市町村からの紹介とその他が多かった。（図17-1）

施設の規模別では、平均利用者数24名以上では訪問に来る歯科医師の紹介と関連のある医科の先生の紹介が多く、24名未満では区市町村からの紹介とその他が多かった。（図17-2）

歯科職の有無別では、歯科職ありでは訪問に来る歯科医師の紹介と関連のある医科の先生の紹介が多く、歯科職なしでは区市町村からの紹介とその他が多かった。（図17-3）

利用できる歯科診療所の有無別では、歯科診療所ありでは訪問に来る歯科医師の紹介と関連のある医科の先生の紹介が多く、歯科診療所なしでは区市町村からの紹介とその他が多かった。（図17-4）

上記の通り、情報源が「訪問に来る歯科医師の紹介と関連のある医科の先生の紹介」と「区市町村からの紹介」に二分される傾向にあることが示された。

障害の種別では、精神障害でその他が多く、訪問に来る歯科医師の紹介が少なかった。（図17-5）

その他に挙げられたのは以下の通りである。

・他の利用者やその家族等からのクチコミ　103件（10.6%）

・インターネット検索やHP等　71件（7.3%）

行政からの紹介が最も多かったものの、その他の自由記載である、クチコミやインターネット検索・HPからの情報も多かった。一方で、東京都医療機関案内サービスひまわりや学会、東京都立心身障害者口腔保健センターといった特定のHPからの情報は少なかった。

表17　紹介する歯科医療機関の情報をどのように入手したか（複数回答可）

		訪問に来る歯科医師の紹介		区市町村からの紹介		関連のある医科の先生の紹介		東京都医療機関案内サービスひまわり		日本障害者歯科学会のHP		東京都立心身障害者口腔保健センターのHP		その他	
総　数	(n=972)	99	(10.2%)	180	(18.5%)	92	(9.5%)	17	(1.7%)	24	(2.5%)	53	(5.5%)	303	(31.2%)
入所施設	(n=55)	26	(47.3%)	5	(9.1%)	9	(16.4%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)	2	(3.6%)	11	(20.0%)
通所施設のみ	(n=894)	73	(8.2%)	174	(19.5%)	82	(9.2%)	17	(1.9%)	23	(2.6%)	50	(5.6%)	285	(31.9%)
未回答	(n=23)	0	(0.0%)	1	(4.3%)	1	(4.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(4.3%)	7	(30.4%)
平均利用者数24名以上	(n=300)	66	(22.0%)	54	(18.0%)	37	(12.3%)	5	(1.7%)	7	(2.3%)	22	(7.3%)	79	(26.3%)
平均利用者数24名未満	(n=587)	26	(4.4%)	115	(19.6%)	47	(8.0%)	10	(1.7%)	16	(2.7%)	27	(4.6%)	196	(33.4%)
平均利用者数未回答	(n=85)	7	(8.2%)	11	(12.9%)	8	(9.4%)	2	(2.4%)	1	(1.2%)	4	(4.7%)	28	(32.9%)
歯科医師あり	(n=56)	17	(30.4%)	8	(14.3%)	12	(21.4%)	0	(0.0%)	2	(3.6%)	2	(3.6%)	14	(25.0%)
常勤	(n=13)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	4	(30.8%)
非常勤	(n=55)	17	(30.9%)	8	(14.5%)	12	(21.8%)	0	(0.0%)	2	(3.6%)	2	(3.6%)	14	(25.5%)
歯科医師なし	(n=916)	82	(9.0%)	172	(18.8%)	80	(8.7%)	17	(1.9%)	22	(2.4%)	51	(5.6%)	289	(31.6%)
歯科衛生士あり	(n=22)	4	(18.2%)	4	(18.2%)	5	(22.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(18.2%)
常勤	(n=12)	0	(0.0%)	2	(16.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(25.0%)
非常勤	(n=18)	4	(22.2%)	2	(11.1%)	5	(27.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(16.7%)
歯科衛生士なし	(n=950)	95	(10.0%)	176	(18.5%)	87	(9.2%)	17	(1.8%)	24	(2.5%)	53	(5.6%)	299	(31.5%)
歯科医師・歯科衛生士いずれかあり	(n=60)	19	(31.7%)	10	(16.7%)	12	(20.0%)	0	(0.0%)	2	(3.3%)	2	(3.3%)	15	(25.0%)
歯科医師・歯科衛生士なし*4	(n=912)	80	(8.8%)	170	(18.6%)	80	(8.8%)	17	(1.9%)	22	(2.4%)	51	(5.6%)	288	(31.6%)
利用できる歯科診療所あり	(n=17)	2	(11.8%)	2	(11.8%)	3	(17.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(11.8%)	4	(23.5%)
利用できる歯科診療所なし	(n=907)	91	(10.0%)	169	(18.6%)	83	(9.2%)	16	(1.8%)	21	(2.3%)	48	(5.3%)	291	(32.1%)
身体障害	(n=283)	39	(13.8%)	51	(18.0%)	32	(11.3%)	4	(1.4%)	8	(2.8%)	22	(7.8%)	82	(29.0%)
知的障害	(n=609)	73	(12.0%)	114	(18.7%)	62	(10.2%)	7	(1.1%)	17	(2.8%)	43	(7.1%)	183	(30.0%)
精神障害	(n=363)	14	(3.9%)	73	(20.1%)	29	(8.0%)	9	(2.5%)	9	(2.5%)	15	(4.1%)	126	(34.7%)
発達障害	(n=264)	23	(8.7%)	46	(17.4%)	22	(8.3%)	4	(1.5%)	8	(3.0%)	13	(4.9%)	80	(30.3%)
難病等	(n=58)	8	(13.8%)	13	(22.4%)	8	(13.8%)	0	(0.0%)	1	(1.7%)	3	(5.2%)	21	(36.2%)
歯科健診あり	(n=287)	84	(29.3%)	58	(20.2%)	41	(14.3%)	1	(0.3%)	3	(1.0%)	18	(6.3%)	86	(30.0%)
歯科健診なし	(n=668)	15	(2.2%)	120	(18.0%)	51	(7.6%)	14	(2.1%)	21	(3.1%)	35	(5.2%)	216	(32.3%)
今後予定あり	(n=37)	3	(8.1%)	7	(18.9%)	11	(29.7%)	2	(5.4%)	1	(2.7%)	2	(5.4%)	8	(21.6%)
今後予定なし	(n=555)	11	(2.0%)	99	(17.8%)	31	(5.6%)	10	(1.8%)	18	(3.2%)	30	(5.4%)	181	(32.6%)
地域の歯科診療所	(n=613)	75	(12.2%)	130	(21.2%)	80	(13.1%)	15	(2.4%)	22	(3.6%)	27	(4.4%)	244	(39.8%)
事業所内の歯科診療所	(n=12)	2	(16.7%)	1	(8.3%)	1	(8.3%)	1	(8.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(33.3%)
区や市の地区口腔保健センター	(n=189)	30	(15.9%)	80	(42.3%)	23	(12.2%)	7	(3.7%)	10	(5.3%)	27	(14.3%)	41	(21.7%)
東京都立心身障害者口腔保健センター	(n=151)	22	(14.6%)	33	(21.9%)	17	(11.3%)	3	(2.0%)	9	(6.0%)	41	(27.2%)	54	(35.8%)
都立病院	(n=51)	10	(19.6%)	12	(23.5%)	15	(29.4%)	2	(3.9%)	3	(5.9%)	4	(7.8%)	24	(47.1%)
公立病院	(n=10)	3	(30.0%)	5	(50.0%)	4	(40.0%)	0	(0.0%)	2	(20.0%)	0	(0.0%)	2	(20.0%)
大学病院	(n=35)	9	(25.7%)	11	(31.4%)	9	(25.7%)	1	(2.9%)	3	(8.6%)	4	(11.4%)	12	(34.3%)
その他民間病院	(n=38)	5	(13.2%)	5	(13.2%)	10	(26.3%)	1	(2.6%)	4	(10.5%)	3	(7.9%)	17	(44.7%)
どこを紹介すれば良いか分からない	(n=143)	2	(1.4%)	7	(4.9%)	5	(3.5%)	1	(0.7%)	1	(0.7%)	4	(2.8%)	23	(16.1%)
その他	(n=102)	7	(6.9%)	13	(12.7%)	8	(7.8%)	2	(2.0%)	1	(1.0%)	2	(2.0%)	36	(35.3%)

*4：未回答含む

図17　紹介する歯科医療機関の情報をどのように入手したか
（複数回答可）

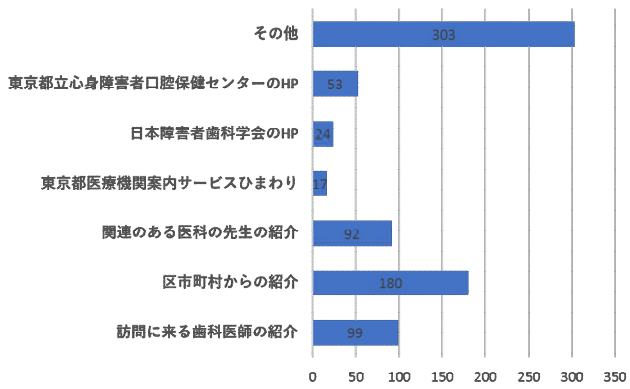


図17-1　紹介する歯科医療機関の情報をどのように入手したか
（施設の種別）（複数回答可）

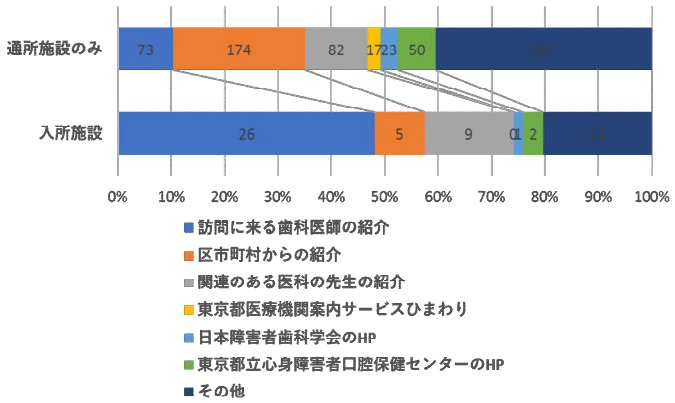


図17-2　紹介する歯科医療機関の情報をどのように入手したか
（施設の規模別）（複数回答可）

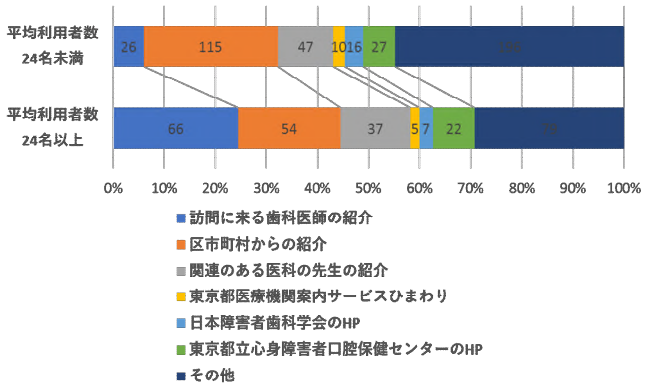


図17-3　紹介する歯科医療機関の情報をどのように入手したか
（歯科職の有無別）（複数回答可）

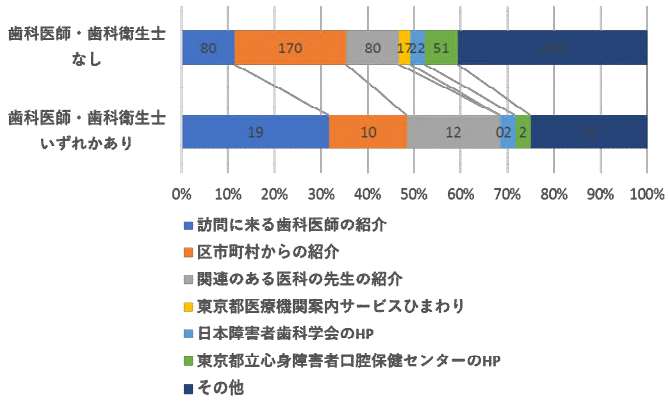


図17-4　紹介する歯科医療機関の情報をどのように入手したか
（歯科診療所の有無別）（複数回答可）

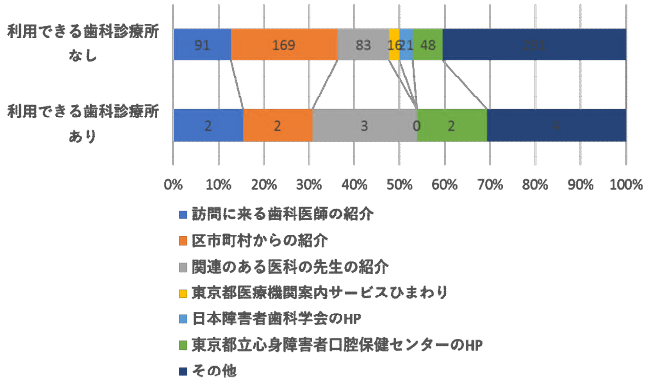
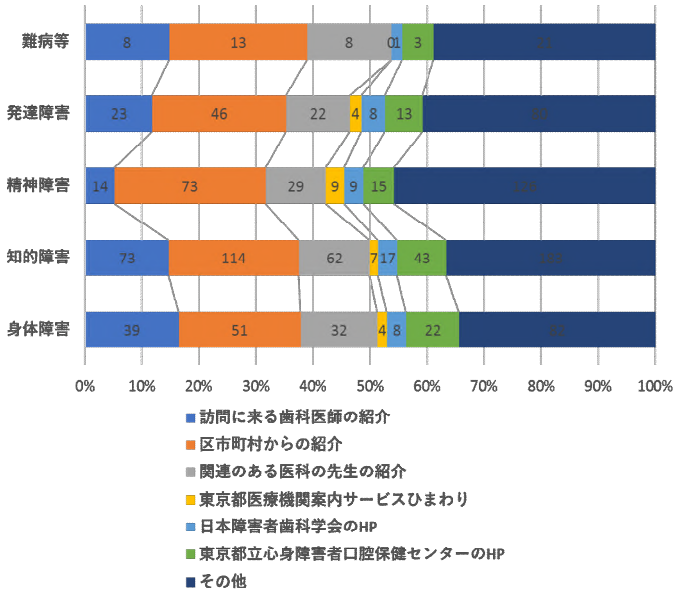


図17-5　紹介する歯科医療機関の情報をどのように入手したか
（障害の種別）（重複あり）



4　自由意見

自由意見として、以下の回答が多く挙げられた。

・障害に対応できる歯科診療所の普及
・費用の問題
・訪問歯科診療の増加
・交通手段の確保・職員への口腔ケアの研修実施

各事業所の人的・金銭的体制や区市町村行政の助成、専門歯科医療機関の立地など、実施困難と思われる項目も散見されるが、歯科保健のニーズに関する普及啓発や適切な医療機関の紹介体制の構築、地域の歯科診療所での受入体制と情報提供の拡充といった方策により、各事業所における体制を大きく変更することなく、障害者施設における歯科健診等のより一層の普及を見込むことができるものと考える。

歯と口に関するアンケート調査

障害がある方の歯と口の状態がより良くなるよう、アンケート調査を実施いたします。
調査結果については、ご本人や施設名が特定されない形で公表させていただくとともに、東京都が取り組む事業の参考として活用させていただきます。ご協力をお願いいたします。

（　東京都 福祉保健局 医療政策部 ・ 東京都立心身障害者口腔保健センター　）

【施設職員記入欄】

お手数をおかけしますが、以下（ａ）～（ｅ）（この調査にご回答いただいた利用者様の状況）については、施設職員の方がお答えください。

(a)性別をお答えください。
男性　　・　　女性

(b)年齢をお答えください。
10代以下 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上

(c)障害の種別及び等級をお答えください。(複数回答可)
身体障害者 ・ 知的障害者 ・ 精神障害者 ・ 発達障害 ・ 難病等
身体障害者手帳(　)級 ・ 愛の手帳 第(　)種 (　)度 ・ 精神障害者保健福祉手帳(　)級

(d)所属されている事業種別をお答えください。(複数回答可)
児童発達支援事業所 ・ 福祉型児童発達支援センター ・ 医療型児童発達支援センター ・
居宅訪問型児童発達支援事業所 ・ 福祉型障害児入所施設 ・ 医療型障害児入所施設 ・
施設入所支援・生活介護・自立訓練(機能訓練)・自立訓練(生活訓練)・宿泊型自立訓練・
就労継続支援A型 ・ 就労継続支援B型 ・ 就労移行支援 ・ 地域活動支援センター ・
グループホーム ・ いずれも利用していない ・ その他(具体的に:　　)

(e)現在、一般就労されているかお答えください。
働いている　　・　　働いていない

１　ここから先は、ご本人か施設職員、ご家族等がお答えください。
<u>※当てはまるものを〇で囲ってください。(アンケートは全部で4ページあります。)</u>

（１）このアンケートについて、１人で回答していますか。
１人で回答している　・　施設職員や家族など他の人に手伝ってもらい回答している

（２）現在、歯や口に関して、困っていることはありますか。（いくつでも選択可能）
歯が痛い ・ 歯並びが気になる ・ かみ合わせが良くない ・ 口臭が気になる ・
歯肉のはれ ・ 歯肉からの出血 ・ 物がうまくかめない ・ 物がうまく飲みこめない ・
入れ歯が合わない ・ 特にない ・
その他（何かあればご記入ください:　　）

2　歯科診療所などの歯科医療機関に通っていますか。

通っている（（ア），（イ），（ウ），（エ），（オ），（カ）は、通っている人が答えてください。）

（ア）通っている回数はどれくらいですか。①～③のいずれかを選び、（　　）内に数字を記入してください。

①　月に（　　）回　・　②　年に（　　）回　・　③　数年に１回

（イ）通っている理由は何ですか。（いくつでも選択可能）

定期的に通っている　・　むし歯の治療　・　歯石を取ってもらう　・　歯の清掃　・
入れ歯の作製や調整・歯みがきの指導を受ける・食べ方や飲みこみ方の訓練を受ける・
その他（何かあればご記入ください：　　）

（ウ）どの歯科医療機関に通っていますか。（いくつでも選択可能）

歯科診療所　（　家の近く　・　施設の近く　・　施設内　）
区や市の口腔保健（障害者歯科）センター　・　都立心身障害者口腔保健センター　・
都立病院　・　市などの公立病院　・　大学病院　・　その他の民間病院

（エ）なぜ、その歯科医療機関に通っているのですか。（いくつでも選択可能）

歯科医療機関のスタッフについて　（　優しく丁寧だから　・　多くいるから　）
歯科医療機関について　（　バリアフリーだから　・　設備が整っているから　）
家族が通っているから・施設職員などから紹介されたから・家や施設から近いから・
大声を出してしまっても気にならないから　・
その他（何かあればご記入ください：　　）

（オ）歯科医療機関へ通う時に、付き添いの人はいますか。（いくつでも選択可能）

１人で通っている　・　家族　・　施設職員　・　ヘルパー　・
その他（何かあればご記入ください：　　）

（カ）歯科医療機関へ通う時に、どのようにして通っていますか。（いくつでも選択可能）

歩き　・　自転車　・　電車　・　車　・　バス　・　タクシー

施設か自宅に歯科医師が来てくれる　（（キ）は、施設か自宅に歯科医師が来てくれる人が答えてください。）

（キ）その歯科医師をどのように知りましたか。（いくつでも選択可能）

施設に来ているため　・　施設から紹介された　・　自分や家族が探した　・
その他（何かあればご記入ください：　　）

通っていない　（（ク）は、通っていない人が答えてください。）

（ク）なぜ、通っていないのですか。（いくつでも選択可能）

必要ないから・めんどうだから・歯科医療機関がどこにあるのか分からないから・
１人で歯科医療機関に行くことができないから　・　歯科医療機関に断られたから　・
その他（何かあればご記入ください：　　）

3　歯科健診を受診していますか

受診している　（（ケ）と（コ）は、受診している人が答えてください。）

（ケ）その回数はどれくらいですか。①～③のいずれかを選び、（　　）内に数字を記入してください。

①　月に（　　）回　・　②　年に（　　）回　・　③　数年に１回

（コ）なぜ受診しているのですか。

利用している施設で実施しているため　・　区市町村から受診の案内が来るため　・

個人的に受診している・その他（何かあればご記入ください:　　）

受診していない　（（サ）は、受診していない人が答えてください。）

（サ）なぜ受診していないのですか。（いくつでも選択可能）

必要ないから・めんどうだから・歯科医療機関がどこにあるのか分からないから・

１人で歯科医療機関に行くことができないから　・　歯科医療機関に断られたから　・

施設で実施していないから・その他（何かあればご記入ください:　　）

4　かかりつけの歯科医を決めていますか。

決めている　（（シ），（ス）は、決めている人が答えてください。）

（シ）どの歯科医療機関に通っていますか。（いくつでも選択可能）

歯科診療所　（　家の近く　・　施設の近く　・　施設内　）

区や市の口腔保健（障害者歯科）センター　・　都立心身障害者口腔保健センター　・

都立病院　・　市などの公立病院　・　大学病院　・　その他の民間病院

（ス）なぜ、そこに決めているのですか。（いくつでも選択可能）

歯科医療機関のスタッフについて　（　優しく丁寧だから　・　多くいるから　）

歯科医療機関について　（　バリアフリーだから　・　設備が整っているから　）

家族が通っているから・施設職員などから紹介されたから・家や施設から近いから・

大声を出してしまっても気にならないから　・

その他（何かあればご記入ください:　　）

決めていない　（（セ）は、決めていない人が答えてください。）

（セ）なぜ、決めていないのですか。（いくつでも選択可能）

決める必要がないと思っている　・　歯科医療機関へ行きたくない　・

歯科医療機関がどこにあるのか分からない　・

１人で歯科医療機関に行くことができない　・　歯科医療機関に断られた　・

その他（何かあればご記入ください:　　）

５　歯や口のことで困ったことがある場合に、誰に相談しますか。（いくつでも選択可能）

歯科医療機関の歯科医師　・　施設に来る歯科医師　・　施設職員　・　家族　・

その他（何かあればご記入ください：　　）

６　歯科医療機関に通う上で、大変だと感じることはありますか。（いくつでも選択可能）

１人で歯科医療機関に行くことができない　・　車イスを利用しているため移動が困難　・

歯科医療機関について（　遠くて時間がかかる　・　バリアフリーでない　）　・

付き添いの方の手配が必要　・　車の手配が必要　・

その他（何かあればご記入ください：　　）

７　歯科治療を受ける上で、困っていることはありますか。（いくつでも選択可能）

じっと座っていられない・口を長時間開けることが困難・治療の説明がわからない・

治療が怖い・歯科医療機関のスタッフの言動から嫌な気分になったことがある・

他の患者が気になる・その他（何かあればご記入ください：　　）

８　歯科医療機関に望むことはありますか。（いくつでも選択可能）

待合室を個室にしてほしい　・　治療を受ける場所を個室にしてほしい　・

バリアフリーにしてほしい　・　障害に配慮して丁寧に対応してほしい　・

他の歯科医療機関等の情報を教えてほしい　・

その他（何かあればご記入ください：　　）

アンケートについては以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。

なお、アンケートに関するご不明な点については、下記までお問い合わせください。

東京都　福祉保健局　医療政策部　医療政策課　歯科医療担当

電話：０３－５３２０－４４３３

メール：S0000298@section.metro.tokyo.jp

歯と口に関するアンケート調査（事業所回答用）

＜本件をご回答いただいているご担当者様の情報についてお答えください。＞

事業所名　（　　）
担当者名　（　　）　職名　（　　）
電話番号　（　　）　メールアドレス　（　　）

1　事業所の概要について、お答えください。※記載もしくは当てはまるものを〇で囲ってください。

（1）サービス種別（施設区分）、主にご利用される方の障害種別についてお答えください。

ｻｰﾋﾞｽ種別　（　　）　主な利用者（身体・知的・精神・発達障害・難病等）

（2）利用定員、事業所の登録利用者数、１日当たりの平均利用者数についてお答えください。

利用定員（　　）名　・登録利用者数（　　）名　・平均利用者数（　　）名

（3）事業所内における職員配置（歯科医師・歯科衛生士）についてお答えください。

歯科医師：常勤（　　）名・非常勤（　　）名　歯科衛生士：常勤（　　）名・非常勤（　　）名

（4）事業所内に利用できる歯科診療所はありますか。　（ある　・　ない）

2　事業所における歯科健診の実施についてお答えください。

歯科健診の実施あり　頻度、実施場所、健診の実施者、対象者についてお答えください。

・頻度　１年に（　　）回程度
・実施場所　（施設内　・　施設外（具体的に：　　））
・健診の実施者　（事業所内の歯科診療所・地域の歯科診療所・地区口腔保健センター・地区歯科医師会・その他（具体的に：　　））
・対象者（利用者全員・希望者のみ・必要と感じた利用者のみ・その他（具体的に：　　））

歯科健診の実施なし

・実施していない理由についてお答えください。（複数回答可）
（必要性を感じない・利用者に任せている・協力歯科医がいない・依頼先が分からない・職員不足・経営上の理由・その他（具体的に：　　））

・歯科健診を実施するに当たり、望むことについてお答えください。（複数回答可）
（適切な医療機関を紹介してほしい　・　健診実施の手順について教えてほしい　・　事業所が実施するのではなく個人で健診に行くようにしてほしい　・　その他（具体的に：　　））

・今後、歯科健診の実施を予定したり、検討したりしていますか。　（　している　・　していない　）

3　利用者、ご家族等から歯科に関する相談を受けた場合の対応についてお答えください。

（1）相談を受ける頻度、内容についてお答えください。（内容については、複数回答可）

・頻度（ほぼ毎日・１か月に（　　）回程度・１年に（　　）回程度・あまり相談を受けない　）
・内容（歯が痛い　・　歯並び　・　噛み合わせ　・　口臭　・　うまく咀嚼できない　・　うまく飲み込めない　・　義歯が合わない　・　その他（具体的に：　　））

（2）相談を受けた場合に、対応する方はどなたですか。（複数回答可）

（事業所職員（職種を記載ください：　　）　・　訪問に来る歯科医師等　・　その他（具体的に：　　））

（3）歯科受診を勧める必要があると感じた場合、どの歯科医療機関を紹介しますか。（複数回答可）

（地域の歯科診療所　・　事業所内の歯科診療所　・　区や市の地区口腔保健センター　・　東京都立心身障害者口腔保健センター　・　都立病院　・　公立病院　・　大学病院　・　その他民間病院・どこを紹介すれば良いか分からない・その他（具体的に：　　））

（4）上記（3）の歯科医療機関の情報をどのように入手しましたか。（複数回答可）

（訪問に来る歯科医師の紹介　・　区市町村からの紹介　・　関連のある医科の先生の紹介　・　東京都医療機関案内サービスひまわりで検索　・　日本障害者歯科学会のホームページ　・　東京都立心身障害者口腔保健センターのホームページ　・　その他（具体的に：　　））

4　行政に求めることなど、歯科医療に関して何かご意見があればご記入ください。

［　　］

障害者歯科医療の推進に向けた調査
報告書

登録番号　(31)431

令和２年３月発行

編集・発行　東京都福祉保健局医療政策部医療政策課
郵便番号 163-8001
東京都新宿区西新宿二丁目８番１号
電話番号０３（５３２０）４４３３
東京都立心身障害者口腔保健センター
（指定管理者　公益社団法人東京都歯科医師会）
郵便番号 162-0823
東京都新宿区神楽河岸一丁目１番
電話番号０３（３２３５）１１４１

印　　刷　一世印刷株式会社

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。